

令和7年度 国語1 I 課程 年間指導計画

配当字数		生徒について	担当者
140		1年	
年間目標		(知及技) 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。 (思判表力等) 道筋立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを確かなものにすることができるようにする。 (学・人) 言葉が持つ価値に気付くとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にしてい、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。	
学期	時数	題材名	
一学期	50	言葉に出会うために	朝のリレー
			野原はうたう、声を届ける/書き留める/言葉を調べる
		1 学びをひらく	はじまりの風
			情報を的確に聞き取る/季節のしおり 春
			情報を整理して書こう
		2 新しい視点で	ダイコンの大きな根
			ちょっと立ち止まって
			情報整理のレッスン 比較・分類
			指示語と接続語
		3 言葉に立ち止まる	空の詩 三編
			比喩で広がる言葉の世界
		いつも本はそばに	読書を楽しむ /季節のしおり 夏
二学期	58	4 心の動き	大人になれなかった弟たち…
			星の花が降るころに
			聞き上手になろう/項目を立てて書こう
			[推敲] 読み手の立場に立つ
		5 道筋をたてて	「言葉」をもつ鳥、シジュウカラ/原因と結果
			聴きひたる 大阿蘇 /季節のしおり 秋
		6 いにしえの心にふれる	古典の世界 音読を楽しむ いろは歌
			蓬萊の玉の枝―「竹取物語」から
			今に生きる言葉、故事成語
		7 価値を見いだす	「不便」の価値を見つめ直す
			原因と結果
		いつも本はそばに	本の世界を広げよう/季節のしおり 冬

三 学 期	3 2	8 自分を見つめる	少年の日の思い出
			二十歳になった日
			構成や描写を工夫して書こう
			一年間の学びを振り返ろう
			ぼくがここに

単位数 ／ 配当時 数		生徒		担当者
105		1年		
年間目標		(知及技) 我が国の歴史と文化を理解するとともに、諸史料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身につける。 (思判表力) 社会的事象の意味や意義を多面的に考察し、思考したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 (学・人) よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養う。		
学期	時数	単元名	学習内容	単元の評価規準
1 学期	42	【地理的分野】 第1編 世界と日本の地域構成	第1章 世界の地域構成 第2章 日本の地域構成	(知・技) 地球の表面のようすを地球儀や世界地図を活用して、地球上の位置の表し方や地球上の位置関係をとらえる知識や技能を身につけている。 (思・判・表) 世界の地域構成の特色を、大陸と海洋の分布や主な国の位置、緯度や経度に着目して捉え、表現している。 (主学) 世界と日本の地域構成について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に考えようとしている。
		第2編 世界のさまざまな地域	第1章 世界の人々の生活と環境 第2章 世界の諸地域 ○アジア州 ○ヨーロッパ州 ○アフリカ州	(知・技) 世界各地における人々の生活のようすとその内容について、自然及び社会的条件と関連づけて考えさせ、世界の人々の生活や環境の多様性を理解している。 (思・判・表) 世界各地における人々の生活の特色やその変容の理由を、その生活が営まれる場所の自然及び社会的条件などに着目して捉え、表現している。 (主・学) 世界各地の人々の生活と環境について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に考えようとしている。
			第2章 世界の諸地域 ○北アメリカ州 ○南アメリカ州 ○オセアニア州	(知・技) 世界の諸地域について、各州にくらす人々の生活のようすからそれぞれの州の地域的特色を理解している。 (思・判・表) 世界各地における人々の生活の特色やその変容の理由を、その生活が営まれる場所の自然及び社会的条件などに着目して捉え、表現している。 (主・学) 世界各地の人々の生活と環境について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に捉えようとしている。
2 学期	48	第1章 歴史のとらえ方・調べ方 第2章 原始・古代の日本と世界	1節 私たちと歴史 2節 身近な地域の歴史 1節 人類の出現と文明の起こり 2節 日本の成り立ちと倭の王権 3節 大帝国の出現と律令国家の形成 4節 貴族社会の発展	(知・技) 世界の古代文明や宗教の起こりを基に、考古学的な諸資料から情報を調べまとめ、世界各地で文明が築かれたことを理解している。 (思・判・表) 世界の古代文明の特色や宗教の起こりや農耕の広まりによる人々の生活の変化や大和政権による統一と東アジアとの関わりなどについて、多面的に捉え、表現している。 (主・学) 人類が出現し、やがて世界各地で古代文明がおこったことについて、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に捉えようとしている。
		第3章 中世の日本と世界	1節 武家政治の始まり 2節 ユーラシアの動きと武家政治と変化 3節 結びつく民衆と下剋上の社会	(知・技) 武家政治の成立、発展、仕組みをとらえるとともに、琉球を含む東アジアとの関わりを諸資料より調べまとめ、理解している。 (思・判・表) 武士の政治への進出と展開や、東アジアにおける交流などに着目して、武家政治の特徴について多面的に考察し、表現している。 (主・学) 武士が台頭して鎌倉幕府が成立し、その支配が全国に広まるとともに、武士や民衆の活力を背景に生まれた社会や文化について、そこで見られる課題を主体的に捉えようとしている。
3 学期	15	第4章 近世の日本と世界	1節 結びつく世界との出会い 2節 天下統一への歩み	(知・技) ヨーロッパ人來航の背景とその影響などを基に、諸資料から歴史に関する様々な情報について調べまとめ、理解している。 (思・判・表) 交易の広がりとその影響などに着目して、世界の交易の空間的な広がりが生み出され、それを背景として日本とヨーロッパ諸国の接触がおこったことや、日本の政治や文化に与えた影響などについて多面的に考察し、表現している。 (主・学) 世界の動きと関連付けながら、中世から近世への過渡期にある日本について、そこで見られる課題を主体的に捉えようとしている。

			3節 幕藩体制の確立と鎖国	(知及技)江戸幕府の成立と大名統制、鎖国などの幕府の対外政策と対外関係などを基に、諸資料から調べまとめ、幕府と藩による支配が確立したことを理解している。 (思判表力)統一政策の諸政策の目的などに着目して、江戸幕府により全国を支配する仕組みが作られ、安定した社会が構築されたことなどについて多面的に考察し、表現している。 (学・人)江戸幕府の成立と、幕藩体制による支配の確立について、そこで見られる課題を主体的に捉えようとしている。
--	--	--	----------------------	--

令和7年度 数学科 I 課程 A 年間指導計画

配当時数		生徒について		担当者	
140		1年			
年間目標		(知識及び技能) 数量や図形などについて理解を深め、基礎的な計算や測定・測量についての知識や技能を身につける。 (思考力、判断力、表現力等) 身の回りの事象や問題場面を解釈及び判断したり、考察したりする力を養う。 (学びに向かう力・人間性等) 学んだことのよさを理解し、そのことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。			
学期	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容	
1学期 45時間	(知及技) 正の数と負の数の乗法と除法の計算ができる。 (思判表力) 四則の混じった計算ができる。 (学・人) 具体的な場面に負の数を利用して考えることができる。 (知及技) 具体的な数量を、文字式で表すことができる。	(知・技) 正の数と負の数及び正の符号と負の符号の必要性和意味を理解している。反対の方向や反対の性質をもつ数量を、正の数と負の数を用いて表すことができる。 (思・判・表) 反対の方向や反対の性質をもつ数量は、0を基準として正の数と負の数を用いると、統一的に表せることを捉えることができる。 (主学) +、-の符号に関心をもち、その使い方を考えたり、それを用いて身のまわりの事象を表現したりしようとしている。 (知・技) 文字を用いることの必要性や意味を理解している。数量の関係を文字を使った式で表すことができる。	1章 正の数・負の数 ①正の数・負の数 ②加法・減法 ③乗法・除法 2章 文字式 ①文字式	・正負の数の必要性和意味 ・正負の数の加法と減法 ・正負の数の乗法と除法 ・文字式の乗除の表し方	

	(思判表力) 文字式の積、商の表し方を理解し、きまりにしたがって表すことができる。 (学・人) 文字式で表された数量の意味を読み取ることができる。 (知及技) 方程式の解の意味を理解し、基本的な 1 次方程式を、等式の性質を利用して解くことができる。	(思・判・表) 数量の関係を文字を使った式でどのように表せるのかを考えることができる。 (主学) 文字式を利用することに関心をもち、数量の関係を式に表したり、式の意味を説明したりしようとしている。 (知・技) 等号や不等号の意味や使い方、及び等式や不等式の意味を理解している。数量の関係を等式や不等式で表すことができる。	②式の計算 3 章 1 次方程式 ①方程式	・ 1 次式の加減・乗除 ・ 等式の性質と意味
2 学期 50 時間	(思判表力) 数量の関係を方程式で表し、問題の答えを求めることができる。 (学・人) 身のまわりから、1 次方程式を利用することのできる問題を見だし、それを解くことができる。 (知及技) 関数の意味を理解し、平面上の点の座標を読み取ることができる。	(思・判・表) 数量の関係を等式や不等式で表すために、具体的な場面で数量の関係を捉えることができる。 (主学) 数量の関係を調べることに関心をもち、等式や不等式で表したり、その意味を読み取ったりしようとしている。 (知・技) 変数、変域の意味を理解している。文字に具体的な数値を代入するなどして、y は x の関数であるかどうかを調べることができる。	② 1 次方程式の利用 4 章 比例と反比例 ①関数	・ 1 次方程式の利用 ・ 関数関係の意味

	(思判表力) 具体的な事象から、比例の関係を見だし、考察することができる。 (学・人) 身のまわりから、比例や反比例の 関係にある 2 つの数量の具体例を見つけることができる。 (知及技) 円の接線の意味や性質を理解することができる。 (思判表力) 2 直線が平行かどうかを定義にしたがって判断することができる。 (学・人) 平面図形を構成する要素や基本的な概念に関心をもつことができる。 (知及技) 角錐、円錐や多面体の意味を理解することができる。 (思判表力) 空間における直線や平面の位置関係について考察し、説明することができる。	(思・判・表) 伴って変わる 2 つの数量の対応の様子に着目し、関数関係といえるかどうかを考察することができる。 (主学) 伴って変わる 2 つの数量の関係を調べることに関心をもち、関数関係といえるかどうかを調べようとしている。 (知・技) 直線、線分、半直線の意味を理解している。三角形や角、直線の垂直や平行の関係を、記号を使って表すことができる。 (思・判・表) 直線、線分、半直線の違いを捉えることができる。 (主学) 平面図形を構成する要素や基本的な概念に関心をもち、調べようとしている。 (知・技) 角錐、円錐や多面体の意味を理解している。観点に応じて、立体を分類することができる。 (思・判・表) 立体を、柱体や錐体として見たり、多面体として見たりすることができる。	②比例 ③反比例 ④比例と反比例の利用 5 章 平面図形 ①平面図形の基礎 ②いろいろな作図 ③図形の移動 6 章 空間図形 ①空間図形の基礎 ②立体のいろいろな見方 ③図形の計量	・ 比例の意味や式の求め方とグラフ ・ 反比例の意味や式の求め方とグラフ ・ 比例、反比例の利用例の利用 ・ 直線や角の意味 ・ 基本的な作図の方法 ・ 図形の移動 ・ 直線や平面の位置関係 ・ 空間図形の構成と回転体 ・ 立体の体積の求め方
--	---	--	---	--

	(学・人)現実の世界の具体物を数学的にとらえ考察することができる。	(主学)立体に関心をもち、面の種類や形状、位置関係などに着目して分類しようとしている。		
3 学 期	(知及技) 代表値の意味を理解することができる。	(知・技)代表値の意味を理解している。表に整理して、平均値や中央値、最頻値を求めることができる。	7 章 資料の活用 ①資料の傾向の調べ方	・代表値の必要性和意味
45 時 間	(思判表力) 代表値を基にして、資料の傾向を読み取り説明することができる。	(思・判・表) 代表値を基にして、資料の傾向を読み取ることができる。	②資料の活用	・ヒストグラムや代表値の読み取り方
	(学・人)代表値を用いてデータの傾向を読み取ることができる。	(主学) 代表値に関心をもち、平均値や中央値、最頻値を用いて資料の傾向を調べようとしている。		

令和7年度 理科Ⅰ課程 年間指導計画

配当字数		生徒について	担当者
105		1年	
年間目標		(知及技) 自然の事物現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 (思判表力) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 (学・人) 自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	
学期	時数	題材名	
1学期	38	単元1 いろいろな生物とその共通点	
		生物の観察と分類のしかた	
		植物の分類	
		動物の分類	
		単元2 身のまわりの物質	
2学期	42	身のまわりの物質とその性質	
		気体の性質	
		水溶液の性質	
		物質の姿と状態変化	
		単元3 身のまわりの現象	
3学期	25	光の世界	
		音の世界	
		力の世界	
		単元4 大地の変化	
		火をふく大地	
		動き続ける大地	
		地層からよみとる立ちの変化	

令和7年度 英語 I 課程 年間指導計画

配当時数		生徒について	担当者
140		1 年	
年間目標		(知及技) 初歩的な英語を用いて、「聞くこと、話すこと（やり取り・発表）、読むこと、書くこと」ができるようにする。 (思判表力) 生徒の能力を考慮した学習内容・進度を設定し、個に応じた指導を行う。 (学・人) 外国語の文化の理解を深め、生徒が主体的に英語でコミュニケーションを図る態度を養う。	
学期	時数	題材名	
1 学期	4 4	Classroom English	
		Springboard 1～6	
		Lesson 1 Hello, New Friends	
		Lesson 2 Talking with Friends	
		Activities Plus 1	
		Tips for Speaking ①	
		Lesson 3 Club Activities	
		Tips for Writing ①	
2 学期	60	Lesson 4 My Favorite Things	
		Project 1 My Favorite Person	
		Activities Plus 2	
		Tips for Speaking ②	
		Sing Along ①	
		Lesson 5 School Life in Two Countries	
		Tips for Listening ①	
		Lesson 6 Lunch in Chinatown	
		Tips for Reading ②	
		Lesson 7 Symbols and Signs	
		Activities Plus 3	
		Tips for Speaking ③	
		Project 2 My Original Sign	

令和 7 年度 英語 I 課程 年間指導計画

		Reading 1 Fox and Tiger
3 学 期	36	Tips for Reading ③
		Lesson 8 Holiday in Hokkaido
		Sing Along ②
		Tips for Listening ②
		Tips for Writing ②
		Lesson 9 A Better World for Everybody
		前置詞のまとめ
		Useful Expressions ②
		Activities Plus 4
		Tips for Speaking ④
		Project 3 Take Action for a Better World
		Reading 2 An Old Woman and a Dog
		Further Reading The Golden Dipper

令和7年度 音楽Ⅰ課程 年間指導計画

配当字数		生徒について	担当者
35		1年	
年間目標		(知及技) 曲想と音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について理解すると共に、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身につけるようにする。 (思・判・表) 音楽表現を創意工夫することや、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。 (主学) 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽的活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに音楽によって生活を明るく豊かな者にしていく態度を養う。	
学期	時数	題材名	
1学期	14	4月 オリエンテーション (1)	
		歌唱：・歌うための準備【Sing!Sing】(1) ・思いを込めて楽しく歌おう【光の道】(2) ・曲の特徴を生かして歌おう(3) 【サウンド・オブ・ミュージック、Do-Re-Mi、エーデルワイス】 ・曲の形式を生かして歌おう【夏の思い出】(3) ・思いを込めて歌おう【慰霊の日に向けての歌】(3)	
		器楽：タンギングや左手の運指を身につけよう(3) 【リズム de ゴー、しりとり歌、チャイニーズ・ダンス、喜びの歌、家路】	
		鑑賞：・曲の形式を捉えながら鑑賞しよう【「春」第一楽章】(2) ・曲想の変化を感じ取って鑑賞しよう【「魔王」】(2) ・情景を浮かべながら思いを持って鑑賞しよう【慰霊の日にむけて】(3)	
		創作：・言葉の特徴を捉えて旋律を作ろう(4) 【日本語の抑揚を生かした旋律を作ろう】	
2学期	13	歌唱：・曲の形式を生かして歌おう【赤とんぼ】(2) ・曲想の変化を生かし歌おう【夢の翼、あの丘のむこうから】(4) ・パートの役割を生かして合わせて歌おう(4) 【明日を信じて、飛び立とう君の空へ】 ・ミュージックコンサートに向けて練習しよう(5) 【生徒が選曲した曲】	
		器楽：・右手の運指や低い音を表現する奏法を身につけよう 【リコーダー：うみ、アメージング・グレイス、】 ・ミュージックコンサートに向けて練習しよう(10)	
		鑑賞：・箏曲の多様な表現を鑑賞しよう【箏曲「六段の調べ」】(2) ・尺八曲の多様な表現を鑑賞しよう【尺八曲「鹿の遠音」】(1)	

3 学 期	8	歌唱：・民謡の特徴を捉えてふさわしい声で歌おう【「ソーラン節」】 ・卒業式の歌
		器楽：・右手の運指や低い音を表現する奏法を身につけよう 【リコーダー：凱旋の行進曲、ソナタ K. 331】
		鑑賞：・郷土のさまざまな民謡を味わいながら鑑賞しよう 【郷土のさまざまな民謡】

年間指導計画

令和7年度

教科名		学年・課程	年間総時数	担当者
美術		1年I課程	35時間	
年間目標		(知及技) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、表現方法を 創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。 (思判表力) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方 や感じ方を深めたりすることができるようにする。 (学・人) 美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊か にし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。		
学期	月	時数	単元名	
一学期 ⑪	4	1	オリエンテーション 美術とは何か	
	5	8	どう見えるのか どう描くのか	
	6	2	鑑賞 ピカソ	
二学期 ⑮	9	2	様々な感触（土の変化）	
	10	2	土を作る	
	11	5	土器作り（成型）	
	12	6	土器作り（焼成、釉薬）	
三学期 ⑨	1	3	紙を染める	
	2	6	卒業式壁画	
	3			

令和7年度 保健体育年間指導計画（体育分野）

中学部1年 課程 作成者：

総授業時数70時間

年間目標		・運動の実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わい、運動を豊かに実践することができるようにため、体力の必要性を理解すると共に、基本的な技能を身につけるようにする。（知識・技能） ・運動についての自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断したりするとともに、自己の考えたことを他者に伝える力を養う。（思考・判断・表現力等） ・公正に取り組む、互いに協力する、自己の役割を果たす、互いの違いを認めようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全に留意し、自己の最善を尽くす態度を養う。（学びに向かう力、人間性等）				
月	単元名 及び 学習内容	時 数	指導目標	評価の観点		
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
通 年	体づくり運動 ・ラジオ体操、ストレッチ体操等 ・体ほぐしの運動 ・体の動きを高める運動 ・クロックポジション ・ボディイメージ	6	・ねらいに応じた運動を組み合わせ体ほぐしに取り組む。（知・技） ・仲間と積極的に関わり、互いの意見を尊重しながら合理的な運動の実践ができる。（思・判・表） ・課題解決に向けて、仲間と協力できる。（学・人）	・体づくり運動の意義と行い方、体の動きを高める方法などについて理解している。	・自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	・体づくり運動の学習に積極的に取り組もうとしている。 ・仲間の補助をしたり助言したりして、仲間の学習を援助しようとしている。
4 5	陸上① ・短距離走 ・長距離走 ・ボール投げ	8	・ストライドやピッチ、腕ふりを意識して活動できる。（知・技） ・自己の記録や課題を意識し、練習方法を工夫することができる。（思・判・表） ・自己の体力を知り、意欲的に練習に取り組むことができる。（学・人） ・違いを認め、仲間と協力し、課題解決に取り組むことができる。（学・人）	・陸上競技の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などについて理解している。 ・長距離走では、ペースを守って走ることができる。	・動きなどの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。	・陸上競技に積極的に取り組むとともに、勝敗などを認め、ルールやマナーを守ろうとしている。分担した役割を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとしている。健康・安全に気を配っている。

5	水泳	1	・水の特性を理解する。 (知・技)	・水泳の特性や成 り立ち、技術の名 称や行い方、その 運動に関連して高 まる体力などにつ いて理解してい る。	・提供された練 習方法から、自 己の課題に応じ て、泳法の習得 に適した練習方 法を選んでい る。	・水泳の学習に 積極的に取り組 もうとしてい る。
6	・バタ足	4	・4泳法の名称と技術を 知る。(知・技)	・蹴り終わりで長 く伸びるキックを することができ る。	・仲間と協力す る場面で、分担 した役割に応じ た活動の仕方を 見付けている。	・用具等の準備 や後片付けなど の分担した役割 を果たそうとし ている。
7	・ドル平		・息継ぎの技術を身に つける。(知・技)	・肩より前で、両 手で逆ハート型を 描くように水をか くことができる。		・一人一人の違 いに応じた課題 や挑戦を認めよ うとしている。
	・クロール		・自己の課題に応じた、 練習方法を選択して、意 欲的に練習する。(思・ 判・表)(学・人)	・プルのかき終わ りに合わせて顔を 水面上に出して息 を吸うことができ る。		・水の安全に関 する事故防止の 心得を遵守する など、健康・安 全に留意してい る。
	・平泳ぎ		・健康、安全に気をつ け、水泳の心得を守る。 (学・人)			
9	ダンス	1	・ダンスの特性や表現の 仕方を学び、体を動かす ことができる。(知・技)	ダンスの特性や由 来、表現の仕方、 その運動に関連し て高まる体力など について理解して いる。	表現などの自己 の課題を発見 し、合理的な解 決に向けて運動 の取り組み方を 工夫するととも に、自己や仲間 の考えたことを 他者に伝えてい る。	ダンスに積極的 に取り組むとと もに、仲間の学 習を援助しよ うとすること、交 流などの話合い に参加しようと することをし ている。
1	・エイサー	1	・クロックポジションを 意識して自己の体を操作 する。(知・技)	表したいイメージ を捉え、動きに変 化を付けて即興的 に表現したり、変 化のあるひとま まりの表現にし たりして踊ること ができる。		一人一人の違い に応じた表現や 役割を認めよ うとすること、健 康・安全に気を配 ったりしている。
1	陸上②	9	・自己の歩、走の動きのく せを知る。(知・技)	・音源を聞いて まっすぐ走るこ とができ る。	・選択した運動 に必要な準備運 動や自己が取り 組む補助運動を 選んでいる。	・勝敗などを冷 静に受け止め、 ルールやマナー を大切にしよう としている。
1	・直線走		・体重移動や踏切の技術 を身につける。(知・技)	・ロープの張り を感じ、全力で走 る。		
1	・円周走		・健康やけが防止のため の、準備運動や補助運動 について、考え、主体的			
2	・走り幅跳び					

			に活動する。(思・判・表) ・勝敗を受け止め、ルールやマナーを守る。(学・人)	ることができている。 ・スピードに乗った助走から力強く踏み切って跳ぶことができています。	・健康や安全を確保するために、体調や環境に応じた適切な練習方法等について振り返っている。	・仲間と互いに合意した役割について自己の責任を果たそうとしている。 ・健康・安全を確保している。
1 2 3	球技 ・フロアバレーボール ・STT ・キックベースボール	1 5	・役割に応じたボールの操作や連携した動きができる。(知・技) ・チームや自己の課題を発見し、仲間と工夫して練習に取り組むことができる。(思・判・表) ・フェアプレイを大切に自主的に練習に取り組むことができる。(学・人) ・仲間と課題や練習法について考えることができる。(学・人)	・ボールや用具の操作と定位置に戻るなどの動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができている。 ・連携プレイのための基本的なフォーメーションに応じた位置に動くことができています。	・自己や仲間の技術的な課題やチームの作戦・戦術についての課題や課題解決に有効な練習方法の選択について、自己の考えを伝えている。 ・チームで分担した役割に関する成果や改善すべきポイントについて、自己の活動を振り返っている。	・球技の学習に自主的に取り組もうとしている。 ・互いに練習相手になったり仲間に助言したりして、互いに助け合い教え合おうとしている。 ・健康・安全を確保している。

令和7年度 保健 年間指導計画

配当時数	生徒について	担当者	教科書／副教材
17.5	1年I課程		学研

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技)個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身につけるようにする。 (思判表力)健康についての自他の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。 (学・人)・生涯を通じて心身の健康の保持増進を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	2	(知及技)病気や健康に関わる要因について理解することができる。運動の効果と、健康づくりのための運動の行い方を理解することができる。 (思判表力)運動と健康について、課題を発見し、その解決に向けて思考し判断しているとともに、それらを表現することができる。 (学・人)運動と健康についての学習に自主的に取り組むことができる。	(知・技)健康は、主体と環境の相互作用の下に成り立っていること、疾病は、主体の要因と環境の要因が関わり合って発生することを理解している。運動には、体の各器官のはたらきを刺激し発達を促す効果や、気分転換かてきること、体力が向上することなどの効果があることを理解している。 (思・判・表)運動と健康について、課題を発見し、その解決に向けて思考し判断しているとともに、それらを表現している。 (主学)運動と健康についての学習に自主的に取り組もうとしている。	健康な生活と病気の予防	・健康の成り立ち ・運動と健康
	2	(知及技)健康のために、食生活で気をつけるべきことを理解することができる。休養と睡眠の適切な取り方を理解することができる。 (思判表力)休養・睡眠と健康について、課題を発見し、その解決に向けて思考し判断しているとともに、それらを表現することができる。 (学・人)休養・睡眠と健康についての学習に自主的に取り組むことができる。	(知・技)毎日の食生活は健康に深く関わっていること、また、毎日適切な時間に食事をする、年齢や運動量によって栄養素のバランスや食事の量に配慮することが必要であることを理解している。休養や睡眠には、心身の疲労を回復し、健康な状態を維持する効果があること、また、健康の保持増進には、適切に休養・睡眠をとる必要があることを理解している。 (思・判・表)休養・睡眠と健康について、課題を発見し、その解決に向けて思考し判断しているとともに、それらを表現している。 (主学)休養・睡眠と健康についての学習に自主的に取り組もうとしている。	健康な生活と病気の予防	・食生活と健康 ・休養、睡眠と健康
1学期	2	(知及技)体の各器官はどのように発達・発達するのか理解することができる。思春期の体の変化や、月経、射精の仕組みを理解することができる。 (思判表力)体の発達・発達と個人差について、課題を発見し、その解決に向けて思考し判断しているとともに、それらを表現することができる。 (学・人)体の発達・発達と個人差についての学習に自主的に取り組むことができる。	(知・技)体の発達・発達には、各器官が急速に発達し、機能が発達する時期があること、体の発達・発達の時期や程度には、個人差があることを理解している。思春期には、下垂体から分泌される性腺刺激ホルモンのはたらきにより生殖器官の発達とともに生殖機能が発達することを理解している。 (思・判・表)体の発達・発達と個人差について、課題を発見し、その解決に向けて思考し判断しているとともに、それらを表現している。 (主学)体の発達・発達と個人差についての学習に自主的に取り組もうとしている。	心身の発達と心の健康	・体の発達、発達 ・呼吸器、循環器の発達 ・生殖機能の成熟
	1	(知及技)身体機能の発達、生殖に関わる機能の成熟、精神機能の発達について理解できる。 (思判表力)心身の機能の発達と心の健康に関わる事象や情報を基に課題を発見できる。 (学・人)心身の機能の発達と心の健康について関心を持ち、主体的に学習の進め方を工夫・調整し、自他の健康の保持増進や回復についての学習に粘り強く取り組むことができるようにする。	(知・技)身体には、多くの器官が発育し、それに伴い、さまざまな機能が発達する時期があること、発達・発達の時期やその程度には、個人差があることを、言ったり書いたりしている。 (思・判・表)心身の機能の発達と心の健康に関わる事象や情報などから、原則や概念を基に整理したり、個人生活と関連づけたりして、自他の課題を発見するとともに、習得した知識を活用し、ストレスに対処するための方法などを選択している。 (主学)学習内容に関心を持ち、教科書の資料を活用したり、身近な情報などを収集したりして課題について調べるなど、粘り強く学習に取り組もうとしている。	心身の発達と心の健康	・性とう向き合うか ・心の発達
2学期	2	(知及技)自己形成および欲求やストレスへの対処と心の健康について理解し、ストレスへの対処の仕方を身につけることができる。 (思判表力)疾病等のリスクを軽減したり、生活の質を高めたりすることなどと関連づけて解決方法を考え、適切な方法を選択し、それらを他者に伝えたり、表したりすることができる。 (学・人)心身の機能の発達と心の健康について関心を持ち、主体的に学習の進め方を工夫・調整し、自他の健康の保持増進や回復についての学習に粘り強く取り組むことができるようにする。	(知・技)知的機能、情意機能、社会性などの精神機能は、生活経験などの影響を受けて発達することを、言ったり書いたりしている。 思春期においては、自己の認識が深まり自己形成がなされること、それは心の健康と関わりが深いことを、言ったり書いたりしている。 (思・判・表)心身の機能の発達と心の健康に関わる事象や情報などから、原則や概念を基に整理したり、個人生活と関連づけたりして、自他の課題を発見するとともに、習得した知識を活用し、ストレスに対処するための方法などを選択している。 (主学)自分の意見を言ったり、他者の意見を取り入れたりして、自己の学習の進め方や活用する資料を変える、調べた内容を確認・修正するなど、学習を調整しながら取り組んでいる。	心身の発達と心の健康	・自己形成 ・欲求不満やストレスへの対処

2 学 期	3	（知及技）生活習慣病を引き起こす要因と予防の仕方について理解することができる。 （思判表力）生活習慣病やがんの予防の観点から、自分の生活を振り返ることができる。 （学人）喫煙や飲酒の害、20歳未満の喫煙・飲酒の害についてまとめたり他者に伝えたりすることができる。	（知・技）生活習慣病とは、不適切な生活習慣がその発症や進行に関係する病気であることを理解している。 （知・技）喫煙・飲酒の急性影響・慢性影響、20歳未満の喫煙・飲酒の害、周りの人への悪影響について理解している。 （思・判・表）早いうちから生活習慣を見直し、生活習慣病の予防や改善に取り組むことが大切であることを理解している。 （主学）生活習慣の改善などの実践への意欲を持っている。	健康な咳活 と病気の予 防	・生活習慣病とその予防 ・がんとその予防 ・喫煙と健康 ・飲酒と健康
2 学 期	2	（知及技）喫煙・飲酒・薬物乱用を始めるきっかけと防止対策について理解することができる。 （知及技）薬物乱用の心身への害と社会への悪影響について理解する。 （思判表力）（学人）喫煙・飲酒・薬物乱用防止についてまとめたり他者に伝えたりすることができる。 （思判表力）（学人）喫煙・飲酒・薬物乱用防止についてまとめたり他者に伝えたりすることができる。	（知・技）喫煙・飲酒・薬物乱用の開始には、個人の要因や社会的環境の要因があることを理解している。 （思・判・表）（主学）喫煙・飲酒・薬物乱用の防止には、対処能力や社会的環境への対策が重要であることを理解している。 （思・判・表）（主学）誘われたときにどうするかなど、喫煙・飲酒・薬物乱用の防止に向けた意識を高めているとともに、断り方を理由を挙げて具体的に考えているとともに、それらを表現している。	健康な生活 と病気の予 防	・薬物乱用と健康 ・喫煙・飲酒・薬物乱用のきっかけ
2 学 期	2	（知及技）傷害は、どんなことが原因で起こり、どうすれば防止できるかについて理解することができる。 （思判表力）（学人）具体的な場面で、どんな危険が潜んでいるか考えることができる。 （知及技）中学生の交通事故の特徴と交通事故の原因について理解することができる。 （思判表力）（学人）交通事故の発生要因を事例を通して考える。	（知・技）傷害は、人的要因、環境要因及びそれらの相互の関わりによって発生することを理解している。 （思・判・表）中学生の傷害の現状を知り、その原因と防止の学習に取り組もうとしている。 （思・判・表）交通事故の原因には人的要因、環境要因、車両要因があることを理解するとともに、事例を基に事故の発生要因について考えたり話し合ったりしている。 （主学）中学生の交通事故の特徴について関心を持っている。	傷害の防止	・傷害の原因と防止 ・交通事故の現状と原因
留意点 引継ぎ等					

令和7年度 技術・家庭（技術分野） I 課程 年間指導計画

配当時数		生徒について	担当者
35		1年	
年間目標	(知及技) 生活や社会で利用されている材料、加工、生物育成、エネルギー変換及び情報の技術について基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身につけ、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解を深める。 (思判表力) 生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、試作等を通して具体化し、実践を評価・改善するなど、課題を解決する力を養う。 (学・人) よりよい社会の実現や持続可能な社会の構築に向けて適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。		
学期	時数	題材名	
1学期	24	材料と加工に関する技術	
		材料と加工に関する技術について知ろう	
		材料の特徴について知ろう	
		材料に適した加工法を知ろう	
		制作品を丈夫にする方法を知ろう	
		生活に役立つ製作品を構想しよう	
		製作品の構想をまとめよう	
		作業手順を考えて製作しよう	
		完成した製作品を評価しよう	
		材料と加工に関する技術を未来に生かそう	
2学期	11	生物を育てる技術について知ろう	
		植物を育てる技術について知ろう	
		動物を育てる技術について知ろう	
		水産生物を育てる技術を知ろう	
		生物の育成計画を立てよう	
		植物や環境を観察して育成しよう	
		生物育成に関する技術を未来に生かそう	

令和7年度 技術・家庭（家庭分野） I 課程 年間指導計画

配当時数		生徒について	担当者
3 5		1 年	
年間目標		（知及技）家族・家庭の機能について理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活の自立に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。 （思判表力）家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなど、これからの生活を展望して課題を解決する力を養う。 （学・人）自分と家族、家庭生活と地域との関わりを考え、家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。	
学期	時数	題材名	
1 学期	24	今の自分とこれまで	
		わたしたちの生活と家族・家庭	
		家庭を支える社会	
		中学生にとっての家族	
		食事の役割	
		健康によい食習慣	
		中学生の発達と必要な栄養	
		栄養素のはたらきと6つの基礎食品群	
		食品が食卓にのぼるまで 生鮮食品の選択と保存	
		加工食品の選択	
		食品の選択	
		食品の安全と情報	
		調理の計画	
		おいしさと調理	
2 学期	1 1	調理実習	
		地域の食文化	
		生活の課題と実践	
		一日分の献立	
		持続可能な食生活をめざして	

配当時数 35

生徒1年I課程

担当：

月	教材名 「主題名」 【内容項目】	配当 時数	ねらい	学習活動と主な発問（○は導入）	評価の視点	他教科・ 特別活動な どとの関連	SDGs 目標と の関連
4 月 ③	1 ともだち 「高め合う友情の尊さ」 【B 友情、信頼】	1	教材から想起される様々な友達の姿や、友達との関係から得られることについて分かち合うことを通して、友達がいることのよさについて考えを深め、高め合える人間関係を築こうとする実践意欲と態度を育てる。	1 「友達」について抱いているイメージを出し合う。 ○友達と、そうでない人との違いはなんだろう。 2 「ともだち」を読み、友達のよさと、その関係を維持するために必要なことについて話し合う。 ●友達がいることで、どんなよいことがあるだろう。 ●お互いにとってよい友達関係を続けるために、必要なことはなんだろう。 3 今後、自分がどのように友達と関わっていくべきか、考えをまとめる。 ●これから出会う新しい友達と、どのように接したらよいだろう。	【多面的・多角的に考える】 「友達」に対するイメージや友達がいることのよさ、友達との関係から得られると思うことなどについて、他の人の意見にふれながら考えを深めている。 【自分ごととして考える】 「友達」という存在に対するイメージを描いたり、今後、友達とどのように接していくべきかを考えたりする際に、具体的な学校生活の場面を想起しながら考えている。	美術・特別活動	
	2 おはよう 「心と形」 【B 礼儀】	1	挨拶の意味を考えることを通して、礼儀の意義を理解し、相手を尊重する気持ちをもって、時と場に応じた適切な言動をとろうとする実践意欲と態度を育てる。	1 「礼儀」について、イメージを出し合う。 ○「礼儀」とは、どのようなものだろう。 2 「おはよう」を読み、挨拶について考える。 ●「私」は、「先生だということを知りませんでした。」という少年の言葉を思い浮かべた時、どんなことを考えたのだろう。 ●「形だけの挨拶をする」と、「黙っていても相手を思っている」と、どちらがよいと思うだろうか。理由も含めて話し合おう。 3 挨拶について考えたことをもとに、今後どのようにしていきたいか、考えをまとめる。 ●挨拶をするときに、あなたはどんなことを大切にしたいと思うだろうか。	【多面的・多角的に考える】 挨拶を単なる言葉と捉えず、形にこめられた価値や、相手を思う心を、日常の様々なことから考えている。 【自分ごととして考える】 挨拶について自分なりに考え、礼儀の大切さに気づき、これからとるべき態度について、自分自身との関わりの中で考えを深めている。	技術・家庭、特別活動	
5 月 ③	3 「どうせ無理」をなくしたい 「夢や目標を諦めない」 【A 希望と勇気、克己と強い意志】	1	「どうせ無理」と言われた夢を実現させた植松努さんの生き方を学ぶことを通して、より高い目標をもってその達成を目指し、希望と勇気をもって着実にやり遂げようとする心情を育てる。	1 やる前から諦めてしまった経験を想起する。 ○やる前から「どうせ無理」だと諦めてしまったことはあるだろうか。 2 『『どうせ無理』をなくしたい』を読み、目標を達成するために大切なことについて、考えたり話し合ったりする。 ●植松さんは、「無理」と言われていたことをどうして実現できたのだろう。 ●夢や目標を達成するために大切なのは、どんなことだろう。 ●あなたの夢や目標はなんだろうか。 3 夢や目標に向かってどのように生活していこうと思うか、考えをまとめる。	【多面的・多角的に考える】 より高い目標をもってその達成を目指すことの大切さについて、植松さんの生き方や心情を理解しながら他の人と意見を交流し、考えを深めている。 【自分ごととして考える】 夢や目標を達成するためには、諦めない心が大切であることを植松さんの生き方から学び、希望と勇気をもってやり遂げようとする意欲を高めている。	特別活動	目標9

月	教材名 「主題名」 【内容項目】	配当 時数	ねらい	学習活動と主な発問（○は導入）	評価の視点	他教科・ 特別活動な どとの関連	SDGs 目標と の関連
5 月 ③	4 二人の言い分 「相手の立場に立って」 【B 相互理解、寛容】	1	いじめの定義や法について理解し、いじめを生まないためのトラブルの解決方法について話し合うことを通して、相互理解の大切さに気づき、相手の立場に立って考え行動しようとする判断力を養う。	1 いじめについて考える。 ○なぜ、いじめは起こるのだろうか。 2 「二人の言い分」の前半（教科書 p.22～23）を読み、ハルトとリョウマのトラブルについて整理する。 3 教材の後半（教科書 p.24～25）を読み、いじめの定義を知り、二人はどうすればよかったかを考える。 ●「された人が心身の苦痛を感じている行為はいじめ」ということから、ハルトとリョウマの言い分について考えてみよう。 ●ハルトとリョウマは、それぞれどうすればよかったのだろうか。 4 相互理解のための話し合いや、寛容に受け止めようとすることの大切さについて考える。 ●いじめを生まないためにはどうすればよいか、トラブルが起こってしまったらどうすればよいか、考えてみよう。	【多面的・多角的に考える】 ハルトとリョウマそれぞれの立場に立ち、どうすればこのトラブルを回避できたかを考えることで、捉え方や感じ方は人によって違うことに気づき、相手の立場に立った言動をとろうとする意欲を高めている。 【自分ごととして考える】 いじめを誰にでも起こりうる問題として捉え、いじめを生まないために必要な、互いを理解し寛容に受け止めようとする姿勢の大切さについて考えを深めている。	社会、保健体育、特別活動	目標 16
	5 あなたならどうしますか 「いじめをなくすために」 【C 公正、公平、社会正義】	1	中学校生活で起こりそうな二つの問題場面から、いじめをなくすために大切なことについて考えることを通して、正義を重んじ、誰に対しても公正に接しようとする実践意欲と態度を育てる。	1 「正義」について抱いているイメージを話し合う。 ○「正義」という言葉から、どんな人や物事を連想するだろうか。 2 「あなたならどうしますか」を読み、正人や葉月がすると思うことについて考える。 ●あなたが正人や葉月の立場だったら、どうするだろう。それは、なぜだろう。 ●正しいと思ったことを行動に移せないことがあるのは、なぜだろう。 ●いじめをなくすために今すぐにでもできることは、どんなことだろう。 3 今後、いじめや差別に対して自分はどのように行動していきたいか、考えをまとめる。	【多面的・多角的に考える】 いじめをなくすための行動や、その際に大切にすべきことについて、正人や葉月の立場を自分に置きかえたり、被害者の気持ちを想像したりしながら、考えを深めている。 【自分ごととして考える】 差別や偏見のないよりよい社会の実現のために、自分なりにできることを考え出し、大切にすべき心情や態度について、考えを深めている。	特別活動	目標 16
6 月 ④	6 いのちを考える 「生命の重さ」 【D 生命の尊さ】	1	他の生命との関係性の側面から、生命の尊さについて考えることを通して、生命の価値について考えを深め、生きとし生けるものの生命を尊重しようとする実践意欲と態度を育てる。	1 生き物と自分との関わりを考える。 ○人、動物、植物……、全ての生き物に共通していることは、なんだろう。 2 「なぜ殺してはいけないのか」を読み、「いのち」の尊さを身近な生活に落としこんで考える。 ●「なぜ殺してはいけないのか」、自分なりに考えよう。 ●「いのちなしには生きられない」、この言葉を、あなたはどうか受け止めただろう。 3 「いのち」について考えたことをまとめる。 ●「いのち」について考えたことをまとめよう。	【多面的・多角的に考える】 自他の生命を大切にすることについて、多様な価値観を受け止めながら、多面的・多角的に考えている。 【自分ごととして考える】 自分の身のまわりの生き物の生命について改めて考え、様々な意見を受け入れながら、生命の尊さについて考えを深め、支え合い生かされていることへの感謝の思いを深めている。	理科、技術・家庭、総合的な学習	目標 14 目標 15
	7 自分で決める 「自由と責任」 【A 自主、自律、自由と責任】	1	部活をやめようか迷う陽香里へのアドバイスについて、話し合いを通して考え、一つの判断には責任が伴うことに気づき、自分の行動に責任をもとうとする判断力を育てる。	1 「自由」について抱いているイメージを出し合う。 ○「自由」という言葉から、どんな人や物事を連想するだろうか。 2 「自分で決める」を読み、自由に選択することに伴う責任について話し合う。 ●陽香里は、吹奏楽部をやめようと瑠花に誘われて、なぜ迷っているのだろうか。 ●あなたなら、このあと陽香里にどのようなアドバイスをするだろうか。 3 今後自分がどのように判断していくべきか、考えをまとめる。 ●「自分で決める」ときに大切なのは、どんなことだろう。	【多面的・多角的に考える】 自らを律し自らの行為の結果に責任をもつために必要なことについて、他の人の意見を理解しながら考えている。 【自分ごととして考える】 自分の意志に基づく判断によって生じた義務を、忠実に果たすために必要なことについて、自らの経験や今後の生活と重ねて考えている。	保健体育、技術・家庭	

月	教材名 「主題名」 【内容項目】	配当 時数	ねらい	学習活動と主な発問（○は導入）	評価の視点	他教科・ 特別活動な どとの関連	SDGs 目標と の関連
6 月 ④	8 ごめんね、おばあちゃん 「家族の一員として」 【C 家族愛、家庭生活の充実】	1	おばあちゃんに対する「僕」の思いの変化を捉えるを通して、家族の一員としての自覚をもち、父母、祖父母に対する敬愛の念を深めようとする心情を育てる。	1 家族に対する考えを出し合う。 ○あなたはふだん、家族とどのように接しているだろうか。 2 「ごめんね、おばあちゃん」を読み、おばあちゃんに対する「僕」の気持ちの変化を考えたり、話し合ったりする。 ●「僕」は、夕飯の時に涙を流したおばあちゃんを見て、どう思っただろう。 ●「もう、おまえたちには、何もしてやれなくなった……。」とつぶやき、涙を流したおばあちゃんを、「僕」はどんな思いで見ているだろうか。 ●家族の一員として、自分にできることにはどんなことがあるだろうか。 3 家族に対して敬愛の念をもって生活するとはどのようなことか、考えをまとめる。	【多面的・多角的に考える】 家族の一員としての自覚をもち、家族の中での自分の役割について他の人と意見を交流しながら考えを深めている。 【自分ごととして考える】 「僕」の心情の変化を共感的に捉え、家族の一員として大切にすべきことについて自らの経験と重ねて考え、父母や祖父母に対する敬愛の念を深めている。	社会、技術・家庭	
7 月 ②	9 難民とともに ～緒方貞子～ 「世界の人々のために」 【C 国際理解、国際貢献】	1	緒方貞子さんの決断や言葉について話し合うことを通して、国際的視野に立って世界の平和と人類の発展に貢献することについて考え、その実現に努めようとする実践意欲と態度を育てる。	1 デジタル教材の動画を視聴し、緒方さんの活動の概要を知る。 ○遠い国で困っている人々を助けるとは、どのようなことなのだろうか。 2 「難民とともに ～緒方貞子～」を読み、緒方さんの心の葛藤と大きな決断について考える。 ●緒方さんはどのような思いで「歴史を変える決断」をしたのだろうか。 3 緒方さんの生き方や言葉から、緒方さんが私たちに伝えたいこと、私たちにできることを考える。 ●緒方さんが最後のスピーチで伝えたかったのは、どのようなことだろう。 ●私たちが世界の人々のためにできることは何か、緒方さんの生き方とおして考えてみよう。 4 感じたこと、考えたことをまとめる。	【多面的・多角的に考える】 国際的視野に立って難民の現状や世界の情勢に目を向け、世界の平和を望み、自分にはどのようなことができるか、多面的・多角的に考えている。 【自分ごととして考える】 緒方さんが大切にしたい思いを共感的に捉えながら、緒方さんが私たちに伝えたいことは何かを考えることを通して、世界の平和と人類の発展に貢献しようとする思いを深めている。	社会	目標 10 目標 16
	10 ヤクーバとライオン 「気高く生きようとする心」 【D よりよく生きる喜び】	1	ヤクーバが葛藤の末、良心に従って選んだ道をその後どう思うか深く考えることを通して、真の勇気を誇りに思い、気高く生きようとする道徳的判断力を育てる。	1 自分が正しいと思うことをした経験を振り返る。 ○他の人に理解されなくても、自分が正しいと思うことをした経験はあるだろうか。 2 「ヤクーバとライオン」を読み、人間の強さ、気高さについて考える。 ●勇気を奮い起こそうとしていたヤクーバは、ライオンの話を聞いて、どんなことを考えただろう。 ●ライオンを殺さずに帰ったヤクーバは、自分が選んだ道をどのように思っているだろうか。 3 自分が「よりよく生きる」とはどういうことか、考える。 ●あなたは、どんな時に自分の弱さを感じ、どんな時にこれでいいんだと思うだろうか。	【多面的・多角的に考える】 「勇気」とは「怖がらずに相手を倒すこと」という一面的な捉えから、「今は他から理解されなくても、自分に恥じない行動をとる気高い精神」と見方を広げ、価値の本質、よりよく生きることについて深く考えている。 【自分ごととして考える】 ヤクーバの立場だったらどう判断するかを考え、これまでに自分の弱さに流されたことや自分の納得する道を選択した経験を振り返りながら、これからの生き方に思いをめぐらせている。	社会	
9 月 ③	11 裏庭のできごと 「誠実な生き方」 【A 自主、自律、自由と責任】	1	自分の失敗を正直に報告できなかった健二の葛藤について考えることを通して、誠実に行動することで得られることに気づき、責任ある行動をとろうとする実践意欲と態度を育てる。	1 失敗した時の行動について、経験を出し合う。 ○人の意見に流されてしまったことはあるだろうか。 2 「裏庭のできごと」を読み、誠実に行動することの意義について話し合う。 ●健二は職員室に向かう時、首を横に振りながら、どんなことを考えていたのだろうか。 ●自分のまちがいを謝ることで、どんなことが得られるだろう。 3 自分で判断し行動する時に大事だと思うことは何か、考えをまとめる。 ●正直に行動できなくなりそうな時には、どんなことを第一に考えればよいだろうか。	【多面的・多角的に考える】 誠実に行動し自らの行為の結果に責任をもつことの大切さについて、3人の登場人物の心情を理解しながら考えを深めている。 【自分ごととして考える】 誠実に生きるために大事にすべきことについて、健二の葛藤を共感的に捉え、自らの経験と重ねて考えを深めている。		

月	教材名 「主題名」 【内容項目】	配当 時数	ねらい	学習活動と主な発問（○は導入）	評価の視点	他教科・ 特別活動な どとの関連	SDGs 目標と の関連
9 月 ③	12 ルールとマナー 「法やきまりの意義」 【C 遵法精神、公德心】	1	ルールとマナーについて、 多面的・多角的に捉え考 えるを通して、インター ネット上のコミュニティー においても法やきまりによ り秩序が保たれていること を理解し、自他の権利を尊 重しながら、社会の秩序と 規律を高めていこうとする 判断力を育てる。	1 ルールとマナーの違いを考える。 ○なにげない日常のやりとりの中にもルールやマナーが必要なのは、どうしてだ ろう。 2 「ルールとマナー」のインターネット上の投稿を読み、何が問題なのかを考え る。 ●アオイの投稿の何が問題だったのか、気がついたことを出し合おう。 ●ルールとマナーは、私たちの生活になぜ必要なだろう。 ●ルールとマナーについて、私たちはどのようなことを意識して生活したらよい のだろう。 3 感じたこと、考えたことをまとめる。	【多面的・多角的に考える】 投稿の問題点を「ルール」「マナー」の視点 や様々な立場から考えることで、ルールと マナーの多面性や必要性について、考えを 深めている。 【自分ごととして考える】 投稿の問題点を探り出し、自らの経験と重 ねながら、自他の権利を大切にしつつ社会 の秩序と規律を高めていくことについて考 えを深めている。	社会、技術・ 家庭、特別活 動	目標 16
	13 一日前に戻れると したら 「安全への配慮」 【A 節度、節制】	1	教材と体験をもとに、危険 を回避するために必要な ことについて考え、安全へ の配慮としてすべきこと について理解を深め、望ま しい生活習慣を身につけ ようとする判断力を育て る。	1 「危険」について抱いているイメージを出し合う。 ○学校の中や外で「危険なめに遭った」と思ったことに、どんなことがあるだろう か。 2 「一日前に戻れるとしたら」を読み、危険を回避するために必要な姿勢や習慣 について話し合う。 ●ここに出てくる三人の行動や考え方を比べてみて、共通する点や異なる点をあ げてみよう。 ●学校の中や外で「危険なめに遭った」と思ったことについて、その少し前に戻れ るとしたら何をするか、考えよう。 3 今後、自分がどのように安全と向き合っていくべきか、考えをまとめる。 ●安全に配慮して生活することで、どのようなことが得られるだろう。	【多面的・多角的に考える】 安全に配慮して生活するために必要なこと について、他の人の意見を理解しながら考 えている。 【自分ごととして考える】 身近な危険を振り返りながら、安全に配慮 するというプロセスの中にある価値につい て、自らの経験や今後と重ねて考えている。	理科、保健体 育、総合的な 学習	目標 11 目標 13
10 月 ④	14 オリンピックの土 俵を目標として 「自分らしく生きる」 【A 向上心、個性の伸長】	1	今日和さんの生き方から、 好きなことを続けるため に大切なことについて話 し合うを通して、自分 の個性やよさについて考 えを深め、向上していこう とする実践意欲と態度を 育てる。	1 自分らしく生きることについて考える。 ○自分らしく生きるとは、どういうことだろう。 2 「オリンピックの土俵を目標として」を読み、今さんの言葉や生き方から、向上 心をもち続けることについて考える。 ●今さんが相撲を続けたのはなぜだろうか。その思いをあげてみよう。 ●自分がしたいことをするのが難しいとき、あなたはどのようにするだろうか。 3 自分のよさを伸ばすために大切なことについて考える。 ●自分のよさを伸ばし夢に近づくために大切なことは、どんなことだろう。	【多面的・多角的に考える】 好きなことを続けるために前向きに道を切 りひらく今さんの言葉や生き方から、自分 のよさを伸ばし夢に近づくために大切なこ とについて多面的・多角的に考えている。 【自分ごととして考える】 今さんの言葉や生き方を通して、多様な生 き方・考え方があることに気づき、自分の個 性を伸ばし自分らしく生きていくためにど うしようと思うか考えを深めている。	保健体育	
	15 けやき中を誇りに 「学校に誇りをもつ」 【C よりよい学校生活、集 団生活の充実】	1	伝統の合唱コンクールに 臨む姿勢を考えさせるこ とを通して、学級や学校の 一員としての自覚をもち、 協力し合ってよりよい校 風をつくるとともに集団 生活の充実に努めようと する心情を育てる。	1 学校行事を通して先輩から学びたいと思うことを出し合う。 ○学校行事をとおして先輩から学びたいと思うことに、どんなことがあるだろう。 2 「けやき中を誇りに」を読み、自分たちの学校に誇りをもつとはどういうこと か、話し合う。 ●クラスがまとまらなかった時、「私」はどんな気持ちだっただろう。 ●合唱コンクールをとおして「私たち」が得たものとは、なんだったのだろうか。 ●自分たちの学校に誇りをもつとは、どういうことだろうか。 3 学校生活を充実したものにするために自分たちにできることについて、考え をまとめる。	【多面的・多角的に考える】 学校生活を充実したものにするために必要 なことについて、登場人物の心情を理解しな がら様々な立場に立ち、考えを深めている。 【自分ごととして考える】 先輩たちの伝統を受け継ぎ、クラスや学校 の一員としての自覚をもって協力し合うこ との大切さについて、「私」の葛藤を共感的 に捉え、自らの経験と重ねて考えを深めて いる。	特別活動	

月	教材名 「主題名」 【内容項目】	配当 時数	ねらい	学習活動と主な発問（○は導入）	評価の視点	他教科・ 特別活動な どとの関連	SDGs 目標と の関連
10 月 ④	16 不自然な独り言 「思いやりの心」 【B 思いやり、感謝】	1	目の不自由な人と出会った時の「僕」の行動について考えるを通して、温かい人間愛の精神を深め、他の人々に対し思いやりの心をもとうとする心情を育てる。	1 「思いやり」について考える。 ○「思いやり」とは、どのようなものだろう。 2 「不自然な独り言」を読み、「僕」の行動について考える。 ●「僕」はなぜ「不自然な独り言」を言って、これまた不自然にゆっくりと横断歩道を渡った」のだろう。 ●あなたが「僕」の立場だったら、どうするだろうか。 ●「思いやり」の気持ちを伝えるとき、どんなことを大切にしたいと思うだろうか。 3 「思いやりの心」をもつことの大切さについて、自分の考えをまとめる。	【多面的・多角的に考える】 思いやりの気持ちをもち伝えようとするこの大切さについて、「僕」の心情や、自身の考え、他の人の考えを照らし合わせながら考えを深めている。 【自分ごととして考える】 親切をされる人の立場に思いをさせ、「思いやり」の気持ちを伝えるときに大切にしたいことについて、自分なりに考えを深めている。	保健体育、総合的な学習	目標 3
	17 ショートパンツ初体験 in アメリカ 「個性を表現すること、受け入れること」 【B 相互理解、寛容】	1	今までの自己を脱却し強く生きようとする「私」の姿を通して、いろいろなものの見方や考え方があることに気づき、それぞれの個性や立場を尊重し、寛容の心をもって謙虚に他に学ぼうとする心情を育てる。	1 自分らしさを表現することについて考える。 ○周りの目が気になって自分らしさを出すのが怖いとき、あなたならどうするだろうか。 2 「ショートパンツ初体験 in アメリカ」を読み、個性を表現する、受け入れるとはどのようなことかを考える。 ●「私」は、なぜ「心の壁」を作ってしまったのだろう。 ●「個性を表現する」、「個性を受け入れる」とは、どういうことなのだろう。 3 個性を尊重するとはどのようなことなのかを考える。 ●みんなが「心の壁」を作らないようにするために、どんなことができるだろう。 4 感じたこと、考えたことをまとめる。	【多面的・多角的に考える】 「個性を表現する側」、「個性を受け入れる側」など様々な視点から、心の壁を作らないようにするためにできることについて考えている。 【自分ごととして考える】 個性や立場を尊重すること、いろいろなものの見方や考え方があることについて、「私」の経験と自らの経験を重ねながら考えを深めている。	社会、総合的な学習	目標 10
11 月 ④	18 「ちがい」について考えよう 「尊重されるべきちがい、あってはならないちがい」 【C 公正、公平、社会正義】	1	個人や文化の多様性として尊重されるべきちがいと、公正、公平な社会の実現のためにあってはならないちがいの線引きを考えるを通して、差別や偏見のない、個人や文化の多様性を尊重する社会をつくろうとする道徳的判断力を育てる。	1 教科書p.96～97 の活動を行う。 ○「公平」とはなんだろう。「平等」とはなんだろう。 2 4人程度のグループをつくり、ワーク1を行う。 ●「おなじ」に安心し、「ちがい」に不安を感じた経験はあるだろうか。それはなぜだろう。 3 ワーク2を個人で行ったあと、グループで話し合う。 ●尊重されるべき「ちがい」、あってよい「ちがい」、あってはならない「ちがい」は、何が違うのだろうか。 4 感じたこと、考えたことをまとめる。 ●あなたは、自分も周りもみんな幸せに生きられる世の中にするために、特に、どんなちがいを尊重し、どんなことをおなじにして生きていこうと思うだろうか。	【多面的・多角的に考える】 「あってよいちがい」と「あってはならないちがい」を判断する際、本当に幸福な社会をつくるために、みんなにとってどうか、今だけでなく未来はどうか、立場や時を変えて考えている。 【自分ごととして考える】 様々な「ちがい」について、思いこみにとらわれることなく、自分の家庭や所属する集団を振り返ったり、自分がこれからできる行動に思いをめぐらせたりしながら、考えを深めている。	社会	目標 10 目標 16
	19 選ぶということ 「学校や社会の一員として」 【C 社会参画、公共の精神】	1	「自分たちの代表を選ぶ」ことの意味について考えるを通して、社会参画の意識を高め、学校や社会をよりよくするために主体的に関わっていかうとする実践意欲と態度を育てる。	1 選挙について知っていることを出し合う。 ○学校や社会の一員として、どんなことができるだろう。 2 「選ぶということ」を読み、自分たちの代表を選ぶということについて話し合う。 ●あなただったら、修一、秀人、智美のうち誰に投票するだろうか。理由も含めて話し合おう。 ●自分たちの代表を選ぶとは、どういうことだろう。 3 集団の一員として、「代表を選ぶ」ということにどのように関わっていかうかを考える。 ●集団の一員として、あなたは「代表を選ぶ」ということにどのように関わっていかうだろうか。	【多面的・多角的に考える】 候補者の演説をもとに様々な選ぶ基準について話し合い、選ぶということについて多面的・多角的に考えを深めている。 【自分ごととして考える】 自分の選択や投票行動が及ぼす影響について考え、積極的に社会に関わろうとする意欲を高めている。	社会、特別活動	

月	教材名 「主題名」 【内容項目】	配 当 時 数	ねらい	学習活動と主な発問（○は導入）	評価の視点	他教科・ 特別活動な どとの関連	SDGs 目標と の関連
11 月 ④	20 全ての人に安心、 安全な水を 「新しいものをつくり出 す」 【A 真理の探究、創造】	1	水質浄化剤を発明した小 田兼利さんの生き方を通 して、真理を探究し続け ることの大切さやそれを支 える思いについて考え、工 夫して新しいものを創造 していこうとする実践意 欲と態度を育てる。	1 新しいものをつくり出した人にはどのような人たちがいるかを考える。 ○「新しいものをつくり出した人」には、どんな人がいるだろう。 2 「全ての人に安心、安全な水を」を読み、小田さんの思いを考える。 ●小田さんは、なぜ発明を諦めなかったのだろう。 3 小田さんの生き方を通して、自分について考える。 ●小田さんは、自分の思いがよい結果につながらないとき、どのようなことを大切にしたのだろう。 ●新しいものをつくり出すために必要なこととはなんだろう。 4 感じたこと、考えたことをまとめる。	【多面的・多角的に考える】 小田さんの「誰かのために何かをしたい」という思いや、想像力をはたかせながら探究し続ける姿を通して、新しいものを創造するために必要なことは何か、多面的・多角的に考えている。 【自分ごととして考える】 真理を探究し続けることの大切さや工夫して新しいものを創造していこうとする思いについて、困難に負けず研究を続けた小田さんの姿と自らの経験を重ねながら、考えを深めている。	社会、理科、 保健体育	目標 3 目標 6
12 月 ③	21 レイ之助が望んだ こと 「かけがえのない命」 【D 生命の尊さ】	1	愛犬の治療をする道を選 んだ飼い主の、「自分の判 断はどうだったのか」とい う葛藤を通して、生命につ いて多面的・多角的に考 え、かけがえのない命を尊 重しようとする心情を育 てる。	1 生き物の飼い主として「命」を考える視点をもつ。 ○これまでに生き物の世話をしたことがあるだろうか。 2 「レイ之助が望んだこと」を読み、由実さんの思いを通して「命を大切にする」とはどのようなことなのか考える。 ●レイ之助君が歩けなくなり介護生活が始まった時、由実さんはどのような思いだっただろう。 ●治療の道を選んだ由実さんが「彼は何を望んでいたのか？」と常に思っていたのはなぜだろう。 3 命を大切にすることについて、考えたことをまとめる。 ●命を大切にするととはどのようなことなのだろう。	【多面的・多角的に考える】 命を大切にするととはどのようなことか、他者の意見を手がかりに自分の考えを広げようとする意欲をもち、様々な側面から考えを深めている。 【自分ごととして考える】 レイ之助とともに生きる家族としての立場で、レイ之助にとつての幸せはなんだったのかを考え、飼い主の責任として何を優先させようと思うか、自分なりの考えを深めている。	特別活動	
	22 幸せな仕事って 「働くことの意味」 【C 勤労】	1	職業聞き取り学習の話か ら、職業選択のあり方や働 くことの意義を考えるこ とを通して、自分の仕事に 誠実に取り組むことのす ばらしさに気づき、自分の 将来の勤労について考え ようとする実践意欲と態 度を育てる。	1 将来就きたい仕事について考えを出し合う。 ○あなたは、将来どんな仕事に就きたいと思っているだろうか。 2 「幸せな仕事って」を読み、働くことの意義について考える。 ●働くことにはどんな意義があると思うか、みんなで出し合おう。 ●太陽を見ながら、光太郎はどんなことを考えていたのだろう。 3 働くこととどのように向き合っていくか、考えをまとめる。 ●「幸せな仕事にめぐり合う」には、どんなことが必要だろうか。	【多面的・多角的に考える】 自己実現、社会の一員としての役割、信頼や喜びを得るなどの様々な面から、働くことの意義について考えている。 【自分ごととして考える】 光太郎の気持ちを共感的に捉え、自分自身の進路や、将来の職業に対する不安や葛藤に対して、広い意見を受け入れて考えている。	社会、特別活 動、総合的な 学習	目標 8
	23 富士山を守ってい くために 「豊かな自然を守る」 【D 自然愛護】	1	富士山が世界文化遺産に 登録された経緯を知り、人 間と自然との関わりにつ いて考え、自然を守るた めに自分にできることを探 していこうとする実践意 欲と態度を育てる。	1 自分の好きな自然を思い描く。 ○自然を大切にするととは、どういうことだろう。 2 「富士山を守っていくために」を読み、自然を守ることに話し合う。 ●自然の雄大さに感動した経験を出し合おう。 ●富士山が「世界文化遺産」であることについてどう思うか、話し合おう。 3 自然を守るために自分たちにできることを考える。 ●あなたの守りたい身近な自然について、できることを考えてみよう。	【多面的・多角的に考える】 富士山が世界文化遺産に登録されたことについて、その経緯や意義、人々のはたらきかけなど多面的・多角的に考え、人間が自然と関わることや自然を守ることの価値について考えを深めている。 【自分ごととして考える】 富士山の自然が人々の努力によって守られていることへの気づきから、身近な自然に対して自分にできることは何か、能動的な姿勢で考えている。	理科、社会、 総合的な学 習	目標 11

月	教材名 「主題名」 【内容項目】	配当 時数	ねらい	学習活動と主な発問（○は導入）	評価の視点	他教科・ 特別活動な どとの関連	SDGs 目標と の関連
1 月 ③	24 伝えたい味 「郷土文化の継承」 【C 郷土の伝統と文化の 尊重、郷土を愛する態度】	1	すまんじゅうを伝え残そうとする「私」の思いを考 えることを通して、先人や 地域と伝統文化のつなが りに気づき、郷土の発展の ために自分が寄与しよう とする実践意欲と態度を 育てる。	1 身近な伝統や文化について知っていることを出し合う。 ○「地域の文化」と聞いたとき、どんなことを思い出すだろうか。 2 「伝えたい味」を読み、地域の伝統や文化を守ることの難しさと大切さにつ いて話し合う。 ●「私」は、どんな思いで「すまんじゅう」を残そうとしているのだろうか。 ●その土地に昔からある文化を守っていくことは、なぜ大切なのだろうか。 3 地域社会の一員として自分がどのように関わっていきたいか、考えをまとめる。 ●地域の伝統文化を守っていくために、自分にできることはなんだろうか。	【多面的・多角的に考える】 郷土の伝統文化を守ることの大切さにつ いて、「私」の感じ方や考え方を理解しながら 考えている。 【自分ごととして考える】 地域社会の伝統文化を守っていくために必 要なことについて、自らの生活や身のまわり の人たちとのつながりと重ねて考えている。	技術・家庭、 総合的な学 習	目標 11
	25 雅司のとまどい 「友達のよいところ」 【B 友情、信頼】	1	互いのよさを認め合う友 情について話し合うこと を通して、友達関係を築く ために大切なことを考え、 互いに励まし合い、高め合 おうとする実践意欲と態 度を育てる。	1 友達のよさについて考えを出し合う。 ○友達のいいところって、どんなところだろう。 2 「雅司のとまどい」を読み、友情や信頼関係を築くために大切なことについて 考える。 ●雅司、由紀、美佐の三人は、一緒にいることで、それぞれにどんなよいことがあ るだろう。 ●お互いのよさを認め合う友情を築くためには、どんなことを大切にしたらいい だろう。 3 友達のよさを見つけ合う。 ●友達のいいところを見つけ、話し合ってみよう。 4 感じたこと、考えたことをまとめる。	【多面的・多角的に考える】 登場人物の立場に立ったり、自分の周りの 友達関係を想起したりして、互いのよさを 認め合う友情を築くために大切なことにつ いて、多面的・多角的に考えている。 【自分ごととして考える】 互いの個性を肯定的に捉え、よさとして伝 え合う活動を通して、互いを信頼し励まし 合うことのよさを実感し、友情を築いてい こうとする意欲を高めている。	特別活動	
2 月 ④	26 それは個性 「自分の個性に自信をも つために」 【A 向上心、個性の伸長】	1	ミズナと友達の会話をも とに、個性とは何かを考 えることを通して、人との違 いを前向きに捉え、自信を もって生きていこうとす る実践意欲と態度を育て る。	1 自分のことについて考える。 ○他の人と違うことって、「変」なのだろうか。 2 「それは個性」を読み、個性を伸ばすとはどういうことか考え、話し合う。 ●あなたがミズナのクラスメイトだったら、ミズナの個性をどう考えるだろう。そ れはなぜだろう。 ●周りから「ズレてる」ことには、どんなよさがあるだろう。 3 自分自身や周りの人のよさを伸ばすために大切なことについて、考えをまと める。 ●自分や友達の個性をまるごと受け止めるために、どんなことを大切にすればよ いだろう。	【多面的・多角的に考える】 ミズナの「変」を「すごい」「新鮮みがあって サイコー」と考えるクラスメイトの視点か ら、自他の個性を多面的・多角的に捉え、個 性を伸ばすことについて考えを深めている。 【自分ごととして考える】 ミズナのクラスメイトの前向きな考え方に 共感し、自他の個性をどのように捉え伸ば していくか、肯定的に考えようとする意欲 を高めている。	保健体育、特 別活動	
	27 よく生きること、 よく死ぬこと 「限りある命を生きる」 【D 生命の尊さ】	1	生きたいと願い、死ぬこと への恐怖や悔しさを抱え ながらも死と向き合い、人 生を全うしたヨッちゃんの 姿から、よく生きるとは どういうことかを考え、周 囲への感謝をもってかけ がえのない生命を大切に 生きていこうとする心情 を育てる。	1 「命を大切に生きる」とはどういうことか考える。 ○楽しいだけでなく、つらいこともたくさんあるのに、人はなぜ生きるのだら う。 2 「よく生きること、よく死ぬこと」を読み、「生」と「死」について考える。 ●人は、なんのために生まれ、なんのために今を生きているのだろうか。 3 「よく生きる」ために必要なことを考える。 ●「よい生」と「よい死」とは、どのようなことなのだろうか。 ●「よく生きる」ために、大切なことはなんだろう。 4 感じたこと、考えたことをまとめる。	【多面的・多角的に考える】 生命には限りがあることを念頭におきなが ら「生まれてきたこと」「生きること」「死ぬ こと」が自分にとってどのようなものなの か、「よく生きるため」「よく死ぬため」には 何が必要なのか、考えを深めている。 【自分ごととして考える】 周囲への感謝をもって生きることの大切さ やかけがえのない生命を大切に生きてい こうとする態度について、ヨッちゃんの姿と 自らの経験を重ねながら考えを深めている。	保健体育	

月	教材名 「主題名」 【内容項目】	配当 時数	ねらい	学習活動と主な発問（○は導入）	評価の視点	他教科・ 特別活動な どとの関連	SDGs 目標と の関連
2 月 ④	28 私に宇宙のプレゼント 「生きることの喜び」 【D よりよく生きる喜び】	1	病と闘う「私」の姿について考えることを通して、弱さを乗り越え、強く生きようとする気持ちの大切さを理解し、人間として生きることの喜びを見いだそうとする心情を育てる。	1 生きていてよかったと思うことを考える。 ○生きていることを実感し、うれしく思うのは、どんな時だろう。 2 「私に宇宙のプレゼント」を読み、生きていく中で、よりよい自分の生き方が想像できない時の心情を考える。 ●「私」は、どうして透析をすることに反抗したのだろう。 ●「私」は自分の将来を考えて不安になった時、どうしたのだろう。 3 自分の弱さを克服し、強く生きていくために必要なことを考える。 ●人間として強く生きていくために必要なことは、どのようなことだろう。 4 感じたこと、考えたことをまとめる。	【多面的・多角的に考える】 「私」の「強く生きたい」「生きることがつらい」という葛藤を捉えながら、「私」、家族、臓器提供者などの多様な視点から、強く生きるために必要なことや生きる喜びについて考えを深めている。 【自分ごととして考える】 弱さを乗り越えること、強く生きようとする、人間として生きることの喜びを見いだそうとする心について、病と闘う「私」の姿と自らの経験を重ねながら考えを深めている。	理科	
3 月 ②	29 “庶民の笑い”を絶やさない ～落語家・桂米朝さんの生涯～ 「日本の伝統と文化の継承」 【C 我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度】	1	上方落語の復活に尽くした桂米朝さんの生き方から、伝統や文化を継承するために必要なことについて考え、日本のよさを感じその発展に寄与しようとする実践意欲と態度を育てる。	1 落語について知っていることを出し合う。 ○落語にはどんな魅力があるだろう。知っていることを発表し合おう。 2 “庶民の笑い”を絶やさない～落語家・桂米朝さんの生涯～を読み、伝統や文化を継承することについて考える。 ●上方落語という伝統のバトンを渡すために、米朝さんはどんなことをしたのだろう。 ●米朝さんが上方落語という伝統を復活させ継承しただけでなく、新しさも盛り込んでいったのは、なぜだろう。 3 日本の伝統と文化の継承について考えたことをまとめる。 ●日本でもともに暮らし、日本のよさを感じて文化や国をつくっていく人間として、どんなことができるか考えてみよう。	【多面的・多角的に考える】 米朝さんの努力を理解し、伝統や文化を継承することの大切さやその時に必要なことについて、多面的・多角的に考えている。 【自分ごととして考える】 日本のよさを感じ伝えるために、自分がその担い手としてできることを、身近なことから考えている。	国語、社会	
	30 オーロラの向こうに 「人の力の及ばないもの」 【D 感動、畏敬の念】	1	自然の前で自らの有限性を痛感する「僕」の心境について思いをはせることを通して、人間の力を超えたものとの向き合い方に気づき、自然を畏れ、敬おうとする心情を育てる。	1 「自然」について抱いているイメージを出し合う。 ○「自然は、とても○○だ」と表現するとしたら、あなたはどうか答えるだろう。 2 「オーロラの向こうに」を読み、自然に対して畏敬の念をもつ場面について話し合う。 ●「僕」にとって、自然とはどのようなものなのだろう。 ●「自然は人間の思いどおりになんかならない」と感じたことがあるだろうか。その時のことを思い出そう。 3 今後、自分がどのように自然と向き合っていくべきか、考えをまとめる。 ●自然を敬うとは、どういうことだろう。	【多面的・多角的に考える】 人間の力を超えた自然の厳しさと美しさについて、他の人の意見を理解しながら、より具体的に考えている。 【自分ごととして考える】 自然と謙虚に向き合い、その中で自らの生活をより豊かなものにするために必要な姿勢について、自らの経験と重ねて考えている。	理科、特別活動	
補充教材	31 古びた目覚まし時計 「時間の価値」 【A 節度、節制】	1	時間の大切さに対する「僕」の気づきを共感的に捉えることを通して、自律的な生活を送ることのよさやそのために必要なことは何かを考え、望ましい生活習慣を身につけようとする実践意欲と態度を育てる。	1 これまでの自分の生活について振り返る。 ○毎日の生活のリズムについて、大切にしていることはあるだろうか。 2 「古びた目覚まし時計」を読み、望ましい生活習慣について考えたり、話したりする。 ●父が「僕」に「時間は元に戻すことはできないんだ。」と言ったのは、なぜだろう。 ●「心のベル」とは、なんだろう。あなたは「心のベル」をもっているだろうか。 ●一日の生活を点検してみよう。見直したい点はあるだろうか。 3 これからの自分の生活をどのようにしていきたいか、考えをまとめる。	【多面的・多角的に考える】 「心のベル」をもつことの大切さについて、他の人の考えと照らし合わせながら、考えを深めている。 【自分ごととして考える】 父から「僕」が聞いた話や「僕」が感じ取ったことを共感的に捉え、自らの生活習慣と重ねながら、望ましい生活について深く考えている。	保健体育、技術・家庭	

月	教材名 「主題名」 【内容項目】	配 当 時 数	ねらい	学習活動と主な発問（○は導入）	評価の視点	他教科・ 特別活動な どとの関連	SDGs 目標と の関連
補 充 教 材	32 「夢」をつなぐ ～名古屋城本丸御殿の 復元にかけた思い～ 「郷土に対する誇り」 【C 郷土の伝統と文化の 尊重、郷土を愛する態度】	1	夢童由里子さんの名古屋 城本丸御殿の復元にかけ た思いを考えることを通 して、先人への感謝と郷土 に対する認識を深め、郷土 に対して誇りや愛着を もって主体的に関わろう とする実践意欲と態度を 育てる。	1 『『夢』をつなぐ』ということについて考える。 ○「夢をつなぐ」とは、どういう意味だろう。 2 『『夢』をつなぐ ～名古屋城本丸御殿の復元にかけた思い～』を読み、郷土 を愛する態度について話し合う。 ●本丸御殿の復元が夢童さんの「夢」となったのはなぜだろう。 ●「新たな心の支え」とは、どういうことだろう。 3 地域の一人として自分がどのように関わっていききたいか、考えをまとめる。 ●あなたは、自分の郷土にどのように関わっていききたいだろうか。	【多面的・多角的に考える】 夢童さんの、本丸御殿復元にかけた思いと 行動について多様な視点をもって考えると ともに、それを支え、守ろうとする人々の心 情を理解し、「夢をつなぐ」ことについて考 えを深めている。 【自分ごととして考える】 身近な地域や郷土のよさを再発見し、それ を受け継ぎ発展させることの価値につい て、自らの体験や日常生活と重ねながら、未 来に目を向けて深く考えている。	社会、美術	目標 11 目標 17
	33 マンションの椅子 ～熊本地震の中で見つ けたもの～ 「思いやりの尊さ」 【B 思いやり、感謝】	1	震災後の地域の人々によ る共助について考えるこ とを通して、他者を思いや る尊さとすばらしさを感じ、人間愛の精神を深めよ うとする実践意欲と態度 を育てる。	1 熊本地震など大きな災害について知っていることを出し合い、概要を知る。 ○もしも大きな災害が身近で起こったら、あなたを支えてくれるのは誰だろう。 2 「マンションの椅子 ～熊本地震の中で見つけたもの～」を読み、震災のあと に出会った「マンションの椅子」について話し合う。 ●椅子を置いた人は、どんな思いで置いたのだろう。 ●あなたはこの椅子にどんな名前をつけるだろうか。 3 思いやりの尊さや感謝の心がもつ力の大きさに気づき、身近に同じような価 値があるものはないか考える。 ●この椅子は誰を幸せにしただろう。あなたの周りにも、この椅子と同じように誰 かの思いがこめられたものはあるだろうか。	【多面的・多角的に考える】 マンションの階段の近くに置かれた椅子に どんな名前をつけるか考えることを通し て、この椅子がもつ様々な道徳的価値に気 づき、他者を思いやる尊さやすばらしさ について思いを深めている。 【自分ごととして考える】 思いやりや感謝の心が人と人をつなぎ 人を支えていることに気づき、そのような ことが身のまわりにないか、自らの経験 を振り返って考え、自分ごととして捉えている。	特別活動	
	34 もったいない 「感謝の心をもつ」 【B 思いやり、感謝】	1	「もったいない」ことにつ いて考えることを通して、 身近なものや今ある生活、 周囲からの支えの「ありが たさ」に気づき、感謝の気 持ちをもって毎日を大切 に生きようとする実践意 欲と態度を育てる。	1 「もったいない」と思うことを出し合う。 ○毎日の生活の中で「もったいない」と思うのは、どんなことだろう。 2 「もったいない」と思うことから、日頃自分が受けている恩恵に気づかせる。 ●「もったいない」という言葉には、どのような心が含まれているのだろう。 ●あなたが「もったいない」と思うことには、どんなことがあるだろう。もう一度 考えてみよう。 3 感謝の心を自分のこれからの生き方にもどうつなげていききたいか、考えをまと める。 ●「もったいない」について考えたことや、これからの生活にいかしていきたいこ とをまとめよう。	【多面的・多角的に考える】 「もったいない」にこめられた様々な心を 理解し、物的損失だけでなく、物にこめら れた人の思いや時間などに対する感謝や敬愛 の念について考えている。 【自分ごととして考える】 「もったいない」ことを考えることを通し てそれがあることの「ありがたさ」に気づ き、感謝の心をもって生きようとする意欲 を高めている。	技術・家庭、 総合的な学 習	目標 12
	35 僕の応援歌 「家族のきずな」 【C 家族愛、家庭生活の充 実】	1	嘉成さんに対して厳しく、 粘り強く療育に励んだ有 希子さんの思いや、その思 いを嘉成さん自身がどう 受け止めているのかを考 えることを通して、家族の 一員としての自覚をもち、 充実した家庭生活を営も うとする心情を育てる。	1 家族のつながりを感じた場面について、経験を出し合う。 ○家族と友達との違いってなんだろう。 2 「僕の応援歌」を読み、家族のつながりに必要なことについて考える。 ●嘉成さんが、今もお母さんが心の中にいると思えるのはなぜだろう。 ●豊かな家庭生活を営んでいくうえで大切なことはなんだろう。 3 家族の一員としてもつべき姿勢とはどのようなものか、考えをまとめる。 ●現在、そして将来の家族の一員として、どんなことを心がけていきたいと思うだ ろうか。	【多面的・多角的に考える】 愛情を注いだ有希子さんの気持ちを捉え、そ の愛情を受け取った嘉成さんの心情に思いを めぐらせながら、豊かな家庭生活に必要な諸 要素について、様々な視点から考えている。 【自分ごととして考える】 嘉成さんと有希子さんのつながりを分析的に捉 え、自分と自分の家族との関係に重ね合わせるこ とで、自分が受けた恩や、家庭生活において大切 にすべき心情や態度について考えを深めている。	美術、技術・ 家庭	

令和7年度 特別活動 I 課程 年間指導計画

単位数 ／配当時 数	生徒	担当者	教科書／副教材
35	1年I課程		

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技)多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身につけるようにする。 (思判表力)集団や自己の生活、人間関係の課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができるようにする。 (学・人)自主的・実践的な集団活動を通して身につけたことを生かして、集団や社会における生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、人間としての生き方についての考えを深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	12時間	・入学を喜び、新しい出発を自覚する。 ・1年の目標を考え、意欲的に取り組むことができる。 ・新しい先生、友達と親睦をはかることができる。	(知・技) ・目標を設定することができる。定期テストに向けての計画をすることができる。 (思・判・表) ・生徒会活動での目標を理解し、係活動の意義を理解する。 (主・学) ・春の遠足での係活動に自主的に参加できる。	・学級開き ・新入生歓迎会 ・個人目標 ・学級目標	・1年間の学級目標を同級生とともに考え、設定する。 ・中学生生活の1年間の活動を確認し、個人目標を設定する。
		・火災時に指示に従い安全に避難することができる。 ・生徒総会に参加することができる。 ・1年間の生徒会活動の内容を知る。	(知・技)避難訓練時の注意点を確認し、出火場所や避難場所の確認をし、教師とともに安全に避難することができる。 (思・判・表)生徒総会に参加し、役員としての役割を認識し、発表をすることができる。 (主・学)割り当てられた役割を自主的に果たすことができる。	・火災避難訓練 ・生徒総会に向けて ・生徒総会	・火災避難についての基本を学ぶ。 ・生徒総会に向けて、各自に割り当てられた役割を練習する。 ・生徒会活動の係分担や内容を知る。
		・校外での体験活動や交流に参加することができる。 ・普段使用している教室を掃除し清潔にする。 ・1学期を反省し、夏休みの過ごし方について考える機会とする。	(知・技) ・交流学习の計画を立てることができる。 (思・判・表) ・相手に伝えたいことを表現する方法を考えることができる。 (主・学) ・目標の達成度を確認し、達成感を感じたり、反省をすることができる。	・交流/共同学習 ・学校内の清掃 ・1学期の反省	・近隣校の交流や共同学習を通して同年代の生徒でふれ合う。 ・清掃分担区域を中心に校内の清掃に取り組む。 ・1学期を振り返り、目標の達成度を確認する。
2学期	14時間	・夏休みを振り返り、2学期の目標を確認する。 ・運動会に向けて意欲的に参加する。 ・他学級の仲間と合同レクを楽しむ。	(知・技) ・1学期や夏休みを振り返り目標を立てる。 (思・判・表) ・運動会の目的を知り、活動に自主的に参加する。 (主・学) ・自主的に活動できることは何か、常に考えながら行動できる。	・2学期の抱負 ・運動会に向けて ・合同レク	・夏休みの思い出を発表し、2学期の目標を立てる。 ・運動会の目的、役割を把握し、意欲的に取り組む。 ・協力して合同レクの計画を立て、実施する。
		・校外学習に向けて、協働的に取り組む。 ・防災についての理解を深め、避難訓練に参加することができる。 ・健康について考え、講話を聞く。	(知・技) ・施設見学場所でのマナーやルールなどを身につける。 (思・判・表) ・地震・津波、火災等それぞれの災害時の避難の違いや注意などに気づくことができる。 (主・学) ・目標の達成度を確認し、反省することができる。	・校外学習 ・保健講話 ・総合防災避難訓練 ・学校内の清掃 ・2学期の反省	・校外学習に必要な学習や準備を把握し、協力して活動に取り組む。 ・講話を聞き、健康管理について考え、感染防止の意識を高める。 ・清掃分担区域を中心に校内の清掃に取り組む。 ・2学期を振り返り、目標の達成度を確認する。
3学期	9時間	・新年の抱負を考える。 ・生徒会について活動内容や大切さについて知る。 ・1年間の生徒会行事を振り返る。	(知・技) ・今学期の振り返りをしながら3学期の目標を立てる。 ・生徒会についてその活動や意義を理解し、役員としての活動を意識して行動できる。 (主・学) ・生徒会役員の決定に対して、自己ができる係活動や役割を担うために協力することができる。	・新年の抱負 ・生徒会長選挙 ・生徒会長認定式	・新年の抱負を話し合い、3学期の過ごし方について考える。 ・生徒会行事や、役員の役割、選挙の大切さを学ぶ。 ・生徒会行事の反省、感想を発表する。

期		・お世話になった先輩や先生方に感謝の気持ちを込めてメッセージを書き、レクを楽しむ。 ・卒業式に向けて練習をする。 ・儀式的意義について理解する。	(知・技) ・練習に参加し、流れを知ることができる。 (思・判・表) ・卒業式に参加する意義を理解し、各自の役割を果たすことができる。 (主・学) ・卒業式に参加し、自分の将来に希望をもつことができる。	・1年間を振り返る会 ・卒業式リハーサル ・卒業式/修了式	・中学部みんなで、レクを楽しみ、感謝や思い出のメッセージを発表する。 ・リハーサルで実際の流れを把握する。 ・儀式的意義を理解し、参加時の心構えについて考える。
留意点 引継ぎ等					

配当時数		生徒について	担当者
35		1年Ⅰ課程	
年間目標		(知及技)探求の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身につけ、課題に関わる概念を形成し、探求の意義や価値を理解するようにする。 (思判表力) 実社会や実生活と自己との関わりから知を見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。 (学・人) 探求的・主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。	
学期	時数	学習内容	学習目標及び評価の観点
1	13	オリエンテーション 進路学習①（希望進路調査）	・自分の進路について考えることができる。(思)
		進路学習②（キャリアパスポート）	・希望する進路を実現するための方法を考えることができる。(主)
		校内就業体験学習に向けて	・実施要項を確認し、校内就業体験の意義や取り組みについて理解できる(知)
		校内就業体験学習	・校内就業体験を通して、正しい職業観、勤労観を身につける。(知)
		平和学習	・平和講話等を通して、平和について考えることができる。(思)
		学習環境を整えよう（清掃活動）	・1学期お世話になった教室を整え、清掃を行う。(主)
2	14	学習環境を整えよう	・2学期を迎えて学習環境を整える。ロッカーや本棚の整理整頓について考える。(主)
		運動会に向けて	・運動会での自分の役割確認や目標設定を行う。(主)
		校外学習に向けて	・実施計画を確認し、校外学習の行程等を確認する。(知)
		進路学習（進路講話）	・講話を通して、自己の進路実現に向けて考えることができる。(思)
		交流学习1（南風原中学校）	・他の中学校との交流を通して、お互いを理解する機会とする。(思)
		ウォークラリーに向けて	・ねらいを理解し、目的達成のため、調べ学習を行う。(思)
		交流学习2（居住地交流）	・他の中学校との交流を通して、お互いを理解する機会とする。(思)
		2学期の行事のまとめ(キャリアパスポート)	・行事における自分の役割達成を振り返る。(主)
		学習環境を整えよう（清掃活動）	・2学期お世話になった教室を整え、清掃を行う。(主)
3	8	学習環境を整えよう（清掃活動）	・3学期に向けて、学習環境を整える。(主)
		進路学習（次年度に向けて）	・次年度に向けての心構えと、これからの学習について考える。時間を有効に使えたか確認する。(思)
		進路学習（他校の同級生との交流を通して）	・1年間の学習を振り返り、中学生としての自覚と役割を考える機会とする。(思)
		1年間の反省とまとめ	・今年度努力したことを確認し、次年度の目標を考える。(主)

令和7年度 国語2年 I 課程A・B 年間指導計画

配当字数		生徒について	担当者
140		2年	
年間目標		(知及技) 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。 (思判表力) 論理的に考える力や共感したり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。 (学・人) 言葉が持つ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。	
学期	時数	題材名	
一学期	50	見えないだけ	
		1 広がる学びへ	アイスプラネット
		魅力的な提案をしよう	
		枕草子	
		文法1 自立語	
		2 多様な視点から	クマゼミの増加の原因を探る
		情報整理のレッスン 試行の視覚化	
		情報を整理して伝えよう	
		熟語の構成	
		3 言葉と向き合う	短歌に親しむ
		言葉1 類義語・対義語・多義語	
		いつも本はそばに 読書を楽しむ /季節のしおり 夏	
二学期	58	4 人間のきずな	ヒューマノイド
		字のない葉書	
		聞き上手になろう/質問で思いや考えを引き出す	
		言葉2・漢字2 敬語 同じ訓、音をもつ漢字	
		5 論理を捉えて	モアイは語るー地球の未来
		適切な根拠を選んで書こう	
		聴きひたる 大阿蘇 /季節のしおり 秋	
		6 いにしへの心を訪ねる	音読を楽しむ 平家物語
		扇の的ー「平家物語」から	
		仁和寺にある法師ー「徒然草」から	
		漢詩の風景	
		7 価値を語る	君は「最後の晚餐」をしっているか
		立場を尊重して話し合おう/季節のしおり 冬	
		いつも本はそばに 「自分らしさ」を認め合う社会へ/本の世界を広げよう	

三 学 期	3 2	8表現を見つめる	走れメロス
			付属語、話し言葉と書き言葉
			送り仮名
			国語の学びを振り返ろう
			鍵

単位数 ／配当時 数		生徒		担当者	
105		2年Ⅰ課程			
年間目標		(知及技) 我が国の歴史と文化を理解するとともに、諸史料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身につける。 (思判表力) 社会的事象の意味や意義を多面的に考察し、思考したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 (学・人) よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養う。			
学期	時数	単元名	学習内容	単元の評価規準	
1 学期	39	【歴史的分野】 第3章 中世の日本と世界	1 節 武家政治の始まり 2 節 ユーラシアの動きと武家政治と変化 3 節 結びつく民衆と下剋上の社会	(知・技) 武家政治の成立、発展、仕組みをとらえるとともに、琉球を含む東アジアとの関わりを諸資料より調べまとめ、理解している。 (思・判・表) 武士の政治への進出と展開や、東アジアにおける交流などに着目して、武家政治の特徴について多面的に考察し、表現している。 (主・学) 武士が台頭して鎌倉幕府が成立し、その支配が全国に広まるとともに、武士や民衆の活力を背景に生まれた社会や文化について、そこで見られる課題を主体的に捉えようとしている。	
		第4章 近世の日本と世界	1 節 結びつく世界との出会い 2 節 天下統一への歩み 3 節 幕藩体制の確立と鎖国	(知・技) ヨーロッパ人来航の背景とその影響などを基に、江戸幕府の成立や幕藩体制の確立を諸資料から歴史に関する様々な情報について調べまとめ、理解している。 (思・判・表) 交易の広がりとその影響などに着目して、世界の交易の空間的な広がりが生み出され、それを背景として日本とヨーロッパ諸国の接触がおこったことや、日本の政治や文化に与えた影響などについて多面的に考察し、表現している。 (主・学) 世界の動きと関連付けながら、中世から近世への過渡期にある日本について、そこで見られる課題を主体的に捉えようとしている。	
		第5章 日本の近代化と国際社会	1 節 近代世界の確立とアジア 2 節 開国と幕府政治の終わり 3 節 明治維新と立憲国家への歩み	(知・技) 16～17世紀の西欧の絶対王政、市民革命や産業革命と資本主義の成立などの背景とその影響などを基に、諸資料から調べまとめ、理解している。 (思・判・表) 開国が政治や人びとの生活に与えた影響について多面的に考察し、表現している。 (主・学) 欧米諸国のアジア進出が江戸幕府の成立と滅亡、さらに明治政府の成立をもたらしたことについて、主体的に追求しようとしている。	
2 学期	45	第6章 二度の世界大戦と日本	1 節 第一次世界大戦と民族独立の動き 2 節 大正デモクラシー 3 節 恐慌から戦争へ 4 節 第二次世界大戦と日本の敗戦	(知・技) 第一次世界大戦をもたらした植民地政策、勢力圏をめぐる列強諸国の対立や民族問題を背景として起こったことを理解している。 (思・判・表) 世界の動きと我が国との関連などに着目して、第一次世界大戦による世界と我が国の社会の変化や影響について多面的に考察し、表現している。 (主・学) 第一次世界大戦の背景とその影響、民族運動の高まりと国際協調の動きについて、そこでみられる課題を主体的に追求しようとしている。	
		【地理的分野】 第3編 日本のさまざまな地域	第1章 地域調査の方法 第2章 日本の特色と地域区分	(知・技) 観察や野外調査、文献調査を行う際の視点や方法、地理的なまとめ方の基礎を理解している。 (思・判・表) 地域調査において、対象となる場所の特徴などに着目して、適切な主題や調査、まとめとなるように、調査の手法やその結果を多面的・多角的に考察し、表現しようとしている。 (主・学) 地域調査の手法について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追求しようとしている。	
3 学期	21	第3章 日本の諸地域	第3章 日本の諸地域 1 九州地方 2 中国・四国地方 3 近畿地方 4 中部地方 5 関東地方	(知・技) いくつかに区分した日本のそれぞれの地域について、その地域的特色や地域の課題を理解している。 (思・判・表) 日本の諸地域において、それぞれの考察の仕方で扱う中核となる事象の成立条件を、地域の広がりや地域内の結びつき、人びとの対応などに着目して、その課題を多面的に考察し、表現しようとしている。 (主・学) 日本の諸地域について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追求しようとしている。	

期		第4章 地域のあり方	6 東北地方 7 北海道地方 8 地域の課題を調べる	(知・技) いくつかに分けた日本のそれぞれの地域について、その地域的特色や地域の課題を理解している。 (思・判・表) 日本の諸地域において、それぞれの考察の仕方で扱う中核となる事象の成立条件を、地域の広がりや地域内の結びつき、人びとの対応などに着目して、その課題を多面的に考察し、表現しようとしている。 (主・学) 日本の諸地域について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追求しようとしている。
---	--	------------	----------------------------------	---

令和7年度 数学科 I 課程 A・B 年間指導計画

配当時数		生徒について	担当者		
105		2年Ⅰ課程A・B			
年間目標		(知識及び技能) 数量や図形などの基本的な概念の定着を図り、実生活で活用できる力を身につける。 (思考力、判断力、表現力等) 具体的な事象を調べたり、観察、操作などの体験的な活動を通して、論理的に考察し表現する力を養う。 (学びに向かう力・人間性等) 問題解決に必要な事柄を収集し、考えたり判断したりしようとする態度や習慣を身につける。			
学期	単元・題材の目標		単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期 30時間	(知及技) 単項式や多項式などの意味や、数量の関係を文字を用いた式で一般的に説明することの必要性和意味を理解し、知識を身に付けている。		(知・技) 単項式と多項式の乗法及び単項式でわる除法の計算ができる。	1章 式の計算 ①文字式のしくみ	文字式について、単項式・多項式および式の次数の意味を理解することができる。
	(思判表力) 文字を用いた式についての基礎的・基本的な知識及び技能を活用しながら、事象を数学的な推論の方法を用いて論理的に考察し表現したり、その過程を振り返って考えを深めたりするなど、数学的な見方や考え方を身に付けている。		(思・判・表) 単項式と多項式の乗法及び単項式でわる除法の計算の方法を、数の計算や既習の文字式の計算と関連付けて考えることができる。	②式の利用	数量や数量の関係を文字式を用いて表すことができる。
	(学・人) 様々な事象を文字を用いた式で捉えたり、それらの性質や関係を見いだしたりするなど、数学的に考え表現することに関心を持ち、意欲的に数学を問題の解決に活用して考えたり判断したりしようとしている。		(主学) 単項式と多項式の乗法及び単項式でわる除法に関心を持ち、それらの計算をしようとしている。		
	(知及技) 連立2元1次方程式の必要性和意味及びその解の意味などを理解し、知識を身に付けている。		(知・技) 連立方程式の解を求めることができる。	2章 連立方程式 ①連立方程	2元1次方程式とその解の意味を

	(思判表力)連立2元1次方程式を解いたり、数量の関係を連立2元1次方程式で表したりするなど、技能を身に付けている。 (学・人)様々な事象を連立2元1次方程式で捉えたり、それらの性質や関係を見いだしたりするなど、数学的に考え表現することに関心をもち、意欲的に数学を問題の解決に活用して考えたり判断したりしようとしている。	(思・判・表)変数について求めるなど、解を求める方法を考えることができる。 (主学)2つの変数に関心をもち、その必要性と意味、方程式を使った表し方などを考えようとしている。	式とその解 ②連立方程式の利用	理解することができる。 連立方程式を利用して問題を解く手順を理解することができる。
2学期 45時間	(知及技)事象の中には1次関数として捉えられるものがあることや、1次関数の表、式、グラフの関連などを理解し、知識を身に付けている。 (思判表力)1次関数についての基礎的・基本的な知識及び技能を活用しながら、事象を数学的な推論の方法を用いて論理的に考察し表現したり、その過程を振り返って考えを深めたりするなど、数学的な見方や考え方を身に付けている。 (学・人)様々な事象を1次関数として捉えたり、表、式、グラフなどで表したりするなど、数学的に考え表現することに関心をもち、意欲的に数学を問題の解決に活用して考えたり判断したりしようとしている。	(知・技)関数 $y=ax+b$ の関係を式で表すことができる。 (思・判・表)具体的な事象の中にある2つの数量の関係を、変化や対応の様子に着目して調べ、関数 $y=ax+b$ として捉えられる2つの数量を見いだすことができる。 (主学)関数 $y=ax+b$ に関心をもち、具体的な事象の中から関数 $y=ax+b$ として捉えられる2つの数量を見いだしたり、その関係を式で表したりしようとしている。	3章 1次関数 ①1次関数 ②方程式と1次関数 ③1次関数の利用	具体的な事象の考察をとおして1次関数の意味を理解することができる。 2元1次方程式と1次関数の関係を予想することができる。

	(知及技) 平行線の性質、三角形の角についての性質、三角形の合同条件、図形の証明の必要性と意味及びその方法などを理解し、知識を身に付けている。 (思判表力) 平行線の性質、三角形の角についての基礎的・基本的な知識及び技能を活用しながら、事象を数学的な推論の方法を用いて論理的に考察し表現したり、その過程を振り返って考えを深めたりするなど、数学的な見方や考え方を身に付けている。 (学・人) 様々な事象を平行線の性質、三角形の角についての性質、三角形の合同条件などで捉えたり、平面図形の基本的な性質や関係を見いだしたりするなど、数学的に考え表現することに関心を持ち、意欲的に数学を問題の解決に活用して考えたり判断したりしようとしている。 (知及技) 二等辺三角形の性質、平行四辺形の性質や平行四辺形になるための条件、直角三角形の合同条件、四角形の包摂関係などを理解し、知識を身に付けている。	(知・技) 平行線と交わる直線、合同な2つの図形の辺や角の関係を記号を用いて表したり、その意味を読み取ったりすることができる。 (思・判・表) 平行線と交わる直線との関係や合同な図形の性質を見いだすことができる。 (主学) 平行線の特徴や合同な図形の性質に関心を持ち、それらについて調べたり、それらを用いて考えたりしようとしている。 (知・技) 二等辺三角形や直角三角形、四角形では平行四辺形の種類など、特別な四角形に対する性質などを理解し、その意味を読み取ったりすることができる。	4 章 図形の性質の調べ方 ①平行線と多角形 ②図形の合同 5 章 三角形・四角形 ①三角形 ②四角形	平行線と同位角、錯角の関係を理解することができる。 合同な図形の性質を理解することができる。 定義の必要性和意味を理解することができる。 平行線の性質や三角形の合同条件を用いて平行四辺形の性質を説明することができる。
--	--	---	---	--

	(思判表力) 平行線の性質、三角形の合同条件、三角形や四角形の性質などについての基礎的・基本的な知識及び技能を活用しながら、事象を数学的な推論の方法を用いて論理的に考察し表現したり、その過程を振り返って考えを深めたりするなど、数学的な見方や考え方を身に付けている。 (学・人) 様々な事象を、平行線の性質、三角形の合同条件、三角形や四角形の性質などで捉えたり、平面図形の基本的な性質や関係を見いだしたりするなど、数学的に考え表現することに関心を持ち、意欲的に数学の問題に活用して考えたり判断したりしようとしている。	(思・判・表) 三角形と四角形の関係や等積変形の特徴等、三角形や四角形の性質を見いだすことができる。 (主学) 三角形や四角形に関心を持ち、それらの関係や性質を見いだしたり、その証明にどのような図形の性質が用いられているのかを考えたりしようとしている。	③平行線と面積	四角形に対角線をひき、面積が等しい三角形を見つけることができる。
3 学 期 30 時 間	(知及技) 確率の必要性和意味を理解し、知識を身に付けている。 (思判表力) 確率などについての基礎的・基本的な知識及び技能を活用しながら、事象を数学的な推論の方法を用いて論理的に考察し表現したり、その過程を振り返って考えを深めたりするなど、数学的な見方や考え方を身に付けている。 (学・人) 不確定な事象について、その起こる程度を調べ、確率を用いて不確定な事象を捉え説明したりするなど、数学的に考え表現することに関心を持ち、意欲的に数学の問題の解決に活用して考え判断したりしようとしている。	(知・技) 確率を求めるために、数え上げたり、計算で総数を求め、確率を求めることができる。 (思・判・表) 具体的な事象を基にして確率の必要性和意味について考え、説明することができる。 (主学) 確率に関心を持ち、その必要性和意味を考えようとしている。	6 章 確率 ①確率	不確定な事象についての多数回の実験結果を基にして、確率の意味を理解することができる。

令和7年度 理科I課程A/B 年間指導計画

配当字数		生徒について	担当者
140		2年	
年間目標		(知及技) 自然の事物現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 (思判表力) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 (学・人) 自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	
学期	時数	題材名	
1学期	50	単元1 化学変化と原子・分子	
		物質の成り立ち	
		物質どうしの化学変化	
		酸素がかかわる化学変化	
		化学変化と物質の質量	
		単元2 生物のからだのつくりとはたらき	
2学期	58	生物と細胞	
		植物のからだのつくりとはたらき	
		動物のからだのつくりとはたらき	
		刺激と反応	
		単元3 天気とその変化	
3学期	32	気象の観測	
		雲のできかたと前線	
		大気の動きと日本の天気	
		単元4 電気の世界	
		静電気と電流	
		電流の性質	
		電流と磁界	

令和7年度 英語 I 課程 A・I 課程 B 年間指導計画

配当時数		生徒について	担当者
122.5		2年	
年間目標	(知及技) 初歩的な英語を用いて、「聞くこと、話すこと（やり取り・発表）、読むこと、書くこと」ができるようにする。 (思判表力) 生徒の能力を考慮した学習内容・進度を設定し、個に応じた指導を行う。 (学・人) 外国語の文化の理解を深め、生徒が主体的に英語でコミュニケーションを図る態度を養う。		
学期	時数	題材名	
1 学期	39	Review Lesson Ms. King's Trip with Her Friend	
		Lesson 1 Assistance Dogs	
		Activities Plus 1	
		Tips for Speaking ①	
		Tips for Reading ①	
		Lesson 2 Energy Sources for Our Future	
		Tips for Listening ①	
		Lesson 3 Design Makes Change	
		Activities Plus 2	
		Tips for Writing ①	
		Project 1 Ideas for Change	
		Useful Expressions ①	
		Reading 1 Six Amazing Things about Penguins	
2 学期	52	Lesson 4 Workplace Experience	
		Tips for Speaking ②	
		Lesson 5 How to Celebrate Halloween	
		Activities Plus 3	
		Tips for Reading ②	
		Tips for Speaking ③	
		Lesson 6 Castles and Canyons	
		対で覚えたい形容詞 Tips for Writing ②	

令和7年度 英語 I 課程 A・I 課程 B 年間指導計画

		Tips for Speaking ④
		Lesson 7 The Gift of Giving
		Activities Plus 4
		Tips for Listening ②
		Project 2 My Dream Travel
		Reading 2 The Gift of Tezuka Osamu
		Useful Expressions ②
3 学期	31.5	Lesson 8 Rakugo in English
		Tips for Reading ③
		Lesson 9 Gestures and Sign Language
		Activities Plus 5
		Tips for Writing ③
		Project 3 Let's Introduce Japanese Culture
		Reading 3 How William Hoy Changed Baseball
		Further Reading Somebody Loves You, Mr. Hatch

令和7年度 音楽Ⅰ課程 A、B 年間指導計画

配当字数		生徒について	担当者
3 5		2 年	
年間目標		(知及技) 曲想と音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付けるようにする。 (思判表力) 音楽表現を創意工夫することや、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。 (学・人) 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。	
学期	時数	題材名	
1 学期	1 4	オリエンテーション (1)	
		歌唱：・作者の思いを歌声にのせて合唱しよう【生命が羽ばたくとき】(2) ・曲の特徴を生かして歌おう【You Can Fly !】(2)	
		器楽：・サミングや息のコントロールを身に付けて表現を工夫しよう (3) ▶リコーダー【「サムのひとりごと」「誰も知らない私の悩み」】	
		創作：・旋律に合うリズムパターンをつくろう【リズムパターンをつくろう】(2)	
		鑑賞：・曲の形式を捉え、パイプオルガンによる表現を鑑賞しよう 【小フーガ ト短調】(2) ・曲の構成を聴き取り、オーケストラによる表現を鑑賞しよう 【交響曲第 5 番 ハ短調】(2)	
2 学期	1 3	歌唱：・曲の形式を生かして歌おう【浜辺の歌、早春賦、花の街】(6) ・パートの役割を生かして合わせて歌おう【翼をください】(2)	
		器楽：・箏の基本的な奏法を身に付けて表現を工夫しよう▶箏【荒城の月】(2) ・ミュージックコンサートに向けて練習しよう【生徒選曲】(6)	
		創作：・五つの音とリズムを組み合わせて旋律をつくろう (2) 【平調子の特徴を生かして音楽をつくろう】	
		鑑賞：・曲の特徴と構成のおもしろさを味わいながら鑑賞しよう (3) 【ボレロ、組曲「惑星」から「火星」] ・雅楽の多様な表現を鑑賞しよう【雅楽「越天楽」】(2)	
3 学期	8	歌唱：・曲想を味わいながら合わせて歌おう 【「そよぐ風の中で」「この星のどこかで」「卒業式にむけて」】(4)	
		鑑賞：・能の多様な表現を鑑賞しよう【能「敦盛」キリから】(2) ・郷土のさまざまな芸能を味わいながら鑑賞しよう 【「郷土の音楽や芸能」】	
		器楽：・サミングや息のコントロールを身に付けて表現を工夫しよう (3) ▶リコーダー【「レヴェル・プレイン」「カノン 2 優しき流れ」】	

令和7年度 I 課程A・B 年間指導計画

教科名		学年・課程	年間総時数	担当者
美術		2年I課程	35時間	
年間目標		(知及技) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、表現方法を 創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。 (思判表力) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方 や感じ方を深めたりすることができるようにする。 (学・人) 美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊か にし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。		
学期	月	時数	単元名	
一学期 ⑪	4	1	オリエンテーション 美術とは何だったかの確認	
	5	6	紙を折る、切る、つなぐ	
	6	4	紙の立体造形	
二学期 ⑮	9	2	様々な感触（土の変化）	
	10	2	土を作る	
	11	5	土器作り（成型）	
	12	6	土器作り（焼成、釉薬）	
三学期 ⑨	1	3	紙を染める	
	2	6	卒業式壁画	
	3			

令和7年度 保健体育年間指導計画（体育分野）

中学部2年I課程AB 作成者：

総授業時数70時間

年間目標		・運動の実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わい、運動を豊かに実践することができるようにため、体力の必要性を理解すると共に、基本的な技能を身につけるようにする。（知識・技能） ・運動についての自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断したりするとともに、自己の考えたことを他者に伝える力を養う。（思考・判断・表現力等） ・公正に取り組む、互いに協力する、自己の役割を果たす、互いの違いを認めようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全に留意し、自己の最善を尽くす態度を養う。（学びに向かう力、人間性等）				
月	単元名 及び 学習内容	時 数	指導目標	評価の観点		
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
通 年	体づくり運動 ・ラジオ体操、ストレッチ体操等 ・体ほぐしの運動 ・体の動きを高める運動 ・クロックポジション ・ボディイメージ	6	・ねらいに応じた運動を組み合わせ体ほぐしに取り組む。（知・技） ・仲間と積極的に関わり、互いの意見を尊重しながら合理的な運動の実践ができる。（思・判・表） ・課題解決に向けて、仲間と協力できる。（学・人）	・体づくり運動の意義と行い方、体の動きを高める方法などについて理解している。	・自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	・体づくり運動の学習に積極的に取り組もうとしている。 ・仲間の補助をしたり助言したりして、仲間の学習を援助しようとしている。
4 5	陸上① ・短距離走 ・長距離走 ・ボール投げ	8	・ストライドやピッチ、腕ふりを意識して活動できる。（知・技） ・自己の記録や課題を意識し、練習方法を工夫することができる。（思・判・表） ・自己の体力を知り、意欲的に練習に取り組むことができる。（学・人） ・違いを認め、仲間と協力し、課題解決に取り組むことができる。（学・人）	・陸上競技の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などについて理解している。 ・長距離走では、ペースを守って走ることができる。	・動きなどの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。	・陸上競技に積極的に取り組むとともに、勝敗などを認め、ルールやマナーを守ろうとしている。分担した役割を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとしている。健康・安全に気を配っている。

5	水泳	1	・水の特性を理解する。 (知・技)	・水泳の特性や成 り立ち、技術の名 称や行い方、その 運動に関連して高 まる体力などにつ いて理解してい る。	・提供された練 習方法から、自 己の課題に応じ て、泳法の習得 に適した練習方 法を選んでい る。	・水泳の学習に 積極的に取り組 もうとしてい る。
6	・バタ足	4	・4泳法の名称と技術を 知る。(知・技)	・蹴り終わりで長 く伸びるキックを することができ る。	・仲間と協力す る場面で、分担 した役割に応じ た活動の仕方を 見付けている。	・用具等の準備 や後片付けなど の分担した役割 を果たそうとし ている。
7	・ドル平		・息継ぎの技術を身に つける。(知・技)	・肩より前で、両 手で逆ハート型を 描くように水をか くことができる。		・一人一人の違 いに応じた課題 や挑戦を認めよ うとしている。
	・クロール		・自己の課題に応じた、 練習方法を選択して、意 欲的に練習する。(思・ 判・表)(学・人)	・プルのかき終わ りに合わせて顔を 水面上に出して息 を吸うことができ る。		・水の安全に関 する事故防止の 心得を遵守する など、健康・安 全に留意してい る。
	・平泳ぎ		・健康、安全に気をつ け、水泳の心得を守る。 (学・人)			
9	ダンス	1	・ダンスの特性や表現の 仕方を学び、体を動かす ことができる。(知・技)	ダンスの特性や由 来、表現の仕方、 その運動に関連し て高まる体力など について理解して いる。	表現などの自己 の課題を発見 し、合理的な解 決に向けて運動 の取り組み方を 工夫するととも に、自己や仲間 の考えたことを 他者に伝えてい る。	ダンスに積極的 に取り組むとと もに、仲間の学 習を援助しよう とすること、交 流などの話合い に参加しようと することをして いる。
1	・エイサー	1	・クロックポジションを 意識して自己の体を操作 する。(知・技)	表したいイメージ を捉え、動きに変 化を付けて即興的 に表現したり、変 化のあるひとま まりの表現にし たりして踊ること ができる。		一人一人の違い に応じた表現や 役割を認めよう とすることをし たり、健康・安 全に気を配った りしている。
1	陸上②	9	・自己の歩、走の動きのく せを知る。(知・技)	・音源を聞いて まっすぐ走るこ とができいて る。	・選択した運動 に必要な準備運 動や自己が取り 組む補助運動を 選んでいる。	・勝敗などを冷 静に受け止め、 ルールやマナー を大切にしよう としている。
1	・直線走		・体重移動や踏切の技術 を身につける。(知・技)	・ロープの張り を感じ、全力で走 る。		
1	・円周走		・健康やけが防止のため の、準備運動や補助運動 について、考え、主体的			
2	・走り幅跳び					

			に活動する。(思・判・表) ・勝敗を受け止め、ルールやマナーを守る。(学・人)	ることができている。 ・スピードに乗った助走から力強く踏み切って跳ぶことができている。	・健康や安全を確保するために、体調や環境に応じた適切な練習方法等について振り返っている。	・仲間と互いに合意した役割について自己の責任を果たそうとしている。 ・健康・安全を確保している。
1 2 3	球技 ・フロアバレーボール ・STT ・キックベースボール	1 5	・役割に応じたボールの操作や連携した動きができる。(知・技) ・チームや自己の課題を発見し、仲間と工夫して練習に取り組むことができる。(思・判・表) ・フェアプレイを大切に自主的に練習に取り組むことができる。(学・人) ・仲間と課題や練習法について考えることができる。(学・人)	・ボールや用具の操作と定位置に戻るなどの動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができている。 ・連携プレイのための基本的なフォーメーションに応じた位置に動くことができている。	・自己や仲間の技術的な課題やチームの作戦・戦術についての課題や課題解決に有効な練習方法の選択について、自己の考えを伝えている。 ・チームで分担した役割に関する成果や改善すべきポイントについて、自己の活動を振り返っている。	・球技の学習に自主的に取り組もうとしている。 ・互いに練習相手になったり仲間に助言したりして、互いに助け合い教え合おうとしている。 ・健康・安全を確保している。

令和7年度 保健 年間指導計画

配当時数	生徒について	担当者	教科書／副教材
17.5	2年 I 課程AB		学研

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技)個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身につけるようにする。 (思判表力)健康についての自他の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。 (学・人)・生涯を通じて心身の健康の保持増進を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	2	(知及技)病気や健康に関わる要因について理解することができる。運動の効果と、健康づくりのための運動の行い方を理解することができる。 (思判表力)運動と健康について、課題を発見し、その解決に向けて思考し判断しているとともに、それらを表現することができる。 (学・人)運動と健康についての学習に自主的に取り組むことができる。	(知・技)健康は、主体と環境の相互作用の下に成り立っていること、疾病は、主体の要因と環境の要因が関わり合って発生することを理解している。運動には、体の各器官のはたらきを刺激し発達を促す効果や、気分転換かてきること、体力が向上することなどの効果があることを理解している。 (思・判・表)運動と健康について、課題を発見し、その解決に向けて思考し判断しているとともに、それらを表現している。 (主学)運動と健康についての学習に自主的に取り組もうとしている。	健康な生活と病気の予防	・健康の成り立ち ・運動と健康
	2	(知及技)健康のために、食生活で気をつけるべきことを理解することができる。休養と睡眠の適切な取り方を理解することができる。 (思判表力)休養・睡眠と健康について、課題を発見し、その解決に向けて思考し判断しているとともに、それらを表現することができる。 (学・人)休養・睡眠と健康についての学習に自主的に取り組むことができる。	(知・技)毎日の食生活は健康に深く関わっていること、また、毎日適切な時間に食事をする、年齢や運動量によって栄養素のバランスや食事の量に配慮することが必要であることを理解している。休養や睡眠には、心身の疲労を回復し、健康な状態を維持する効果があること、また、健康の保持増進には、適切に休養・睡眠をとる必要があることを理解している。 (思・判・表)休養・睡眠と健康について、課題を発見し、その解決に向けて思考し判断しているとともに、それらを表現している。 (主学)休養・睡眠と健康についての学習に自主的に取り組もうとしている。	健康な生活と病気の予防	・食生活と健康 ・休養、睡眠と健康
1学期	2	(知及技)体の各器官はどのように発達・発達するのか理解することができる。思春期の体の変化や、月経、射精の仕組みを理解することができる。 (思判表力)体の発達・発達と個人差について、課題を発見し、その解決に向けて思考し判断しているとともに、それらを表現することができる。 (学・人)体の発達・発達と個人差についての学習に自主的に取り組むことができる。	(知・技)体の発達・発達には、各器官が急速に発達し、機能が発達する時期があること、体の発達・発達の時期や程度には、個人差があることを理解している。思春期には、下垂体から分泌される性腺刺激ホルモンのはたらきにより生殖器官の発達とともに生殖機能が発達することを理解している。 (思・判・表)体の発達・発達と個人差について、課題を発見し、その解決に向けて思考し判断しているとともに、それらを表現している。 (主学)体の発達・発達と個人差についての学習に自主的に取り組もうとしている。	心身の発達と心の健康	・体の発達、発達 ・呼吸器、循環器の発達 ・生殖機能の成熟
	1	(知及技)身体機能の発達、生殖に関わる機能の成熟、精神機能の発達について理解できる。 (思判表力)心身の機能の発達と心の健康に関わる事象や情報を基に課題を発見できる。 (学・人)心身の機能の発達と心の健康について関心をもち、主体的に学習の進め方を工夫・調整し、自他の健康の保持増進や回復についての学習に粘り強く取り組むことができるようにする。	(知・技)身体には、多くの器官が発育し、それに伴い、さまざまな機能が発達する時期があること、発達・発達の時期やその程度には、個人差があることを、言ったり書いたりしている。 (思・判・表)心身の機能の発達と心の健康に関わる事象や情報などから、原則や概念を基に整理したり、個人生活と関連づけたりして、自他の課題を発見するとともに、習得した知識を活用し、ストレスに対処するための方法などを選択している。 (主学)学習内容に関心をもち、教科書の資料を活用したり、身近な情報などを収集したりして課題について調べるなど、粘り強く学習に取り組もうとしている。	心身の発達と心の健康	・性とう向き合うか ・心の発達
2学期	2	(知及技)自己形成および欲求やストレスへの対処と心の健康について理解し、ストレスへの対処の仕方を身につけることができる。 (思判表力)疾病等のリスクを軽減したり、生活の質を高めたりすることなどに関連づけて解決方法を考え、適切な方法を選択し、それらを他者に伝えたり、表したりすることができる。 (学・人)心身の機能の発達と心の健康について関心をもち、主体的に学習の進め方を工夫・調整し、自他の健康の保持増進や回復についての学習に粘り強く取り組むことができるようにする。	(知・技)知的機能、情意機能、社会性などの精神機能は、生活経験などの影響を受けて発達することを、言ったり書いたりしている。 思春期においては、自己の認識が深まり自己形成がなされること、それは心の健康と関わりが深いことを、言ったり書いたりしている。 (思・判・表)心身の機能の発達と心の健康に関わる事象や情報などから、原則や概念を基に整理したり、個人生活と関連づけたりして、自他の課題を発見するとともに、習得した知識を活用し、ストレスに対処するための方法などを選択している。 (主学)自分の意見を言ったり、他者の意見を取り入れたりして、自己の学習の進め方や活用する資料を変える、調べた内容を確認・修正するなど、学習を調整しながら取り組んでいる。	心身の発達と心の健康	・自己形成 ・欲求不満やストレスへの対処

2 学 期	3	(知及技)生活習慣病を引き起こす要因と予防の仕方について理解することができる。 (思判表力)生活習慣病やがんの予防の観点から、自分の生活を振り返ることができる。 (学人)喫煙や飲酒の害、20歳未満の喫煙・飲酒の害についてまとめたり他者に伝えたりすることができる。	(知・技)生活習慣病とは、不適切な生活習慣がその発症や進行に関係する病気であることを理解している。 (知・技)喫煙・飲酒の急性影響・慢性影響、20歳未満の喫煙・飲酒の害、周りの人への悪影響について理解している。 (思・判・表)早いうちから生活習慣を見直し、生活習慣病の予防や改善に取り組むことが大切であることを理解している。 (主学)生活習慣の改善などの実践への意欲を持っている。	健康な咳活 と病気の予 防	・生活習慣病とその予防 ・がんとその予防 ・喫煙と健康 ・飲酒と健康
2 学 期	2	(知及技)喫煙・飲酒・薬物乱用を始めるきっかけと防止対策について理解することができる。 (知及技)薬物乱用の心身への害と社会への悪影響について理解する。 (思判表力)(学人)喫煙・飲酒・薬物乱用防止についてまとめたり他者に伝えたりすることができる。 (思判表力)(学人)喫煙・飲酒・薬物乱用防止についてまとめたり他者に伝えたりすることができる。	(知・技)喫煙・飲酒・薬物乱用の開始には、個人の要因や社会的環境の要因があることを理解している。 (思・判・表)(主学)喫煙・飲酒・薬物乱用の防止には、対処能力や社会的環境への対策が重要であることを理解している。 (思・判・表)(主学)誘われたときにどうするかなど、喫煙・飲酒・薬物乱用の防止に向けた意識を高めているとともに、断り方を理由を挙げて具体的に考えているとともに、それらを表現している。	健康な生活 と病気の予 防	・薬物乱用と健康 ・喫煙・飲酒・薬物乱用のきっかけ
2 学 期	2	(知及技)傷害は、どんなことが原因で起こり、どうすれば防止できるかについて理解することができる。 (思判表力)(学人)具体的な場面で、どんな危険が潜んでいるか考えることができる。 (知及技)中学生の交通事故の特徴と交通事故の原因について理解することができる。 (思判表力)(学人)交通事故の発生要因を事例を通して考える。	(知・技)傷害は、人的要因、環境要因及びそれらの相互の関わりによって発生することを理解している。 (思・判・表)中学生の傷害の現状を知り、その原因と防止の学習に取り組もうとしている。 (思・判・表)交通事故の原因には人的要因、環境要因、車両要因があることを理解するとともに、事例を基に事故の発生要因について考えたり話し合ったりしている。 (主学)中学生の交通事故の特徴について関心を持っている。	傷害の防止	・傷害の原因と防止 ・交通事故の現状と原因
留意点 引継ぎ等					

令和7年度 技術・家庭（技術分野） I 課程 年間指導計画

配当時数		生徒について	担当者
35		2年	
年間目標	(知及技) 生活や社会で利用されている材料、加工、生物育成、エネルギー変換及び情報の技術について基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身につけ、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解を深める。 (思判表力) 生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、試作等を通して具体化し、実践を評価・改善するなど、課題を解決する力を養う。 (学・人) よりよい社会の実現や持続可能な社会の構築に向けて適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。		
学期	時数	題材名	
2学期	11	生物を育てる技術について知ろう	
		植物を育てる技術について知ろう	
		動物を育てる技術について知ろう	
		水産生物を育てる技術を知ろう	
		生物の育成計画を立てよう	
		植物や環境を観察して育成しよう	
		生物育成に関する技術を未来に生かそう	
3学期	24	エネルギー変換について知ろう	
		電気を作る仕組みを知ろう	
		電気を供給する仕組みを知ろう	
		電気回路について知ろう	
		電気機器を安全に使用しよう	
		機械の運動を伝える仕組みを知ろう	
		回転運動を伝える仕組みを知ろう	
		往復運動の仕組みを調べよう	
		機械の保守点検をしよう	
		エネルギー変換に関する技術を未来に生かそう	

令和7年度 技術・家庭（家庭分野） I 課程 年間指導計画

配当時数		生徒について	担当者
35		2年	
年間目標		（知及技）家族・家庭の機能について理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活の自立に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。 （思判表力）家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなど、これからの生活を展望して課題を解決する力を養う。 （学・人）自分と家族、家庭生活と地域との関わりを考え、家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。	
学期	時数	題材名	
2学期	20	衣服で伝わるメッセージ、自分らしくコーディネート、つなげよう和服の文化	
		つなげよう和服の文化、上手な衣服の選択	
		まかせて衣服の手入れ、布の繊維に応じた手入れ	
		めざそう洗濯名人、補修や収納・保管	
		布による作品で生活の演出、制作の基礎・基本	
		被服実習	
		住まいのはたらき、住まいの空間	
		家庭内事故への備え、災害への備え	
3学期	15	消費生活のしくみ、家庭生活における収入と支出	
		いろいろな購入方法、購入前に知っておくこと	
		いろいろな支払い方法、情報を活用した上手な購入	
		なくならない消費者被害、消費者を支えるもの	
		消費者を支えるもの、消費者の権利と責任	
		消費行動が社会・環境に与える影響	

令和7年度 道徳 I 課程 年間指導計画

単位数1／35

教科書：中学道徳 とびだそう未来へ

配当時数		生徒について			担当者
35		2年 I 課程			
年間目標	・よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己をみつめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。 ・障害による学習上または生活上の困難を認識するとともに、それを改善・克服して、強く生きようとする意欲を高め、明るい生活態度を養い、健全な人生観を培う。				
月	教材名 「主題名」 【内容項目】	配 当 時 数	ねらい	評価のポイント	他教科・特別活動などとの関連
4月 ③	1 ともだち 「命のかけがえのなさ」 【D 生命の尊さ】	1	生命のかけがえのなさについて話し合いを通して考えを深め、全ての生命を祝福し、尊重しようとする態度を育てる。	【生徒の評価】 話し合い活動を通して、生命のかけがえのなさ、尊さについて考えを深めているか。 【授業の評価】 道徳科授業のスタートとして、生徒の自由な話し合い活動を保障する雰囲気をつくり、自他の生命を尊重しようとする態度を育てることができたか。	国語 理科 保健体育
	2 おはよう 「心と形」 【B 礼儀】	1	挨拶の意味を考えることを通して、礼儀の意義を理解し、相手を尊重する気持ちをもって、時と場に応じた適切な言動をとろうとする態度を育てる。	【生徒の評価】 挨拶について自分なりに考え、礼儀の大切さに気づき、これからとるべき態度について、自分自身との関わりの中で考えを深めているか。 【授業の評価】 挨拶の心と形についての話し合い活動を通して、礼儀の意義を理解し、時と場に応じた適切な言動をとろうとする態度を育てることができたか。	保健体育 技術・家庭（家庭分野） 総合的な学習の時間 学校行事 生徒会活動
5月 ③	3 古びた目覚まし時計 「時間の価値」 【A 節度、節制】	1	日常生活における時間の価値や大切さについて考え、望ましい生活習慣を身につけようとする態度を育てる。	【生徒の評価】 時間の大切さについて考えを深め、望ましい生活習慣を身につけようとする意欲を高めているか。 【授業の評価】 「心のベルとは何か」を考える活動を通して、節度、節制は自分のためであることや、これからとるべき態度について考えを深めさせることができたか。	保健体育 技術・家庭（家庭分野）
	4 不自然な独り言 「思いやりの心」 【B 思いやり、感謝】	1	目の不自由な人と出会った筆者の行動を考えることを通して、温かい人間愛の精神を深め、他の人々に対し思いやりの心をもとうとする態度を育てる。	【生徒の評価】 障がいのある人の立場や生活を理解し、思いやりの心をもつことの大切さについて自分なりに考えているか。 【授業の評価】 思いやりの心をもつことについて自分なりに考え、実践しようとする態度を育てることができたか。	国語 美術 福祉体験活動 ボランティア活動
5月 ③	5 自分で決める 「自由と責任」 【A 自主、自律、自由と責任】	1	自分で物事を決める際に大切なことについて、話し合い活動を通して考え、自分の行動に責任をもつための判断力を育てる。	【生徒の評価】 自分で物事を決める際に大切なことについて、自分の考えを広げ、深めているか。 【授業の評価】 話し合い活動を通して、自由に選択することに伴う責任について、多面的・多角的に考えさせることができたか。	保健体育 総合的な学習の時間 情報教育
6月 ④	6 「どうせ無理」をなくしたい 「夢や目標を諦めない」 【A 希望と勇氣、克己と強い意志】	1	より高い目標をもってその実現を目指し、希望と勇氣をもって着実にやり遂げようとする態度を育てる。	【生徒の評価】 目標をもつことの大切さに気づき、何事も諦めずにやり遂げようとする思いを深めているか。 【授業の評価】 目標を実現するために大切なことについて考え、諦めずにやり遂げようとする意欲を高めることができたか。	学校行事 部活動
	7 「いじり」？ 「いじめ」？ 「いじめの芽を摘む」 【B 相互理解、寛容】	1	いじりといじめについて考え、話し合うことを通して、相手の立場に立って考え、理解し、尊重しようとする態度を育てる。	【生徒の評価】 いじりといじめについて考えたり話し合ったりすることを通して、相手の立場を尊重しようとする思いを深めているか。 【授業の評価】 話し合い活動を活発にし、いじりといじめについて多面的・多角的に考えさせることができたか。	国語 学級活動

	8 富士山を守っていくために 「自然を守る」 【D 自然愛護】	1	富士山が世界文化遺産に登録された経緯から、自然と人間との関わりについて考え、自然を守っていくために自分にできる貢献をしていこうとする態度を育てる。	【生徒の評価】 富士山についての話し合い活動を通して、身近な自然に注目し、それを守るために自分にできることを考えているか。 【授業の評価】 富士山が世界文化遺産になった経緯を理解させ、自然を守るために自らも貢献しようとする意欲を高めることができたか。	理科 社会（歴史的分野） 総合的な学習の時間
7月	9 ごめんね、おばあちゃん 「家族の一員として」 【C 家族愛、家庭生活の充実】	1	おばあちゃんに対する「僕」の思いの変化を捉えることから、家族の一員としての自覚をもち、父母、祖父母に対する敬愛の念を深めようとする心情を育てる。	【生徒の評価】 おばあちゃんに対する「僕」の思いの変化を捉え、話し合いを通して、家族の一員としての自覚や考えを深めているか。 【授業の評価】 おばあちゃんに対する「僕」の思いの変化を捉える活動を通して、父母や祖父母に対する敬愛の念を深めさせることができたか。	技術・家庭（家庭分野） 保健体育 社会（公民的分野）
②	10 まだ進化できる～イチロー選手の生き方～ 「個性を伸ばす」 【A 向上心、個性の伸長】	1	イチロー選手が進化し続けられる理由についての議論を通して、個性を伸ばし向上していこうとする態度を育てる。	【生徒の評価】 進化し続けるために大切なことについての話し合いを通して、自分のよさを伸ばすために意識していきたいことについて、考えを多面的・多角的に広げているか。 【授業の評価】 進化し続けるために大切なことについての話し合いを通して、個性を伸ばし向上していくためにどうすべきか、考えを深めさせることができたか。	学級活動 キャリア教育
9月	11 最強の敵最大の友 「高め合う友情」 【B 友情、信頼】	1	高い目標に向かって切磋琢磨し合う二人の心境を役割演技を通して捉え、互いを信頼しながら高め合おうとする心情を育てる。	【生徒の評価】 友達と互いに信頼し合い高め合うために必要なことについて、自分の考えを広げ、深めているか。 【授業の評価】 役割演技を通して、相手を認める中で自らを向上させようとする心情について、多面的・多角的に捉えさせることができたか。	保健体育 学校行事 部活動
③	12 選ぶということ 「社会の一員として」 【C 社会参画、公共の精神】	1	自分たちの代表を選ぶということについての議論を通して、社会参画について考えを深め、学校や社会をよりよくするために主体的に関わっていこうとする態度を育てる。	【生徒の評価】 「選ぶ基準」について自分なりに考え、話し合いを通して社会参画や公共の精神についての考えを多面的・多角的に広げているか。 【授業の評価】 「代表を選ぶ」ことについての話し合い活動を通して、自分と社会との関わりや、これからとるべき態度について考えを深めさせることができたか。	社会（公民的分野） 生徒会活動
9月	13 裏庭でのできごと 「誠実な行動」 【A 自主、自律、自由と責任】	1	誠実に行動することのでられることについて考え、話し合うことを通して、自分の行動に責任をもつための判断力を育てる。	【生徒の評価】 自分の行動に責任をもつために必要なことについて、自分の考えを広げ、深めているか。 【授業の評価】 話し合い活動を通して、誠実に行動し、自らの行為の結果に責任をもつことの価値について、多面的・多角的に考えさせることができたか。	総合的な学習の時間 学級活動
	14 一日前に戻れるとしたら 「安全への配慮」 【A 節度、節制】	1	安全への配慮としてすべきことを、話し合いを通して多面的に捉え、望ましい生活習慣を身につけようとする心情を育てる。	【生徒の評価】 安全に配慮して生活するということについて、自分の考えを広げ、深めているか。 【授業の評価】 話し合い活動を通して、危険を回避するために必要な姿勢や習慣について、多面的・多角的に考えさせることができたか。	理科 保健体育 防災教育
10月	15 ルールとマナー 「ルールやマナーの意義」 【C 遵法精神、公德心】	1	日常で起こりうるやりとりから、SNSにおいても現実社会と同様に法やきまりにより秩序が保たれていることを理解し、自他の権利を大切にしながら、社会の秩序と規律を高めていこうとする態度を育てる。	【生徒の評価】 ルールとマナーの違いを理解し、なぜ、ルールやマナーが必要なのか、多面的・多角的に考えているか。 【授業の評価】 SNSにおいても現実社会と同様に法やきまりにより秩序が保たれていることを理解し、自他の権利を大切に、社会の秩序と規律を高めていこうとする態度を育てることができたか。	技術・家庭（技術分野） 学級活動 情報教育
④	16 けやき中を誇りに 「学校に誇りをもつ」 【C よりよい学校生活、集団生活の充実】	1	伝統の合唱コンクールに臨む姿勢を考えさせることを通して、学級や学校の一員としての自覚をもち、協力し合っよりよい校風をつくるとともに、集団生活の充実に努めようとする心情を育てる。	【生徒の評価】 互いの立場を理解し、前向きに取り組むために必要なことを考えることを通して、協力し合うことの大切さについて考えを深めているか。 【授業の評価】 自分たちの学校に誇りをもつとはどういうことか考えることを通して、学級や学校の一員としての自覚をもち、集団生活の充実に努めようとする心情を育てることができたか。	音楽 学校行事

10月④	17 ショートパ ンツ初体験 in アメリカ 「個性を表現するこ と、受け入れること 」 【B 相互理解, 寛 容】	1	今までの自己を脱却し、強 く生きようとする筆者の姿 を通して、それぞれの個性 や立場を尊重し、いろいろ なものの方や考え方があ ることに気づき、寛容の心 をもって謙虚に他に学ぼう とする心情を育てる。	【生徒の評価】 「個性を表現すること」「個性を受け入れること」の大切さを 理解し、寛容の心を持ち、個性を尊重しようとする意欲を高め ているか。 【授業の評価】 強く生きようとする「私」の姿を通して、いろいろなものの見 方や考え方があることに気づき、それぞれの個性や立場を尊重 することの大切さを考えさせることができたか。	保健体育 総合的な学習の 時間
	18 あなたなら どうしますか 「いじめをなくすた めに」 【C 公正, 公平, 社会正義】	1	いじめをなくすために大切 なことについて深く考え、 正義を重んじ、誰に対して も公平に接しようとする態 度を育てる。	【生徒の評価】 いじめをなくすために、自分なりにできることを考え出し、立 ち向かっていこうとする意欲を高めているか。 【授業の評価】 差別や偏見のないよりよい社会の実現のために大切にすべき心 情や態度について、考えを深めさせることができたか。	国語 美術 学級活動
11月④	19 もったいない 「感謝の心をもつ」 【B 思いやり, 感 謝】	1	「もったいない」ことにつ いて考えることを通して、 身近なものや自分の生活、 周囲に対する感謝の気持ち を育てる。	【生徒の評価】 「もったいない」という言葉に含まれている心を考え、自分自 身の生活や周囲との関係をふり返り、感謝の気持ちを深めてい るか。 【授業の評価】 「もったいない」ことについて考えることを通して、感謝の心 から自分自身の生き方を考えることまで深めさせることができ たか。	社会（公民的 分野） 技術・家庭（家 庭分野） 総合的な学習の 時間 環境教育
	20 いのちを考え る 「命の重さ」 【D 生命の尊さ】	1	他の生命との関係性の側面 から、生命の重さ、大切さ について考え、生きとし生 けるものに対する感謝と尊 敬の心を育てる。	【生徒の評価】 「いのちなしには生きられない」という言葉から、生命の尊さ について自分なりに考えを広げ深めているか。 【授業の評価】 様々な立場から、「いのちなしには生きられない」という言葉 を考え、自他の生命を尊重しようとする態度を育てることがで きたか。	理科 食育
	21 歴史を変えた 決断 「世界の人々のため に」 【C 国際理解, 国 際貢献】	1	国際的視野に立って、世界 の平和と人類の発展に貢献 するという理想を抱き、そ の理想の実現に努めよう とする態度を育てる。	【生徒の評価】 国際的視野に立って、世界の平和を望み、何かできることはな いか、自分なりに考えているか。 【授業の評価】 身近ではない遠い国の人々の困難を、より身近に考えさせるこ とができたか。	社会（歴史的 分野、公民的 分野） 生徒会活動
12月③	22 幸せな仕事っ て 「働くということ」 【C 勤労】	1	職業選択のあり方や働くこ との意義を考えることを通 して、自分の仕事に誠実に 取り組むことのすばらしさ に気づき、自分の将来の勤 労について考えようとする 態度を育てる。	【生徒の評価】 働くことの意義を多面的・多角的に捉え、どのような気持ちで 向き合えば自分も世の中も幸せになるか、自分なりに前向きに 考えているか。 【授業の評価】 働くことの様々な価値に気づかせ、中学1年生としての勤労観 をもたせることができたか。	技術・家庭（家 庭分野） 社会（公民的 分野） 総合的な学習の 時間 キャリア教育
	23 私に宇宙のプ レゼント 「生きることの喜 び」 【D よりよく生き る喜び】	1	病とたたかう筆者の姿につ いて考えることを通して、 弱さを乗り越え、強く生き ようとする気持ちの大切さ を理解し、人間として生き ることに喜びを見いだそう とする心情を育てる。	【生徒の評価】 誰の心の中にも弱さがあるが、それを乗り越えて強く生きよう とする気持ちが大切であることを理解し、強く生きていくため に必要なことについて考えを深めているか。 【授業の評価】 弱い自分の姿しか想像できないときでも、強く生きようとする 気持ちをもって、生きることに喜びを見いだそうとする思いを 深めさせることができたか。	理科 学校行事
1月③	24 伝えたい味 「郷土の伝統や文化 を受け継ぐ」 【C 郷土の伝統と 文化の尊重, 郷土を 愛する態度】	1	郷土のために自分ができる ことは何かを考え、郷土の 発展のために自分が寄与し ようとする態度を育てる。	【生徒の評価】 その土地に昔からある伝統や文化を守ることの意義について、 自分の考えを広げ、深めているか。 【授業の評価】 話し合い活動を通して、作文にこめられた思いや背景にある事 情について想像を膨らませながら、意欲的に考えさせることが できたか。	技術・家庭（家 庭分野） 社会（地理的 分野） 総合的な学習の 時間
1月③	25 二度と通らな い旅人 「人間の強さと気高 さ」 【D よりよく生き る喜び】	1	人間には弱さや醜さがある が、それを克服して気高く 生きることができるとに 気づき、人間として生きる 喜びを感じ、誇りある生き 方を目ざそうとする態度を 育てる。	【生徒の評価】 人間には弱さや醜さがあるが、それを克服しようとする気高さ があることについて、自分との関わりの中で考えているか。 【授業の評価】 父親の気持ちの変化を考えることを通して、人間のもつ気高さ に気づき、自分のこれからの生き方について考えさせることが できたか。	国語

2月 ④	26 全ての人に安心、安全な水を 「新しいものをつくり出す」 【A 真理の探究、創造】	1	真理を探究し続けることの大切さやそれに必要なことについて考え、工夫して新しいものを創造していこうとする態度を育てる。	【生徒の評価】 新しいものを創造する際に必要なことについて、自分なりに考えているか。 【授業の評価】 誰かのために何かをしたいという思いをもって、現状を謙虚に受け止め、工夫して新しいものを創造していこうとする積極的な態度が大切であることを考えさせることができたか。	理科 総合的な学習の時間
	27 チョコの行方 「つき合うとは」 【B 友情、信頼】	1	人とつき合うとはどういうことか考えることを通して、相手に対する理解を深め、信頼し、大切に思い高め合おうとする態度を育てる。	【生徒の評価】 人とつき合うことについて深く考え、つき合うときに大切なことを自分なりに考えているか。 【授業の評価】 人とつき合うときに大切なことを考えさせることから、相手に対する理解を深め、信頼し、大切に思い高め合おうとする態度を育てることができたか。	保健体育
	28 よく生きること、よく死ぬこと 「限りある命を生きる」 【D 生命の尊さ】	1	周囲への感謝をもって生きることの大切さを理解するとともに、生命を授かり、限りある中で生きる意味を見いだしながら、かけがえない生命を大切に生きていこうとする態度を育てる。	【生徒の評価】 生命には限りがあることを念頭に、「生まれてきたこと」「生きること」が自分にとってどのようなものであるか、「よく生きる」ためには何が必要なのか、自分なりに考えているか。 【授業の評価】 自分の思いだけでなく、周囲への感謝をもって生きること、生命を授かり、限りある中で生きる意味を見いだしながら、よく生きようとするものの大切について考えさせることができたか。	理科 人権教育
3月 ②	29 “庶民の笑い”を絶やさない～落語家・桂米朝さんの生涯～ 「日本の伝統と文化の継承」 【C 我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度】	1	上方落語の復活に尽くした桂米朝さんの生き方について考えることを通して、日本の伝統や文化を大切にしようとする心情を育てる。	【生徒の評価】 桂米朝さんの生き方について考えることを通して、日本の伝統や文化を大切にしようとする意欲を高めているか。 【授業の評価】 伝統や文化を継承することの難しさと大切さについて考え、日本の伝統や文化の魅力に気づき大切にしようとする心情を育むことができたか。	国語 社会（歴史的分野） 学校行事
	30 オーロラの向こうに 「人の力の及ばないもの」 【D 感動、畏敬の念】	1	美しさと厳しさをあわせもった自然の前で自らの有限性を痛感する筆者の心境を、話し合い活動を通して多面的に捉え、自然を畏れ、敬おうとする心情を育てる。	【生徒の評価】 自然を畏れ敬うということについて、自分の考えを広げ、深めているか。 【授業の評価】 話し合い活動を通して、人間の有限性と、その自覚の中で得られる感動について、多面的・多角的に考えさせることができたか。	理科 総合的な学習の時間
補充教材	31 夢への挑戦「バラカヌー」 「困難を乗り越え挑戦し続ける」 【A 希望と勇気、克己と強い意志】	1	困難を乗り越えることの大切さについて考え、希望や勇気をもって、自らの掲げた目標に確実に到達しようとする心情を育てる。	【生徒の評価】 困難や失敗を乗り越えることの大切さについて自分なりに考えているか。話し合いを通して、考えを多面的・多角的に広げているか。 【授業の評価】 希望や勇気をもって、自らの掲げた目標に確実に到達しようとする強い意志について考えを深めさせることができたか。	保健体育 学校行事 部活動
	32 マンションの椅子～熊本地震の中で見つけたもの～ 「思いやりの尊さ」 【B 思いやり、感謝】	1	震災後の地域の人々による共助について考えることを通して、他者を思いやる尊さとすばらしさを感じ、人間愛の精神を深めようとする態度を育てる。	【生徒の評価】 思いやりや感謝の心が人と人をつなぎ、大きな力になることについて考えを深めているか。 【授業の評価】 椅子にこめられた思いや椅子の名前について話し合う活動を通して、思いやりや感謝の心について、より多面的・多角的に考えを深めさせることができたか。	社会（公民的分野） 総合的な学習の時間
	33 受け継がれる博愛の精神～ロシア兵墓地の清掃～ 「地域の一員として」 【C 郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度】	1	ロシア兵墓地の清掃活動の意義やそれを続ける中学生の心情を考えることを通して、地域社会の一員としての自覚をもち、望ましい伝統を大切にしようとする心情を育てる。	【生徒の評価】 地域の団結とその気持ちの継承は大きな力をもつことについて、考えを深めているか。 【授業の評価】 長年にわたって行われている身近な行事や活動の中にある人と人とのつながりや、思いを継承することについて、多面的・多角的に考えさせることができたか。	社会（歴史的分野、公民的分野） 総合的な学習の時間 生徒会活動

補 充 教 材	34 子どもも親も 笑顔の町に 「先人への尊敬と感謝」 【C 郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度】	1	郷土の先人が住みよい町づくりにどのように関わったかを知り、先人への尊敬と感謝の念を深め、郷土に対して主体的に関わろうとする心情を育てる。	【生徒の評価】 郷土の発展に尽くした先人の思いとその尊さについて自分なりに考え、話し合いを通して考えを深めているか。 【授業の評価】 先人への尊敬と感謝の念を深め、郷土に対して主体的に関わろうとする心情を育てることができたか。	社会（地理的分野） 総合的な学習の時間
	35 「夢」をつなぐ～名古屋城本丸御殿の復元にかけた思い～ 「郷土に対する誇り」 【C 郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度】	1	郷土の発展に尽くした先人の姿から、郷土に対する認識を深め、誇りや愛着をもって主体的に関わろうとする心情や態度を育てるとともに、先人への尊敬と感謝の念を深める。	【生徒の評価】 本丸御殿が名古屋市民の「心の支え」になったことについて自分なりに考えているか、話し合いを通して、考えを多面的・多角的に広げているか。 【授業の評価】 本丸御殿復元にかけた先人の思いについて考えることを通して、郷土に対する認識を深め、誇りや愛着をもって主体的に関わろうとする心情や態度を育てることができたか。	社会（歴史的分野） 総合的な学習の時間

令和7年度 特別活動 I 課程 年間指導計画

単位数 ／配当時 数	生徒	担当者	教科書／副教材
35	2年 I 課程		

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技)多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身につけるようにする。 (思判表力)集団や自己の生活、人間関係の課題を見いだし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができるようにする。 (学・人)自主的・実践的な集団活動を通して身につけたことを生かして、集団や社会における生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、人間としての生き方についての考えを深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	12時間	・入学を喜び、新しい出発を自覚する。 ・1年の目標を考え、意欲的に取り組むことができる。 ・新しい先生、友達と親睦をはかることができる。	(知・技) ・目標を設定することができる。定期テストに向けての計画をすることができる。 (思・判・表) ・生徒会活動での目標を理解し、係活動の意義を理解する。 (主・学) ・春の遠足での係活動に自主的に参加できる。	・学級開き ・新入生歓迎会 ・個人目標 ・学級目標	・1年間の学級目標を同級生とともに考え、設定する。 ・中学生生活の1年間の活動を確認し、個人目標を設定する。
		・火災時に指示に従い安全に避難することができる。 ・生徒総会に参加することができる。 ・1年間の生徒活動の内容を知る。	(知・技)避難訓練時の注意点を確認し、出火場所や避難場所の確認をし、教師とともに安全に避難することができる。 (思・判・表)生徒総会に参加し、役員としての役割を認識し、発表をすることができる。 (主・学)割り当てられた役割を自主的に果たすことができる。	・火災避難訓練 ・生徒総会に向けて ・生徒総会	・火災避難についての基本を学ぶ。 ・生徒総会に向けて、各自に割り当てられた役割を練習する。 ・生徒会活動の係分担や内容を知る。
		・校外での体験活動や交流に参加することができる。 ・普段使用している教室を掃除し清潔にする。 ・1学期を反省し、夏休みの過ごし方について考える機会とする。	(知・技) ・交流学習の計画を立てることができる。 (思・判・表) ・相手に伝えたいことを表現する方法を考えることができる。 (主・学) ・目標の達成度を確認し、達成感を感じたり、反省をすることができる。	・交流/共同学習 ・学校内の清掃 ・1学期の反省	・近隣校の交流や共同学習を通して同年代の生徒でふれ合う。 ・清掃分担区域を中心に校内の清掃に取り組む。 ・1学期を振り返り、目標の達成度を確認する。
2学期	14時間	・夏休みを振り返り、2学期の目標を確認する。 ・運動会に向けて意欲的に参加する。 ・他学級の仲間と合同レクを楽しむ。	(知・技) ・1学期や夏休みを振り返り目標を立てる。 (思・判・表) ・運動会の目的を知り、活動に自主的に参加する。 (主・学) ・自主的に活動できることは何か、常に考えながら行動できる。	・2学期の抱負 ・運動会に向けて ・合同レク	・夏休みの思い出を発表し、2学期の目標を立てる。 ・運動会の目的、役割を把握し、意欲的に取り組む。 ・協力して合同レクの計画を立て、実施する。
		・校外学習に向けて、協働的に取り組む。 ・防災についての理解を深め、避難訓練に参加することができる。 ・健康について考え、講話を聞く。	(知・技) ・施設見学場所でのマナーやルールなどを身につける。 (思・判・表) ・地震・津波、火災等それぞれの災害時の避難の違いや注意などに気づくことができる。 (主・学) ・目標の達成度を確認し、反省することができる。	・校外学習 ・保健講話 ・総合防災避難訓練 ・学校内の清掃 ・2学期の反省	・校外学習に必要な学習や準備を把握し、協力して活動に取り組む。 ・講話を聞き、健康管理について考え、感染防止の意識を高める。 ・清掃分担区域を中心に校内の清掃に取り組む。 ・2学期を振り返り、目標の達成度を確認する。
3学期	9時間	・新年の抱負を考える。 ・生徒会について活動内容や大切さについて知る。 ・1年間の生徒会行事を振り返る。	(知・技) ・今学期の振り返りをしながら3学期の目標を立てる。 ・生徒会についてその活動や意義を理解し、役員としての活動を意識して行動できる。 (主・学) ・生徒会役員の決定に対して、自己ができる係活動や役割を担うために協力することができる。	・新年の抱負 ・生徒会長選挙 ・生徒会長認定式	・新年の抱負を話し合い、3学期の過ごし方について考える。 ・生徒会行事や、役員の役割、選挙の大切さを学ぶ。 ・生徒会行事の反省、感想を発表する。

期		・お世話になった先輩や先生方に感謝の気持ちを込めてメッセージを書き、レクを楽しむ。 ・卒業式に向けて練習をする。 ・儀式的意義について理解する。	(知・技) ・練習に参加し、流れを知ることができる。 (思・判・表) ・卒業式に参加する意義を理解し、各自の役割を果たすことができる。 (主・学) ・卒業式に参加し、自分の将来に希望をもつことができる。	・1年間を振り返る会 ・卒業式リハーサル ・卒業式/修了式	・中学部みんなで、レクを楽しみ、感謝や思い出のメッセージを発表する。 ・リハーサルで実際の流れを把握する。 ・儀式的意義を理解し、参加時の心構えについて考える。
留意点 引継ぎ等					

令和7年度 総合的な学習の時間 I 課程 年間指導計画

配当時数		生徒について	担当者
35		2年 I 課程	
年間目標		(知及技)探求の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身につけ、課題に関わる概念を形成し、探求の意義や価値を理解するようにする。 (思判表力) 実社会や実生活と自己との関わりから知を見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。 (学・人) 探求的に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。	
学期	時数	学習内容	学習目標及び評価の観点
1	13	オリエンテーション 進路学習①（希望進路調査）	・自分の進路について考えることができる。(思)
		進路学習②（キャリアパスポート）	・希望する進路を実現するための方法を考えることができる。(主)
		校外就業体験学習に向けて	・実施要項を確認し、校内就業体験の意義や取り組みについて理解できる(知)
		校外就業体験学習	・校内就業体験を通して、正しい職業観、勤労観を身につける。(知)
		平和学習	・平和講話等を通して、平和について考えることができる。(思)
		学習環境を整えよう（清掃活動）	・1学期お世話になった教室を整え、清掃を行う。(主)
2	14	学習環境を整えよう	・2学期を迎えて学習環境を整える。ロッカーや本棚の整理整頓について考える。(主)
		運動会に向けて	・運動会での自分の役割確認や目標設定を行う。(主)
		校外学習に向けて	・実施計画を確認し、校外学習の行程等を確認する。(知)
		進路学習（進路講話）	・講話を通して、自己の進路実現に向けて考えることができる。(思)
		交流学习 1（南風原中学校）	・他の中学校との交流を通して、お互いを理解する機会とする。(思)
		ウォークラリーに向けて	・ねらいを理解し、目的達成のため、調べ学習を行う。(思)
		交流学习 2（居住地交流）	・他の中学校との交流を通して、お互いを理解する機会とする。(思)
		2学期の行事のまとめ(キャリアパスポート)	・行事における自分の役割達成を振り返る。(主)
		学習環境を整えよう（清掃活動）	・2学期お世話になった教室を整え、清掃を行う。(主)
3	8	学習環境を整えよう（清掃活動）	・3学期に向けて、学習環境を整える。(主)
		進路学習（次年度に向けて）	・次年度に向けての心構えと、これからの学習について考える。時間を有効に使えたか確認する。(思)
		進路学習（他校の同級生との交流を通して）	・1年間の学習を振り返り、中学生としての自覚と役割を考える機会とする。(思)
		1年間の反省とまとめ	・今年度努力したことを確認し、次年度の目標を考える。(主)

令和 7年度 中学部 2年（Ⅱ課程Aグループ） 国語科 年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
105	1名		国語5年かがやき、はばたき（光村図書）

目標：（知・技）知識及び技能 （思・判・表）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主・学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標	（知・技）日常生活や社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。 （思・判・表）順序立てて考える力や感じたり想像したりする力を養い、日常生活や社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをもつことができるようにする。 （学・人）言葉がもつよさに気付くとともに、図書に親しみ、国語で考えたり伝え合ったりしようとする態度を養う。			
学期	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
年間を通して実施	（学）詩のリズムを楽しむ。	（主）詩の朗読を楽しむ事ができる。	・詩の朗読	・詩を朗読したり、転写（写本）をしたりして、詩のリズムを楽しむ。
	（知）一年の行事を知り、季節感を身につける。	（知）興味をもって季節について学習をすることができる。	・季節を感じる	・季節の様々な節句や行事に関する話を聞いたり、触察したりして季節を感じる。 ・各季節の俳句を作る。
	（知）点字盤を使用して50音を正しく書き読み取る。	（知）指使いやマスあけを正確に理解する。	・点字（読む・書く）	・転写で、書く能力を高める。
	（知）小学3年生までの漢字の読み書きができる。	（知）小学3年生までの漢字を書くことができる。	・漢字（読む・書く）	・ドリル学習で、漢字を覚える。
1学期（3・4）	（知）主述の関係や助詞の使い方を確認する。	（知）文の成分を認識し、正しく使うことができる。	・文の成分を理解する	・クイズやドリル学習で、正しい言葉の使い方慣れる。 ・様子や気持ちを表す言葉がたくさんあることを知り、他の言葉に置き換えたりする。
	（思）5W1Hを使って、短文や作文を書く。	（知）5W1Hを使って、短文や作文を書くことができる。	・作文を書く	・行事の感想や課題に沿った作文や短文を書く。
	（思）平和について考える。	（思）平和について考えることができる。	・平和学習	・学校行事とリンクさせて、平和学習に取り組む。
2学期（4・5）	（知）敬語について学ぶ。	（知）敬語を正しく使うことができる。	・正しい言葉の使い方	・敬語の種類を確認し正しく使う。
	（知）日常生活で体験したことを話す能力を身につける。	（知）（思）体験したことなどをわかりやすく話すことができる。	・会話をしよう（話す）（コミュニケーション）	・学校の行事や家庭で経験したことについて話す。 ・ニュースやラジオなどで知ったことについて発表する。
	（思）体験したことを自分から積極的に話せるようになる。	（思）自分の気持ちを言葉にして表現できる。	・話を聞こう	・絵本の読み聞かせを聞く。
	（学）絵本に親しみ、話の面白さに触れる。	（主）絵本に興味をもつことができる。	・話を発表しよう（話す・聞く）	・話のあらすじや登場人物について話す。 ・話を聞いての感想を発表する。
	（学）校内意見発表会に参加する。	（知）（思）話の内容を簡単に言うことができる。 （主）発表し、話を聞くことができる。	・校内意見発表会	・自分の意見をみんなの前で発表し、仲間の話を聞く。
	（思）体育祭に主体的に取り組む。	（思）体育祭の感想を発表できる。	・体育祭に取り組む	・体育祭の取り組み経過を整理し、感想を話す。
3学期（2・6）	（知）郷土の言葉を知り、興味をもって生活の中で使う。	（知）興味をもって方言の学習をし、積極的に使うことができる。	・方言を使おう（言葉）	・身近な方言の学習、沖縄昔話の読み聞かせで方言を聞き慣れる。
	（知）ことわざや慣用句を学ぶ。	（知）生活の中で使うことができる。	・言葉の学習	・いろいろなことわざや慣用句を覚える。
	（思）一年を振り返り、進級卒業に向けて考える。	（知）一年を振り返り、新年度に向けての作文を書くことができる。	・一年を振り返る	・一年の思いや進級・卒業に向けて思いを綴る。
留意点引継ぎ等	小学校5年生国語の教科書を中心に学習を進めていく。（別紙：小学校5年国語年間指導計画）			

令和7年度 社会科（Ⅱ課程A） 社会科 年間指導計画

単位数 ／配当時 数	生徒	担当者	教科書／副教材
70	2学年		小学社会4年、5年、6年（教育出版） ひらけゆく沖縄県4年 沖縄県小学校社会科研究会 会編

目標：（知及技）知識及び技能 （思判表力）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		（知及技）身近な地域の生活を守るための諸活動や歴史事象について知ることができる。 （思判表力）我が国の主な都道府県や沖縄県の地名や産業などについて諸資料などから調べることができる。また、調べたことを まとめ記録し、発表することができる。 （学・人）学んだことを主体的に日常生活の事柄に関連付けることができる。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	24	（知及技）県内外の歴史を手掛かりに、先人の働きや出来事、文化遺産などを知ることができる。 （思判表力）歴史的背景や現在に至る経緯などに着目し、県内外の文化財や年中行事の様子を捉え、それらの特色を知ることができる。 （学・人）原始時代から貴族、武士政権の時代の様子を知り、調べたい分野をみつけることができる。	（知・技）太宰府天満宮のゆかりの地とその時代を知る。 （思・判・表）那覇大綱引きや地域の伝統行事を調べ、現在の地域生活とどのような関わりがあるか考えようとしている。 （主学）沖縄県を代表する年中行事について興味・関心があるものについて調べ、行事の魅力を感じようとしている。	貴族の生活と太宰府天満宮 武士の時代と江戸幕府	・こども新聞、ipadなどを活用して、関連情報を調べる。
		（知及技）県内の主な歴史を手掛かりに、先人の働きや出来事、文化遺産などを知ることができる。 （思判表力）歴史的背景や現在に至る経緯などに着目し、県内の文化財や年中行事の様子を捉え、それらの特色を知ることができる。 （学・人）79年前の沖縄での様子を知ることができる。	（知・技）沖縄戦と学童疎開について諸資料を通して知る。 （思・判・表）対馬丸の本などから戦争はどのような出来事か考えようとしている。 （主学）慰霊の日について考えようとしている。	平和学習 沖縄戦と学童疎開	・那覇市にある対馬丸記念館について、パンフレットやHP、本などの諸資料より調べる。 ・学童疎開の様子について新聞記事などの資料も参考に調べる。
		（知及技）県内の主な歴史を手掛かりに、先人の働きや出来事、文化遺産などを知ることができる。 （思判表力）歴史的背景や現在に至る経緯などに着目し、県内の文化財や年中行事の様子を捉え、それらの特色を知ることができる。 （学・人）79年前の沖縄での様子を知ることができる。	（知・技）首里城の歴史を知り、琉球王国のあった時代の生活の様子を知る。 （思・判・表）那覇大綱引きや地域の伝統行事を調べ、現在の地域生活とどのような関わりがあるか考えようとしている。 （主学）沖縄県を代表する年中行事について興味・関心があるものについて調べ、行事の魅力を感じようとしている。	江戸時代と琉球王国 琉球王国と中継貿易	・こども新聞、ipadなどを活用して、オリンピックの祭典を調べる。
2 学期	28	（知及技）九州地方の地理的位置と人々の生活の様子を理解する。 （思判表力）各県の地理的特徴を知り、その地域の特産物や人々の生活の様子を捉え、表現することができる。 （学・人）生活の中でのニュースや話題になっていることと関連づけることができる。	（知・技）地球儀や日本地図を活用して各県の地理的位置や日本の位置を捉える。 （思・判・表）九州の各県に関連する話題と結びつけて、ニュースなどの記事より調べまとめようとしている。 （主学）世界各国の国から興味がある国を選び調べようとしている。	九州地方の特産物	・拡大地図、立体地図、立体パズルなど活用し、日本からの距離などをイメージする。 ・修学旅行先の都道府県の情報を、こども新聞、ipadなどを活用して収集する。
		（知及技）地域の安全を守るため、関係機関が地域の人々の協力していることが分かる。 （思判表力）地域における災害や事故に対する施設・設備などの配置、緊急時への備えや対応などに着目して、関係機関や地域の人々の諸活動を捉え、そこに関わる人々の働きを知ることができる。 （学・人）災害時に周りの指示に従い、安全に避難するためにはどういう行動をするか考えることができる。	（知・技）自然災害が発生した際の地域の避難場所や関係機関の役割を知る。 （思・判・表）その地域での避難経路や避難の仕方について確認しようとしている。 （主学）総合防災避難訓練時にどのような動きで避難したらよいか、行動しようとしている。	自然災害に備えるまちづくり 桜島と鹿児島県の人びとの暮らし	・学校周辺の地形の高低差について立体地図などを活用して確認し、さらに学校を基準に東西南北の方向を確認する。 ・津波や火山噴火の影響で、危険などから避難する際の避難経路を知る。 ・台風や大雨時の避難警報などがあった際、どこに避難場所が設けられているか、学校周辺のハザードマップなどを利用して調べる。
3 学期	10	（知及技）家庭や学校、地域社会でのきまりは、社会生活を送るために必要であることを理解する。 （思判表力）社会生活に必要なまじりの意識について考え、表現することができる。 （学・人）生徒会活動の役割に気づくことができる。	（知・技）選挙で代表を選ぶことの意味を理解している。 （思・判・表）生徒会役員が学校行事などを進める意識や役割を考えようとしている。 （主学）生徒会役員としての活動を通して、役割の大切さを感じることができる。	生徒会役員選挙 市町村選挙や市議会選挙など	・那覇市役所の市長や市議員の仕事や役割について、那覇市の広報やHPなどから調べる。 ・実際に生徒会役員の経験を重ねることによって、地域で市長や市議員が果たす役割について考える。

子 期	15	(知及技)身近な公共施設や公共物の役割が分かる。 (思判表力)社会生活ときまりとの関連を考え、表現することができる。 (学・人) 将来、どのような時に市役所を利用するのか知る。	(知・技)市役所で働く人の仕事内容を知らうとしている。 (思・判・表)実際にどのような要件で市役所を訪ねるのか調べようとしている。 (主学)これまでも生活の中で市役所との関わりがあったことに気づくことができる。	市役所の働きと役割	・市役所での業務について、地域の住民の利用について調べる。 ・福祉サービスや公共衛生など、身近な生活に結びついていることをHPなどから調べる。 ・家族や周りの人へ、実際にどのような時に市役所を訪れたか聞き取りで調べる。
留意点 引継ぎ等	・年間を通して、学習内容の話題と関連のあるニュース記事などを取り上げる。 ・季節の野菜や果物、米作りについての話題を取り上げる。				

令和7年度 数学科 II課程 A 年間指導計画

配当時数		生徒について		担当者	
105		2年Ⅱ課程A			
年間目標		(知識及び技能) 数量や図形などについて理解を深め、基礎的な計算や測定・測量についての知識や技能を身につける。 (思考力、判断力、表現力等) 身の回りの事象や問題場面を解釈及び判断したり、考察したりする力を養う。 (学びに向かう力・人間性等) 学んだことのよさを理解し、そのことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。			
学期	単元・題材の目標		単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期 35 時間	(知及技) 三角形、四角形の内角の和について理解することができる。 (思判表力) 2つの数量の関係を表に整理し、対応や変化の特徴を見だし、説明することができる。 (学・人) 整数と小数が同じ十進位取り記数法で表されていることやそのよさに気づく。		(知・技) 三角形、四角形の内角の和を理解し、未知の角の大きさを求めることができる。 (思・判・表) 2つの数量の関係を表に整理し、対応や変化の特徴を見いだすことができる。 (主学) 整数と小数が同じ十進位取り記数法で表されていることやそのよさに気づいている。	・図形の角の大きさ ・2つの量の変わり方 ・整数と小数	・三角形、四角形の角 ・2つの量の変わり方 ・整数と小数
2 学期 40 時間	(知及技) 小数の乗法の意味や計算の仕方を理解し、筆算で計算することができる。 (思判表力) 体積の表し方や複合図形の求積方法、単位の関係について考え、説明することができる。		(知・技) 整数×帯小数の計算の仕方を理解している。 (思・判・表) 単位の考え方や、図形を構成する要素に着目して、直方体や立方体の求積公式を考えることができる。	・小数のかけ算 ・体積	・整数×小数、小数×小数 ・積の大きさ ・面積の公式と小数 ・計算のきまり ・直方体と立方体の体積 ・いろいろな体積

	(学・人) 小数の除法の意味や計算の仕方について、桁数の多い計算などについて考えようとしたりする。 (思判表力) 対応する辺や角に着目し、合同な図形のかき方を考え、説明することができる。	(主学) 整数÷帯小数の意味を説明した方法を振り返り、整数÷純小数でもそれを生かそうとしている。 (思・判・表) 合同な図形の性質に着目し、未知の角の大きさを求めることができる。	・ 小数のわり算 ・ 合同な図形	・ 整数÷小数、小数÷小数 ・ わり進みの計算とあまりのあるわり算 ・ 合同な図形のかき方
3 学 期 30 時 間	(知及技) 偶数、奇数、倍数、公倍数、最小公倍数、約数、公約数、最大公約数の意味や求め方を理解することができる。 (思判表力) 分数の性質に着目し、異分母分数の加法及び減法の計算ができる。 (学・人) 平均や歩幅を用いるよさに気づき、生活や学習に生かそうとする。	(知・技) 公倍数や最小公倍数を求めることができる。 (思・判・表) 分数の意味や単位に着目して、異分母分数の計算ができる。 (主学) 歩幅を使っていろいろな長さの概測ができることのよさに気づく。	・ 整数の性質 ・ 分数のたし算とひき算 ・ 平均	・ 偶数と奇数 ・ 倍数と公倍数 ・ 約数と公約数 ・ 分数の大きさ ・ 分数のたし算とひき算 ・ 平均

令和 7 年度 中学部 2年(Ⅱ 課程Aグループ) 理科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2／70	2年		新しい理科5年(東京書籍)

目標:(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価:(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 自然や生き物に興味を持ち五感を活用して積極的に観察し、発見したことを発表することができる。 (思判表力) 観察、実験から疑問を持つ力と予想を立てる力を養う。 (学・人) 学びを日常生活に関連付けたり、生活に活かしたりすることができる。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
通年	35	(知及技) 季節の変化による動植物の様子を観察することができる。 (思判表力) 自分の気づきを発表することができる。 (学・人) 気象情報を実生活の中で役立てることができる。	(知・技) ・生物の特徴をとらえることができる。 (思・判・表) ・じっくりと観察することができる。 (主学) ・日々の天気に興味を持つ。 ・気象情報を体調管理や服装などに反映させることができる。	・校内自然観察 ・季節の変化 ・お天気調べ ・こども新聞 ・校外自然観察	・継続観察を行い、季節による変化を感じる。 ・生物カードを作成する。 ・校庭に出て、昆虫や鳥の鳴き声を聞き、季節の変化を感じることができる。 ・季節を表す言葉(風の名前や季節や季語など)や暦を紹介する。 ・その日の天気、気温、湿度や気象情報を確認する。
1学期	13	(知及技) 季節の植物調べを行うことができる。 (思判表力) 植物の成長観察記録をとることができる。 (学・人) 身のまわりの植物・昆虫に興味をもち、違いについて考えることができる。	(知・技) ・植物の発芽に関係する条件について理解している。 (思・判・表) ・実験・観察において得られた結果をもとに考察し、表現することができる。 (主学) ・植物の発芽や成長について学んだことを学習や生活に活かそうとしている。	・植物の発芽と成長 ・花から実へ ・魚の誕生 ・化学変化(中2)	・種子の発芽と水や温度、空気との関係を調べる条件を整え、実験を行う。 ・メダカの雌雄の見分けかたを知る。 ・魚の卵の中の変化についてまとめる。 ・元素記号について
2学期	14	(知及技) 雲の量や動きに着目して、それらと天気の変化とを関連付けて天気の変化を調べ、理解を図る。 (思判表力) 天気の変化の仕方についての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとする。 (学・人) 天気の変化の仕方について学んだことを学習や生活に活かそうとしている。	(知・技) ・天気の変化は、雲の量や動きと関係があることを理解している。 (思・判・表) ・実験・観察において得られた結果をもとに考察し、表現することができる。 (主学) ・天気の変化について学んだことを学習や生活に活かそうとしている。	・生物と細胞(中2) ・天気とその変化 ・わたしたちの暮らしと災害 ・気象の観測(中2)	・顕微鏡の使い方について知る。 ・台風の資料写真をみて、台風の動き方と天気の変化について考える。 ・台風による災害や災害に対する備えについて調べたり、考えたりする。 ・雨が降り始めたときの気象要素がどのようにに変化するかを考え、実際に観測するためのデータについて知る。
3学期	8	(知及技) 流れる水の速さや量に着目して流れる水の働きと土地の変化を調べる活動を通してそれらについての理解を図る。 (思判表力) 流れる二図の働きと土地の変化について観察・実験を行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。 (学・人) 流れる水のはたらきと土地の変化について学んだことを学習や生活に活かそうとしている。	(知・技) ・流れる水には、土地を浸食したり、石や土を運搬したり堆積させた働きがあることが分かる。 (思・判・表) ・観察・実験を通して疑問に思ったことを発表できる。 (主学) ・調べて疑問に思ったことについて自分から調べることができる。	・流れる水のはたらき ・川の観察 ・川原の石 ・ひとのたんじょう	・流れる場所により川と川原の石の違い。 ・近くの川の観察 ・流れる水の働きのまとめ

留意点 引継ぎ等	※弱視生徒に対して、実験や観察では、拡大して観察できるように教具の工夫を図る。 ※観察は、時間を十分にとり丁寧に行うことができるように図る。 ※校外での学習は、事前学習で安全に対する意識を高める。緊急時は関係機関へ連絡など、適切な対応を行う。
-------------	---

令和 7 年度 外国語 年間指導計画

年間総時数	学年・課程	担当者
70 時間	中学 2 年 II 課程 A	

年間目標	〈知識及び技能〉 英語を用いた活動を通して、身近な生活で見聞きする英語に興味や関心を持ち、英語の音声や基本的な表現に慣れ親しむ。 〈思考力・判断力・表現力等〉 身近で簡単な事柄について、英語で聞いたり話したりして表現力を身につける。 〈学びに向かう力 人間性等〉 英語を通してその言葉の背景にある文化の多様性を知り、コミュニケーションを図ろうとする態度を身につける。	
学期	時数	単 元
1 学期	8	Lesson 1: This is me. 自分について発表しよう。
	8	Lesson 2: Welcome to Japan. 日本のよいところをしょうかいしよう。
	8	Lesson 3: What time do you get up? 「理想の日曜日のスケジュール」を伝え合おう。
	2	Let's Check ① Questions: 新しい先生や交換留学生との出会い Let's Talk! : 先生と話をしよう。
2 学期	8	Lesson 4: My Summer Vacation 夏休みの思い出を発表しよう。
	8	Lesson 5: Where do you want to go? 行きたい国のみりよくを伝え合おう。
	8	Lesson 6: My Best Memory 小学校生活の思い出アルバムを作ろう。
	2	Let's Check ② Questions: 世界の国々について伝え合おう Let's Talk! : 先生と話をしよう。
3 学期	8	Lesson 7: My Dream 将来の夢を発表しよう。
	8	Lesson 8: My Junior High School Life 中学校生活でしたいことやがんばりたいことを伝えよう。
	2	Let's Check ③ Questions: 卒業を前に Let's Talk! : 先生と話をしよう。

沖縄盲学校独自の教材や教具と学習に必要な視覚支援機器【弱視版】

◆拡大教科書・・・ 拡大は3段階くらいの種類がある。今年度使用している教科書は22ポイントである。 ◆拡大読書器・・・ 文字や図形、地図等を拡大したり白黒反転したりすることがある。 ◆弱視に使いやすい文具・・・ ノートは行間やマス目が大きく、罫線自体が太い。市販のノートだと罫線が薄く見づらいときは、教師が印刷して使用する。

令和7年度 中学部 2年Ⅱ課程A 音楽科 年間指導計画

単位数 ／配当時 数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
70	2年Ⅱ課程A		小学生5年

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) ・曲名や曲想と音楽の構造との関わりについて理解するとともに、必要な歌唱、器楽、音楽づくり、身体表現の技能を身につけることができる。＜中学部 2 段階＞ (思判表力) ・音楽表現を考えて表したい思いや意図をもつことや、音や音楽を味わいながら聴くことができる。＜中学部 1 段階 (学・人) ・進んで音や音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じるとともに、様々な音楽に親しむことができる。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	22	(知及技) 曲名や曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。 (思判表力) 曲の雰囲気合いそうな表現を工夫し、歌唱表現に対する思いや意図をもつことができる。 (学・人) 音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組むことができる。	(知・技) 曲名や曲想と音楽の構造との関わりについて気付いている。 (思・判・表) 聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲の雰囲気に合いそうな表現を工夫し、歌唱表現に対する思いや意図をもっている。 (主学) 音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	<歌唱> ・校歌 ・発声曲 ・Believe ・すてきな一歩 ・こいのぼり ・いつでもあの海は ・静かにねむれ	・曲を聴き取り、その曲から受ける印象、速度や音の大きさ、音の重なりなどの関係について理解する。
		(知及技) 楽器の音色と全体の響きとの関わりについて理解している。 (思判表力) 曲の雰囲気に合いそうな表現を工夫し、器楽表現に対する思いや意図をもつことができる。 (学・人) 音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組むことができる。	(知・技) 楽器の音色と全体の響きとの関わりについて気付いている。 (思・判・表) 聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲の雰囲気に合いそうな表現を工夫し、器楽表現に対する思いや意図をもっている。 (主学) 音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	<器楽> ・小さな約束 ・リボンのおどり (ラ バ ンバ) ・キリマンジャロ	・リズム、旋律との一体感を感じ取り、反復練習をして旋律やリズム、拍子を理解する。 ・模範演奏を聴いたり、試奏することで演奏の仕方や音の違い等の特徴を知る。
		(知及技) 曲想とリズムや速度、旋律の特徴との関わりについて理解することができる。 (思判表力) 鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏のよさなどを見いだして聴くことができる。 (学・人) 音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組むことができる。	(知・技) 曲想とリズムや速度、旋律の特徴との関わりについて気付いている。 (思・判・表) 音楽を形作っている要素を聴き取り、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏のよさなどを見い出して聴こうとしている。 (主学) 音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	<鑑賞> ・アイネ クライネ ナハトムジーク 第1楽章 ・威風堂々 第1番 ・双頭のわしの旗の下に	・曲の雰囲気を感知取り、最後まで静かに聴く。 ・音や音楽を形作っている要素 (強弱、速さ、リズムなど) に着目させ、変化や特徴を理解する。 ・様々な楽器に触れ、楽器の名前や形状の違い、音色や響きなどの楽器の構造や特徴を理解する。 ・曲を聴いてどんな気持ちになったか、感想を発表する。
		(知及技) 曲名や歌詞と体の動きとの関わりについて理解することができる。 (思判表力) 身体表現についての知識を得たり生かしたりしながら、リズムの特徴や曲の雰囲気を感知取り、体を動かすことについての思いや意図をもつことができる。 (学・人) 音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に身体表現の学習活動に取り組むことができる。	(知及技) 曲名や歌詞と体の動きとの関わりについて気付いている。 (思判表力) 身体表現についての知識を得たり生かしたりしながら、リズムの特徴や曲の雰囲気を感知取り、体を動かすことについての思いや意図をもっている。 (学・人) 音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に身体表現の学習活動に取り組もうとしている。	<身体表現> ・指揮しよう ・言葉でリズムアンサンブル	・動作を練習するときは教師が手本を見せたり、教師に手添えをしてもらいながら動作を理解する。 ・聴いたリズムを口答や手拍子で模倣する。 ・CD音源を聴いて、テンポやリズムのタイミングを合わせる練習をする。。
		(知及技) 表したい音楽表現をするために必要な器楽の技能を身に付けることができる。 (思判表力) 曲の雰囲気に合いそうな表現を工夫し、歌唱表現に対する思いや意図をもつことができる。 (学・人) 音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組むことができる。	(知・技) 思いや意図にふさわしい表現をするために必要な発声の仕方に気を付けて歌う技能を身に付けている。 (思・判・表) 聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲の雰囲気に合いそうな表現を工夫し、歌唱表現に対する思いや意図をもっている。 (主学) 音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	<歌唱> ・発声曲 ・こげよ マイケル ・まっかな秋 ・冬げしき ・スキーの歌 ・合唱	・発声練習を通して、口形や呼吸の仕方を練習し、声の響きを意識する。 ・言葉や間、掛け合いの箇所に気をつけて歌えるよう練習する。

2 学期	30	(知及技) 表したい音楽表現をするために必要な器楽の技能を身に付けることができる。 (思判表力) 曲の雰囲気合いに合うような表現を工夫し、器楽表現に対する思いや意図をもつことができる。 (学・人) 音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組むことができる。	(知・技) 思いや意図にふさわしい表現をするために必要な音色や響きに気を付けて、打楽器や旋律楽器を使って演奏する技能を身に付けている。 (思・判・表) 聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の雰囲気合いに合うような表現を工夫し、器楽表現に対する思いや意図をもっている。 (主学) 音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	<器楽> ・リコーダー合奏	・リズム、旋律との一体感を感じ取り、反復練習をして旋律やリズム、拍子を理解する。 ・模範演奏を聴いたり、試奏することで演奏の仕方や音の違い等の特徴を知る。 ・録音を取り、鳴らすタイミング、リズムに注目して聴き、相手や自分の演奏に対してどう感じたのか意図や思いを伝え合えるようにする。
		(知及技) 曲想とリズムや速度、旋律の特徴との関わりについて理解することができる。 (思判表力) 鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏のよさなどを見いだして聴くことができる。 (学・人) 音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組むことができる。	(知・技) 曲想とリズムや速度、旋律の特徴との関わりについて気付いている。 (思・判・表) 音楽を形作っている要素を聴き取り、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏のよさなどを見いだして聴こうとしている。 (主学) 音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	<鑑賞> ・山田耕柞の歌曲（待ちぼうけ／赤とんぼ／この道） ・クラッピング ファンタジー 第4番（ギャラクシー ～銀河をこえて～）	・様々な楽器に触れ、楽器の名前や形状の違い、音色や響きなどの楽器の構造や特徴を理解する。 ・図書館やiPadなどで作曲家の生い立ちを調べ、作曲当時の時代背景を理解する。
3 学期	18	(知及技) 曲想と歌詞の表す情景やイメージとの関わりについて理解している。 (思判表力) 曲の雰囲気合いに合うような表現を工夫し、歌唱表現に対する思いや意図をもつことができる。 (学・人) 音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組むことができる。	(知・技) 曲想と歌詞の表す情景やイメージとの関わりについて気付いている。 (思・判・表) 聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の雰囲気合いに合うような表現を工夫し、歌唱表現に対する思いや意図をもっている。 (主学) 音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	<歌唱> ・卒業式の歌 ・My Melody	・曲想や歌詞の意味を口頭説明や体験、具体物の触察を通して理解を深め、情景や作者の意図をイメージする。 ・曲想や歌詞の意味を確認し、情景や作者の意図をイメージする。
		(知及技) 表したい音楽表現をするために必要な器楽の技能を身に付けることができる。 (思判表力) 曲の雰囲気合いに合うような表現を工夫し、器楽表現に対する思いや意図をもつことができる。 (学・人) 音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組むことができる。	(知・技) 思いや意図にふさわしい表現をするために必要な友達楽器の音や伴奏を聴いて、音を合わせて演奏する技能を身に付けている。 (思・判・表) 聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の雰囲気合いに合うような表現を工夫し、器楽表現に対する思いや意図をもっている。 (主学) 音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	<器楽> ・合奏（打楽器、鍵盤楽器など） <鑑賞> ・春の海 ・失われた歌	・リズム、旋律との一体感を感じ取り、反復練習をして旋律やリズム、拍子を理解する。 ・模範演奏を聴いたり、試奏することで演奏の仕方や音の違い等の特徴を知る。 ・録音を取り、鳴らすタイミング、リズムに注目して聴き、相手や自分の演奏に対してどう感じたのか意図や思いを伝え合えるようにする。
留意点 引継ぎ等					

令和7年度 中学部 2年（Ⅱ課程Aグループ） 美術 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
70	1名		

目標：（知及技）知識及び技能 （思判表力）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		（知及技） つくりたいものに合わせて材料や用具を使い、表し方を工夫する技能を身に付ける。 （思判表力） 表したいことについて考え、発想し構想するとともに、造形や作品などを鑑賞し、自分の見方や感じ方を深める。 （学・人） 美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、豊かな情操を培う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	22	（知及技）絵画の材料や用具の扱いに親しみ、表したいことに合わせて、表し方を工夫し、材料や用具を選んで使い表すこと。 （思判表力）経験したことや思ったこと、材料などを基に、表したいことや表し方を考えて、発想や構想をすること。 （学・人）絵画に興味を持ち、感性を豊かにし、豊かな情操を培う。	（知及技）絵画の材料や用具の扱いに親しみ、表したいことに合わせて、表し方を工夫し、材料や用具を選んで使い表すことができたか。 （思判表力）経験したことや思ったこと、材料などを基に、表したいことや表し方を考えて、発想や構想をすることができたか。 （学・人）絵画に興味を持ち、感性を豊かにし、豊かな情操を培うことができたか。	絵画表現	日常生活の中で経験したことや思ったこと、材料などを基に、表したいことや表し方を考えて、描いたり、つくったり、それらを飾ったりする活動 1. 線を引く 2. 色を塗る（ペン、絵の具） 3. テーマから主題を考え絵画表現を行う
2 学期	30	（知及技）立体造形の材料や用具の扱いに親しみ、表したいことに合わせて、表し方を工夫し、材料や用具を選んで使い表すこと。 （思判表力）経験したことや思ったこと、材料などを基に、表したいことや表し方を考えて、発想や構想をすること。 （学・人）立体造形に興味を持ち、感性を豊かにし、豊かな情操を培う。	（知及技）立体造形の材料や用具の扱いに親しみ、表したいことに合わせて、表し方を工夫し、材料や用具を選んで使い表すことができたか。 （思判表力）経験したことや思ったこと、材料などを基に、表したいことや表し方を考えて、発想や構想をすることができたか。 （学・人）立体造形に興味を持ち、感性を豊かにし、豊かな情操を培うことができたか。	陶土を使った立体表現	日常生活の中で経験したことや思ったこと、材料などを基に、表したいことや表し方を考えて、描いたり、つくったり、それらを飾ったりする活動 1. 土を作る 2. 土で立体作品を作る（接着など） 3. テーマから主題を考え絵画表現を行う
3 学期	18	（知及技）材料や用具の扱いに親しみ、表したいことに合わせて、表し方を工夫し、材料や用具を選んで使い表すこと。 （思判表力）経験したことや思ったこと、材料などを基に、表したいことや表し方を考えて、発想や構想をすること。 （学・人）空間表現に興味を持ち、感性を豊かにし、豊かな情操を培う。	（知及技）材料や用具の扱いに親しみ、表したいことに合わせて、表し方を工夫し、材料や用具を選んで使い表すことができたか。 （思判表力）経験したことや思ったこと、材料などを基に、表したいことや表し方を考えて、発想や構想をすることができたか。 （学・人）空間表現に興味を持ち、感性を豊かにし、豊かな情操を培うことができたか。	卒業式装飾	日常生活の中で経験したことや思ったこと、材料などを基に、表したいことや表し方を考えて、描いたり、つくったり、それらを飾ったりする活動
留意点 引継ぎ等					

令和7年度 保健体育年間指導計画（体育分野）

中学部2年ⅡA課程 作成者：

総授業時数70時間

年間目標		・運動の実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わい、運動を豊かに実践することができるようにため、体力の必要性を理解すると共に、基本的な技能を身につけるようにする。（知識・技能） ・運動についての自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断したりするとともに、自己の考えたことを他者に伝える力を養う。（思考・判断・表現力等） ・公正に取り組む、互いに協力する、自己の役割を果たす、互いの違いを認めようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全に留意し、自己の最善を尽くす態度を養う。（学びに向かう力、人間性等）				
月	単元名 及び 学習内容	時 数	指導目標	評価の観点		
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
通 年	体づくり運動 ・ラジオ体操、ストレッチ体操等 ・体ほぐしの運動 ・体の動きを高める運動 ・クロックポジション ・ボディイメージ	6	・ねらいに応じた運動を組み合わせて体ほぐしに取り組む。（知・技） ・仲間と積極的に関わり、互いの意見を尊重しながら合理的な運動の実践ができる。（思・判・表） ・課題解決に向けて、仲間と協力できる。（学・人）	・体づくり運動の意義と行い方、体の動きを高める方法などについて理解している。	・自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	・体づくり運動の学習に積極的に取り組もうとしている。 ・仲間の補助をしたり助言したりして、仲間の学習を援助しようとしている。
4 5	陸上① ・短距離走 ・長距離走 ・ボール投げ	8	・ストライドやピッチ、腕ふりを意識して活動できる。（知・技） ・自己の記録や課題を意識し、練習方法を工夫することができる。（思・判・表） ・自己の体力を知り、意欲的に練習に取り組むことができる。（学・人） ・違いを認め、仲間と協力し、課題解決に取り組むことができる。	・陸上競技の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などについて理解している。 ・長距離走では、ペースを守って走ることができる。	・動きなどの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。	・陸上競技に積極的に取り組むとともに、勝敗などを認め、ルールやマナーを守ろうとしている。分担した役割を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとしている。健康・安全に気を配

			(学・人)			っている。
5	水泳	1	・水の特性を理解する。	・水泳の特性や成	・提供された練	・水泳の学習に
	・バタ足	4	(知・技)	り立ち、技術の名	習方法から、自	積極的に取り組
6	・ドル平		・4泳法の名称と技術を	称や行い方、その	己の課題に応じ	もうとしてい
	・クロール		知る。(知・技)	運動に関連して高	て、泳法の習得	る。
7	・平泳ぎ		・息継ぎの技術を身につ	まる体力などにつ	に適した練習方	・用具等の準備
			ける。(知・技)	いて理解してい	法を選んでい	や後片付けなど
			・自己の課題に応じた、	る。	る。	の分担した役割
			練習方法を選択して、意	平泳ぎ	・仲間と協力す	を果たそうとし
			欲的に練習する。(思・	・蹴り終わりで長	る場面で、分担	ている。
			判・表)(学・人)	く伸びるキックを	した役割に応じ	・一人一人の違
			・健康、安全に気をつ	することができ	た活動の仕方を	いに応じた課題
			け、水泳の心得を守る。	る。	見付けている。	や挑戦を認めよ
			(学・人)	・肩より前で、両		うとしている。
				手で逆ハート型を		・水の安全に関
				描くように水をか		する事故防止の
				くことができる。		心得を遵守する
				・プルのかき終わ		など、健康・安
				りに合わせて顔を		全に留意してい
				水面上に出して息		る。
				を吸うことができ		
				る。		
9	ダンス	1	・ダンスの特性や表現の	ダンスの特性や由	表現などの自己	ダンスに積極的
	・エイサー	1	仕方を学び、体を動かす	来、表現の仕方、	の課題を発見	に取り組むとと
1			ことができる。(知・技)	その運動に関連し	し、合理的な解	もに、仲間の学
			・クロックポジションを	て高まる体力など	決に向けて運動	習を援助しよう
0			意識して自己の体を操作	について理解して	の取り組み方を	とすること、交
			する。(知・技)	いる。	工夫するととも	流などの話合い
			。自己の課題を発見し練	表したいイメージ	に、自己や仲間	に参加しようと
			習を工夫する。	を捉え、動きに変	の考えたことを	することをして
			(思・判・表)	化を付けて即興的	他者に伝えてい	いる。
			・仲間との話し合いを通	に表現したり、変		一人一人の違い
			じて、課題を見つけ、解	化のあるひとま		に応じた表現や
			決する。(思・判・表)	まりの表現にした		役割を認めよう
			・一人一人の違いを認	りして踊ることが		とすることをし
			め、意欲的に活動する。	できている。		たり、健康・安
			(学・人)			全に気を配った
						りしている。
1	陸上②	9	・自己の歩、走の動きのく	・音源を聞いて	・選択した運動	・勝敗などを冷
	・直線走		せを知る。(知・技)	まっすぐ走るこ	に必要な準備運	静に受け止め、
1	・円周走		・体重移動や踏切の技術	とができしてい	動や自己が取り	ルールやマナー
	・走り幅跳び		を身につける。(知・技)	る。	組む補助運動を	を大切にしよう
1			・健康やけが防止のため			
			の、準備運動や補助運動			

2			について、考え、主体的に活動する。(思・判・表) ・勝敗を受け止め、ルールやマナーを守る。(学・人)	・ロープの張りを感知、全力で走ることができている。 ・スピードに乗った助走から力強く踏み切って跳ぶことができている。	選んでいる。 ・健康や安全を確保するために、体調や環境に応じた適切な練習方法等について振り返っている。	としている。 ・仲間と互いに合意した役割について自己の責任を果たそうとしている。 ・健康・安全を確保している。
1 2 3	球技 ・フロアバレーボール ・STT ・キックベースボール	1 5	・役割に応じたボールの操作や連携した動きができる。(知・技) ・チームや自己の課題を発見し、仲間と工夫して練習に取り組むことができる。(思・判・表) ・フェアプレイを大切にして自主的に練習に取り組むことができる。(学・人) ・仲間と課題や練習法について考えることができる。(学・人)	・ボールや用具の操作と定位置に戻るなどの動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができている。 ・連携プレイのための基本的なフォーメーションに応じた位置に動くことができている。	・自己や仲間の技術的な課題やチームの作戦・戦術についての課題や課題解決に有効な練習方法の選択について、自己の考えを伝えている。 ・チームで分担した役割に関する成果や改善すべきポイントについて、自己の活動を振り返っている。	・球技の学習に自主的に取り組もうとしている。 ・互いに練習相手になったり仲間に助言したりして、互いに助け合い教え合おうとしている。 ・健康・安全を確保している。

令和7年度 中学部2年(Ⅱ課程A) 職業家庭 年間指導計画

配当時間	児童生徒について	担当者	教科書/副教材
140	中学部2年		開隆堂 たのしい職業科 わたしの夢につながる たのしい家庭科 わたしの暮らしに生かす

年間目標	・生活や職業に対する関心を高め、将来の家庭生活や職業生活に係る基礎的な知識や技能を身に付ける様にする。・将来の家庭生活や職業生活に必要な事柄を見出して課題を設定し、それを解決できる力を養う。	
	知識及び技能	(1)生活や職業に関する関心を高め、将来の家庭生活や職業生活に係る基礎的な知識や技能を身につけるようにする。
	思考力、判断力、表現力等	(2)将来の家庭生活や職業生活に必要な事柄を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、自分の考えを表現するなどして、課題を解決する力を養う。
	学びに向かう力、人間性等	(3)よりよい家庭生活や将来の職業生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする実践的な態度を養う。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価基準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 ・ 2 ・ 3 学期	2	職業家庭科の目標を知ること。(知及技)	職業家庭科のねらいについて理解している(知・技)	オリエンテーション	・職業・家庭科の時間のねらいを確認し、今年度の計画を立てる
	58	・働くことの目的を知ること。(知及技) ・意欲や見通しを持って取り組み自分の役割について気付くこと(思判表力) ・作業や実習等で達成感を得ること。(学・人) ・職業生活に必要な知識や技能について知ること(知及技) ・職業生活を支える社会の仕組み等があることを知ること。(知及技) ・材料や育成する生物等の扱い方及び生産や生産活動等に関わる基礎的な技術について知ること。(知及技) ・作業課題がわかり、使用する道具等の扱い方に慣れること。(知及技) ・作業の持続性や巧緻性などを身に付けること。(知及技) ・職業に関わる事柄と作業や実習で取り組む内容との関連について気付くこと(思判表力) ・作業にあたり安全や衛生について気付き、工夫すること。(思判表力) ・職業生活に必要な健康管理に気付くこと。(思判表力)	・働くことの目的を知り、意欲を持って作業にとりくむことができる(学・人) ・実習等にかかる基礎的な技術を知り、使用する道具の扱いができる(知・技) ・実習等の中での安全性や衛生、健康管理について気づき行動できる。(思・判・表)(知・技) ・職業生活を支える社会の仕組みについて理解している。(知・技) ・材料や育成する生物等の扱い方や生産活動に関わる基礎的な技術について理解している(知・技) 【評価】聞き取り、提出物、観察	A:職業生活	・スリッパ洗い、紙コースター作成、栽培学習(土作り)等)に取り組み、協力して仕事に取り組む。
				校内就業体験 栽培 木工 リサイクル製品の製作 清掃	・土作り ・播種 ・日常の手入れ ・収穫
					・材料の加工 ・部品加工 ・組み立て ・仕上げ
					・材料の加工 ・部品加工 ・組み立て ・仕上げ
		・机拭き ・ほうき ・モップがけ ・窓拭き ・ゴミ捨て			
6	・コンピュータ等の情報機器の初歩的な操作の仕方を知ること(知及技) ・コンピュータ等の情報機器に触れ、体験したことを他者に伝えること。(思判表力)	・タブレットの起動終了、アプリの操作ができる。(知・技) ・操作方法やアプリの機能を伝えることができる(思・判・表) 【評価】聞き取り、提出物、観察	B:情報機器の活用	タブレット機器の基本操作等を行う。	
	・職業や進路に関わることに興味を持ったり、調べたりする。(知及技) ・職業や職業生活、進路に関わることに興味を持ち、他者に伝えること。(思判表力)	・いろいろな職業について調べ、他者に伝えることができる(知・技)(思・判・表) 【評価】聞き取り、提出物、観察	C:産業現場等における実習	・職業調べ ・自分の進路について考えよう	
1 ・ 2 ・ 3 学期	20	・自分の成長を振り返りながら、家庭生活の大切さを知ること。(学・人) ・家族とのやりとりを通して、家族を大切にすることの大切さを育み、よりよい関わり方について気付き、それらを他者へ伝えること。(思判表力) ・家庭における役割や地域との関わりについて関心を持ち、知ること。(知及技) ・家庭生活に必要な事や自分の果たす役割に気付き、それらを他者に伝えること。(思判表力) ・健康や様々な余暇の過ごし方について知り、実践しようとすること。(知及技) ・望ましい生活環境や健康及び様々な余暇の過ごし方について気付き工夫すること。(思判表力) ・幼児の特徴や過ごし方について知ること。(知及技) ・幼児への適切な関わり方について気付き、それらを他者に伝えること。(思判表力)	・自分の日課などについてスケジュール表を作ることができる。(学・人)(思・判・表) ・自分の成長を振り返り、家族との関わりについて気づくことができる。(思・判・表) ・健康や余暇の過ごし方について知り実践しようとすること。(学・人)(知・技) ・家庭生活のなかでの家族との関わりや感謝について表現出来る。(思・判・表)(学・人) ・家庭や地域における役割について伝えることができる(思・判・表) ・幼児への関わりについてまとめ、他者へ伝えることができる(思判表) 【評価】聞き取り、提出物、観察	A:家族・家庭生活	・学校の日、休日のスケジュール表をつくらう ・自分の成長を振り返ろう ・小さい子の特徴についてしらう ・健康的な生活や余暇の過ごし方についてしらべてみよう ・地域の行事を調べてみよう
	30	・健康な生活と食事の役割について知ること。(知及技) ・適切や量の食事を楽しくとることの大切さに気付き、それらを他者に伝えること。(思判表力) ・簡単な調理の仕方や手順をしり、できるようにすること。(知及技) ・簡単な調理計画について考えること。(思判表力) ・場面に応じた日常着の手入れの仕方などについて知り、実践しようとすること。(学・人) ・季節の変化に合わせた住まい方、整理・整頓や清掃の仕方に気付き、工夫すること。(思判表力) ・住まいの主な働きや、整理、整頓や清掃の仕方について知り、実践使用とすること(知及技) ・季節の変化に合わせた住まい方、整理・整頓や清掃の仕方に気付き、工夫すること。(学・人)	・健康な生活と食事の役割について理解している。(知・技) ・簡単な調理の計画を考えることができる(思・判・表) ・簡単な調理の仕方や手順を知り、調理出来る。(知・技) ・日常の服の手入れが出来る。(アイロンがけ等)(知・技) ・場に応じた日常着の手入れの仕方などについて理解し、実践出来る(学・人) ・簡単な布の小物をつくることできる。(知・技) 【評価】聞き取り、提出物、観察	B:衣食住の生活	健康な生活食事の役割について考えよう 調理実習 ・簡単な調理 ・電子レンジ ・お湯を注ぐ 日常着の手入れ(衣替え、夏服、冬服、普段着、礼服など) ・アイロンがけ ・服のたたみ方やハンガーの使用
	18	・生活に必要な物の選び方、買い方、計画的な使い方について知り、実践しようとすること。(知及技) ・生活に必要な物を選んだり、物を大切に使うこと(学・人) ・身近な生活の中で、環境に配慮した物の使い方などについて考え、工夫すること。(思判表力)	・必要なものをリストアップし生活に必要な買い物がわかる(知・技)(学・人) ・生活に必要な買い物と、環境との関わりについて理解している。(知・技) 【評価】聞き取り、提出物、観察	C:消費生活・環境	・日常生活の中で必要なものについて考えよう ・じょうずな買い物をしよう ※金銭教育 ・環境への配慮について考えよう

令和7年度中学部 2年（Ⅱ課程A） 道徳科 年間指導計画

単位数 ／配当時 数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
35	1名		小学道徳5 はばたこう明日へ

目標：（知及技）知識及び技能 （思判表力）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		・人との関わりの中で、道徳的な価値に気づいたり、感じたりして、よりよく人と関わるための道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育む。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	1	・時と場に応じたあいさつが、相手に伝わる声できちんとできる。	・時と場に応じた挨拶がどのような挨拶を考えている。	・心のこもったあいさつ	・時と場に応じた適切なあいさつ・言葉遣い・態度について学習する。 ・学級内での個々の役割を決める。
	2	・自分の意見・考えを発表し、他人の話を聞くことができる。	・学級内で協力するにあたって、自分の意見を持ち、発表しようとしたり、他人の話を傾けている。	・責任ある行動とは	・学級で協力し合う事柄について話し合う。
	2	・仲間を大切にし、学ぶ姿勢を身につける。 ・学級の一員として、自己の役割をきちんと果たす。	・仲間を大切にする姿勢を身に着けようとしている。 ・学級での自分の役割を把握し、主体的に取り組もうとしている。	・自己の役割と他者との協力	・計画を立てて行動する習慣について話し合う。
	2	・日頃の生活をとおして家族への感謝の心をもつ。	・日頃の生活を振り返って、家族への感謝の気持ちを言葉にしている。	・思いやりと感謝の心	・家族に対して思いやりと感謝の気持ちをもちカードなどで感謝のメッセージを書く。
	1	・自分や相手のよさを知り、お互いを尊重することができる。	・自分のよさについて考えている。	・自分のよさを見つめて	・自分や相手のよさについて話し合う。
	1	・過去・現在から戦争の悲惨さを知り、平和を望む心をもつ。	・沖縄戦の学習に取り組み、戦争の悲惨さについて自分の考えを持っている。	・平和講話	・沖縄戦について学習する。
	1	・自分の夏休みの生活に関心をもつ。	・自分の夏休みの計画を考えている。	・夏休みを前に	・夏休みの過ごし方について、個々の計画を語る。
2学期	4	・お互いの個性を認めることを知る。 ・高齢者や目上の人たちへの尊敬の意をもつ。	・相手の長所を見つけお互いの個性を認めようとしている。	・人権とは何か	・相手の長所をみつけながら関わることを学習する。 ・新聞などの記事を読んで考える。
	4	・学級の一員として、自己の役割をきちんと果たす。	・学級の一員として、自己の役割を果たすためにすべきことを知ろうとしている。	・自己の役割と他者との協力	・各自のやるべき事を意識し、自ら行動できる。
	4	・探究心をもち続けることの大切さに気づき、物事を多面的・多角的に考えることができる。	・探究するということについて考える。	・探究心をもち続ける	・『二億人を救った化学者』を読んで、物事を探究しようとする心をもつことについて考える。
	3	・健康な心と体について考え、リラックスできる時間をつくることの大切さを知る。	・健康な心と体について考え、リラックスできる時間を見つけようとしている。	・生命の尊さを知ろう	・中学生として必要な心と体の健康に関する知識。ストレス解消法などを知る。 ・バランスのとれた食生活について学習する。栄養などについて考える。
3学期	3	・自分と関わる周辺の人たちについて語る。	・自分とかかわる人々を通して、自分自身が社会でできることを考えている。	・自己を見つめて	・自ら積極的に社会参加するために、自分に関わる。周辺の人たちの働きを知る。
	3	・心のこもった対応の大切さを知り、誰に対しても心を込めて接する態度を養う。	・心のこもった対応の大切さを知り、販売学習などで積極的に挨拶をしようとしている。	・礼儀正しさについて	・販売学習などを通して、あいさつや接客についての学習をする。
	2	・一年間を振り返って自己の成長を知る	・一年間の自分の成長を言葉にしている。	・自己の成長	・4月の自分と今の自分を比較し、その成長を知る ・アルバムの整理をする。
留意点 引継ぎ等					

令和7年度 中学部 2年（Ⅱ課程A） 特別活動 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
35			

目標：（知及技）知識及び技能 （思判表力）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 他者と集団活動に参加し、行動することを身につける。 (思判表力) 集団や自己の生活などの話し合いに参加する。 (学・人) 集団活動を通して、人間関係をよりよく形成する。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	12時間	・入学/進学を喜び、新しい出発を自覚する。 ・1年の目標を考え、意欲的に取り組むことができる。 ・新しい先生、友達と親睦をはかることができる。	(知・技) ・目標に意識をもち、設定することができる。 (思・判・表) ・歓迎会の雰囲気を感じ取ることができる。 ・生徒や教師と話し合い、目標に対して意識をもつことができる。 (主・学) 自己紹介等で発表することができる。	・学級開き ・新入生歓迎会 ・個人目標 ・学級目標	・自己紹介、先生紹介、新しい友達、教科の紹介 ・自己紹介、先生紹介、先輩の紹介、ゲーム、歌 ・新たな気持ちで1年間の目標を教師と友に考え、設定する。 ・生徒や教師と共に、協力してクラスの目標を考え、設定する。
		・火災時に指示に従い安全に避難することができる。 ・生徒総会に参加することができる。 ・1年間の生徒活動の内容を知る。	(知・技) ・避難訓練の雰囲気を感じ、教師とともに安全に避難することができる。 (思・判・表) ・生徒総会に参加し、話を聞いたり、発表をすることができる。 (主・学) 割り当てられた役割を練習することができる。	・火災避難訓練 ・生徒総会に向けて ・生徒総会	・火災避難についての基本を学ぶ。 ・生徒総会に向けて、各自に割り当てられた役割を練習する。 ・生徒会活動の係分担や内容を知る。
		・校外での体験活動や交流に参加することができる。 ・普段使用している教室を掃除し清潔にする。 ・1学期を反省し、夏休みの過ごし方について考える機会とする。	(知・技) ・交流での活動の雰囲気を感じ取り、同年代の生徒たちとのふれあいを知る。 ・清掃することの大切さを知り、活動に参加する。 (主・学) ・目標の達成度を確認し、達成感を感じたり、反省をすることができる。	・交流/ 共同学習 ・学校内の清掃 ・1学期の反省	・近隣校の交流や共同学習を通して同年代の生徒でふれ合う。 ・清掃分担区域を中心に校内の清掃に取り組む。 ・1学期を振り返り、目標の達成度を確認する。
2 学期	14時間	・夏休みを振り返り、2学期の目標を確認する。 ・体育祭に向けて意欲的に参加する。 ・他学級の仲間と合同レクをして楽しむ。	(知・技) ・1学期や夏休みを振り返り、目標を立て、目標の大切さを知る。 ・体育祭の目的を知り、活動に参加する。 (思・判・表) ・レクの計画に参加し、楽しい雰囲気をあじわう。	・2学期の抱負 ・体育祭に向けて ・合同レク	・夏休みの思い出を発表し、2学期の目標を立てる。 ・体育祭の目的、役割を把握し、意欲的に取り組む。 ・協力して合同レクの計画を立て、実施する。
		・校外学習に向けて、協働的に取り組む。 ・健康について考え、講話を聞く。	(知・技) ・学校内との違いを感じ、活動に参加する。 ・手洗いやうがいなどの感染予防に取り組むことができる。 (思・判・表) ・汚れている箇所を知り、清掃する。 (主・学) ・目標の達成度を確認し、達成感を感じたり、反省することができる。	・校外学習 ・保健講話 ・学校内の清掃 ・2学期の反省	・校外学習に必要な学習や準備を把握し、協力して活動に取り組む。 ・講話を聞き、健康管理について考え、感染防止の意識を高める。 ・清掃分担区域を中心に校内の清掃に取り組む。 ・2学期を振り返り、目標の達成度を確認する。
3 学期	9時間	・新年の抱負を考える。 ・生徒会について活動内容や大切さについて知る。 ・1年間の生徒会行事を振り返る。	(知・技) ・新年の雰囲気を感じ、3学期の目標を立て、目標の大切さを知る。 ・選挙活動後、選挙によって生徒会長が選ばれたことを知り、選挙の大切さを知る。 (主・学) 選ばれた生徒会長の発表を聞き、会に参加する。	・新年の抱負 ・生徒会長選挙 ・生徒会長認定式	・新年の抱負を話し合い、3学期の過ごし方について考える。 ・生徒会行事や、役員の役割、選挙の大切さを学ぶ。 ・生徒会行事の反省、感想を発表する。
		・お世話になった先輩や先生方に感謝の気持ちを込めてメッセージを書き、レクを楽しむ。 ・卒業式に向けて練習をする。 ・儀式的意義について知る。	(知・技) ・練習に参加し、流れを知ることができる。 (思・判・表) ・レクの内容を考え、会に参加して雰囲気を感ずることができる。 (主・学) ・卒業式や修了式の雰囲気を感ずて式に参加することができる。	・1年間を振り返る会 ・卒業式リハーサル ・卒業式/修了式	・中学部みんなで、レクを楽しみ、感謝や思い出のメッセージを発表する。 ・リハーサルで実際の流れを把握する。 ・儀式的意義を理解し、参加時の心構えについて考える。
留意点 引継ぎ等					

中学部 2年Ⅱ課程A 令和7年度 総合的な学習の時間 年間指導計画 担当：						
年間目標		(知及技)課題の発見と解決に必要な知識及び技能を養い、学習の意義や価値を理解するようにする。 (思判表力)実社会や実生活と自己とのかかわりから疑問点を見出し、自分の課題を解決しようと取り組むことができるようにする。 (学・人)学習に積極的に取り組むとともに、互いの良さを知り、新たな考え方を学び、よりよい変化を実現しようとする態度を養う。				
学期	月	単元の目標	時数	単元・題材の評価規準	単元名	学習内容
1 学 期	4	(学・人)総合学習のねらいを理解する (思判表力)(学・人)1年の計画内容の確認と取り組む姿勢をもつ	2	(主学)総合学習のねらいを知ることができる。 (主学)1年間で学習することを理解することができる。 (思・判・表)(主学)1年間のテーマを決めることができる。	総合学習オリエンテーション、方向性について	前年度の総合学習を振り返る。 今年度の主な取り組みと、その目的について話し合う。 今年度の総合学習のテーマを決め、計画をたてる。
	5	(学・人)キャリアパスポートの記録を行う	2	(主学)自己目標を設定することができる。	キャリアパスポート	1年間の自己目標など確認し、記録する。
	6	(知及技)過去、現在において世界中で起こっている争いごとについて知る (学・人)命の尊さを知り、恒久平和を願う心を育む	2	(知・技)身近な沖縄戦についての知識を学ぶことができる。 (主学)戦争に関する本の内容の読み聞かせを聞くことができる。	平和学習 進路に関して	身近な話題や沖縄戦などについて学習する。 図書室などに行き、本を借りたり放送を聞いたりする。
	6	(思判表力)自分自身の進路について、考えようとする態度を育む 仕事を体験する機会とする	5	(思・判・表)将来の夢を発表することができる。	校内就業体験	就業体験のしおりを読み、働くことの意義や社会でのマナーなどについて学習する。 就業体験を通して、自分の進路を考えさせる。
	7	(思判表力)就業体験を通しての成果と報告をする	2	(思・判・表)就業体験を通して、自分の成果と課題を確認することができる。	校内就業体験報告会	できたこと、難しかったこと、次年度がんばりたいことなどをまとめ発表する。
2 学 期	9・10	(思判表力)よりよい体育祭にする為、仲間と力を合わせて活動する見通しを立てる	6	(思・判・表)体育祭の自分の役割を理解することができる。	体育祭の事前学習	事前学習で班ごとに内容を話し合い、役割を分担する。
	10	(思判表力)よりよい校外学習にする為、仲間と力を合わせて活動する	4	(思・判・表)校外学習での活動内容を理解することができる。	校外学習	事前学習では、活動内容を話し合い役割を分担する。自主的にどの係活動を希望するか考える。
	11	(思判表力)(学・人)係活動を自主的に行えたか振り返りをする	2	(思・判・表)(主学)体育祭を通して、自身の活動について振り返ることができる。	体育祭の事後学習	体育祭の反省と発表などを行う。
	11	(思判表力)(学・人)進路講話の講師などに質問を考えたりする	2	(思・判・表)(主学)進路講話すを通して、自分の感じた疑問や意見を発表することができる。	進路講話	進路講話を聞くことによって、将来の自立参加に必要な今、取り組むことができる学習について考える。
	12	(思判表力)(学・人)係活動を自主的に行えたか振り返りをする。個人、係で学習したことを報告し合い、お互いに学ぶ機会とする	2	(思・判・表)(主学)校外学習を通して、学習したことを振り返ることができる。	校外学習事後学習	校外学習の反省と発表などを行う。
3 学 期	1	(思判表力)高校生活の様子を聞き、進路について考える	2	(思・判・表)高校生活の様子を想像して、いま取り組むことができることを考えることができる。	先輩と語る会	中学部を卒業した先輩の話を聞く。
	2					
	3	(思判表力)1年の計画・目標を達成できたか	2	(思・判・表)1年間の振り返りを行うことができる。	キャリアパスポートまとめ	今年度の反省と1年間のまとめ。できたことや成長したことを確認し、次年度の目標につなげる。
総時数			35			

令和7年度 中学部 1、2、3年（Ⅱ課程Bグループ） 国語科 年間指導計画

単位数／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
105			

目標：（知及技）知識及び技能 （思判表力）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標	（知及技）日常生活に必要な身近な言葉を身につけるとともに、いろいろな言葉や我が国の言語文化に触れることができる。 （思判表力）言葉が表す事柄を想起したり受け止めたりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合い、自分の思いをもつことができるようにする。 （学・人）言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとする態度を養う。			
学期	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
年間を通して実施	（学）詩のリズムを楽しむ。	（主）詩の朗読を楽しむ事ができる。	・ 詩の朗読	・ 詩を朗読したり、転写（写本）をしたりして、詩のリズムを楽しむ。
	（知）一年の行事を知り、季節感を身につける。	（知）興味をもって季節について学習をすることができる。	・ 季節を感じる	・ 季節の様々な節句や行事に関する話を聞いたり、触察したりして季節を感じる。 ・ 各季節の俳句を作る。
	（思）体験したことを自分から積極的に話せるようになる。	（思）自分の気持ちを言葉にして表現できる。	・ 朝の会 ・ 帰りの会	・ 朝の会で昨日の出来事や、帰りの会で今日の振り返りをする。
	（学）絵本に親しみ、話の面白さに触れる。	（主）絵本に興味をもつことができる。	・ 読み聞かせ	・ 絵本の読み聞かせを聞いて感想を伝えたり、簡単なフレーズを教師や友達と一緒に言ったりする。
1学期（37）	（知）主述の関係や助詞の使い方を確認する。	（知）文の成分を認識し、正しく使うことができる。	・ 文の成分を理解する	・ クイズやドリル学習で、正しい言葉の使い方慣れる。 ・ 様子や気持ちを表す言葉がたくさんあることを知り、他の言葉に置き換えたりする。
	（思）平和について考える。	（思）平和について考えることができる。	・ 平和学習	・ 学校行事とリンクさせて、平和学習に取り組む。
2学期（50）	（知）日常生活で体験したことを話す能力を身につける。	（知）（思）体験したことなどをわかりやすく話すことができる。	・ 会話をしよう（話す）（コミュニケーション）	・ 学校の行事や家庭で経験したことについて話す。 ・ ニュースやラジオなどで知ったことについて発表する。
	（学）校内意見発表会に参加する。	（知）（思）話の内容を簡単に言うことができる。 （主）発表し、話を聞くことができる。	・ 校内意見発表会	・ 自分の意見をみんなの前で発表し、仲間の話を聞く。
	（思）運動会に主体的に取り組む。	（思）運動会の感想を発表できる。	・ 運動会に取り組む	・ 運動会の取り組み経過を整理し、感想を話す。
3学期（28）	（知）郷土の言葉を知り、興味をもって生活の中で使う。	（知）興味をもって方言の学習をし、積極的に使うことができる。	・ 方言を使おう（言葉）	・ 身近な方言の学習、沖縄昔話の読み聞かせで方言を聞き慣れる。
	（知）ことわざや慣用句を学ぶ。	（知）生活の中で使うことができる。	・ 言葉の学習	・ いろいろなことわざや慣用句を覚える。
	（思）一年を振り返り、進級卒業に向け考える。	（思）一年を振り返り、新年度に向けての作文を書くことができる。	・ 一年を振り返る	・ 一年の思いや進級・卒業に向けて思いを綴る。
留意点引継ぎ等				

令和7年度 社会科（Ⅱ課程B） 社会科 年間指導計画

単位数 ／配当時 数	生徒	担当者	教科書／副教材
70			社会☆☆☆☆、社会☆☆☆☆☆（文部科学省） 小学校生活科、小学3年生社会

目標：（知及技）知識及び技能（思判表力）思考力、判断力、表現力等（学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能（思・判・表）思考・判断・表現（主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		（知及技）身近な地域や市区町村の地理的環境、地域の安全を守るための諸活動、地域の産業と消費生活の様子及び身近な地域の様子の移り変わり並びに社会生活に必要なきまり、公共施設の役割及び外国の様子について、具体的な活動を通して、自分との関わりが分かる。 （思判表力）自分の生活や地域社会と関連づけて具体的に考えたことを表現する基礎的な力を養う。 （学・人）身近な社会に自ら関わろうとする意欲をもち、地域社会の中で生活することの大切さについての自覚を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	24	（知及技）季節にあった身近な伝統行事などについて知ることができる。 （思判表力）身近な伝統行事や家族とのすごし方について知り、自分の役割について考える。 （学・人）進んで活動に参加したりする。	（知・技）春の様子をどんな伝統行事で感じることができるか知る。 （思・判・表）県内や県外の春の様子を知り、自分の地域との違いを知ろうとしている。 （主学）校舎内の行きたいところを自分で考えて、その場所まで行こうとする。	・春をみつつけよう ・沖縄の春「シーミー」 ・ハーリーについて ・校内探検	・こども新聞、ipadなどを活用して、関連情報を調べる。 ・触察などの体験を通して春を感じる。
		（知及技）身近な地域の生活を守るための諸活動について知ることができる。 （思判表力）具体的な活動や体験を通して、自分との関わりが分かり、考えたことを表現する基礎的な力を養う。 （学・人）学んだことを主体的に日常生活の事柄に関連付けすることができる。	（知・技）お米はどのような状況で育つのか、農家のお仕事について知る。 （思・判・表）季節の話題や行事について知り、感じたことを表現しようとしている。 （主学）慰霊の日はどのように過ごすかなど、家族との過ごし方を意識しようとする。	・ご飯とお米作り ・大阪万博について ・家族について ・平和について	・お米に関する話題や食育に関連した活動内容。 ・家族、命の繋がりに関する絵本の読み聞かせを通して平和について意識を促す。
		（知及技）県内の主な歴史を手掛かりに、先人の働きや出来事、文化遺産などを知ることができる。 （思判表力）歴史的背景や現在に至る経緯などに着目し、県内の文化財や年中行事の様子を捉え、それらの特色を知ることができる。 （学・人）学んだことを主体的に日常生活の事柄に関連付けすることができる。	（知・技）沖縄の伝統行事を食生活や地域のことばである「ウチナーグチ」と結びつけて知る。 （思・判・表）ごみの分別について、毎日の学校生活での活動と結びつけて考えようとしている。 （主学）昔の道具とくらしについて、自ら進んで体験しようとする。	・県立博物館でのふれあい体験教室 ・昔の道具とくらし ・ごみの分別について	・県立博物館で、体験したいことをパンフレットの説明より予想し、希望の体験コーナーを決めていく。 ・こども新聞、ipadなどを活用して大阪万博の話題を探る活動。
2学期	28	（知及技）九州地方の地理的位置と人々の生活の様子を理解する。 （思判表力）各県の地理的特徴を知り、その地域の特産物や人々の生活の様子を捉え、表現することができる。 （学・人）生活の中でのニュースや話題になっていることと関連づけていることができる。	（知・技）地球儀や日本地図を活用して沖縄県や日本からの距離や方角について知る。 （思・判・表）九州の各県に関連する話題と結びつけて、ニュースなどの記事に触れ、自分なりの感想を持ち表現しようとしている。 （主学）世界各国の話題から興味ある事柄を意識している。	・九州地方の特産物 ・沖縄県の特産物 ・旧盆とエイサー	・立体地図、立体パズルなど活用し、沖縄県からの距離などをイメージする。 ・修学旅行先の都道府県の情報を、こども新聞、ipadなどを活用して収集する。 ・居住地での特産物を調べる。
		（知及技）地域の安全を守るため、関係機関が地域の人々の協力していることが分かる。 （思判表力）地域における災害や事故に対する施設・設備などの配置、緊急時への備えや対応などに着目して、関係機関や地域の人々の諸活動を捉え、そこに関わる人々の働きを知ることができる。 （学・人）災害時に周りの指示に従い、安全に避難するためにはどういう行動をするか考えることができる。	（知・技）自然災害が発生した際の校内での避難の仕方について知る。 （思・判・表）校内やその地域での避難経路や避難の仕方について確認しようとしている。 （主学）総合防災避難訓練時にどのような動きで避難したらよいのか、行動しようとしている。	・自然災害に備えるまちづくり ・校内の防火設備 ・お米の実りについて ・季節の野菜や花	・学校周辺の地形の高低差について立体地図などを活用して確認し、さらに学校を基準に東西南北の方向を確認する。 ・津波や火山噴火の影響で、危険なことから避難する際の避難経路を知る。
3学期	10	（知及技）県内の主な歴史を手掛かりに、先人の働きや出来事、文化遺産などを知ることができる。 （思判表力）歴史的背景や現在に至る経緯などに着目し、県内の文化財や年中行事の様子を捉え、それらの特色を知ることができる。 （学・人）学んだことを主体的に日常生活の事柄に関連付けすることができる。	（知・技）沖縄の旧暦に基づいた旧正月やムーチャー行事などについて知る。 （思・判・表）毎日の日常生活での活動と結びつけて考えようとしている。 （主学）昔の道具とくらしについて、自ら進んで体験しようとする。	・季節の行事：旧正月とムーチャー ・昔のくらし ・季節の野菜や花	・ムーチャー作り ・ご飯を羽釜で炊く活動を通して、炊飯器などの道具との違いに気づくよう促す。

子 期	10	(知及技) 家庭や学校、地域社会でのきまりは、社会生活を送るために必要であることを理解する。 (思判表力) 社会生活に必要なきまりの意識について考え、表現することができる。 (学・人) 生徒会活動の役割に気づくことができる。	(知・技) 選挙で代表を選ぶことの大切さを知る。 (思・判・表) 生徒会役員が学校行事などを進めている役割について、意識したり振り返ろうとしている。 (主学) 生徒会役員としての活動を通して、役割の大切さを感じることができる。	・生徒会役員選挙 ・地域での選挙 ・学校内でのルール ・卒業・進級に向けて	・地域の市役所の市長や市議員の仕事や役割について知る。
留意点 引継ぎ等	1年間通して、こども新聞などの情報に触れ、季節の話題・タイムリーな話題についての情報を取り上げる。				

令和 7 年度 数学科 II 課程 B 年間指導計画

配当時数		対象生徒	担当者	教科書／副教材	
70					
年間目標		(知識及び技能) 数量や図形などについて理解を深め、基礎的な計算や測定・測量についての知識や技能を身につける。(小1、小2段階) (思考力、判断力、表現力等) 身の回りの事象や問題場面を解釈及び判断したり、考察したりする力を養う。 (小1、小2段階) (学びに向かう力・人間性等) 学んだことのよさを理解し、そのことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。 (小1、小2段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	23	(知及技)身近な物の数え方を知る。 (思判表力) 具体物や数タイルを数える。 (学・人)数字に興味を持つ。	(知・技)具体物や数タイルを数えることができる。 (思・判・表)具体物や数タイルを数えることができる。 (主学)数字に興味を持つことができる。	・10までの数 ・数唱と位置関係	・身の回りで使用するいろいろな物に応じた数え方で1から10まで数える。 ・大小比較 ・数字に関する歌を聞き、手遊びやリズムを楽しむ。 ・音声電卓や iPad を活用する。
2学期	32	(知及技)時間の単位を知る。 (思判表力)今日の日付が分かり、時の流れを理解する。 (学・人)季節についての話を聞く。 (知及技) 基本的な図形	(知・技)時間の単位がわかる。 (思・判・表) カレンダーを通して今日の日付を確認することができる。 (主学)季節の様々な行事に関する話を聞いたり、触察したりして季節を感じる ことができる。 (知・技) 基本的な図形を理	・時刻や時間 ・形	・カレンダーを通して今日の日付を確認する。 ・1日の時間の流れを確認する。 ・季節の様々な行事に関する話を聞いたり、触察したりして季節を感じる。 ・身近にある様々

		を知る。上下、前後、左右の位置に関する言葉を用いて、物の位置を表す。 (思判表力) 身近にある様々な形の中から、同じ形のものの弁別、集合作りをする。 (学・人) 身の回りにある物の形に関心を持つ。	解する。上下、前後、左右の位置に関する言葉を用いて、物の位置を表すことができる。 (思・判・表) 具体物を考えながら分けたり集めたりすることができる。 (主学) 身の回り物の形に関心を持つことができる。		な形の中から、同じ形のものの弁別、集合作りをする。 ・上下、前後、左右の位置関係や前後から何番目かを意識した活動を行う。
3 学 期	1 5	(知及技) 長さや重さについて知る。 (思判表力) 長さや重さを比較する。 (学・人) 身の回りにある物の形に関心を持つ。 (思判表力) (学・人) 1年間の振り返る。	(知・技) 長さや重さを直接比べることができる。 (思・判・表) 身の回りの物の大きさを単位として、その幾つかで大きさを比較することができる。 (主学) 身の回り物の形に関心を持つことができる。 (思・判・表) (主学) 1年間の振り返り、教師の言葉かけに反応することができる。	・量と測定 ・1年間の振り返る	・「長い」「短い」という言葉の持つ意味を理解し、身の周りのものの長さを比べて言葉で表現する。 ・「重い」「軽い」という言葉の持つ意味を理解し、身の周りのものの重さを比べて言葉で表現する。 ・1年間の思い出や進級に向けて思いを感じる。

令和 7 年度 中学部 II－B課程 理科 年間指導計画

単位数 ／ 配当時 数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2/70			理科 ☆☆☆☆

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 自然の事物・現象についての基本的な理解を図り、観察・実験に関する初歩的な技能を身につけるようにする。 (思判表力) 観察、実験などを行い、疑問をもつ力と予想や仮説を立てる力を養う。 (学・人) 自然を愛する心情を養うとともに、学んだことを主体的に日常生活や社会生活などに生かそうとする態度を養う。			
学 期	時 数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
通 年	3 5	(知及技) 植物を育て、その成長の変化を観察することができる。 (思判表力) 身近な材料を使用した実験・観察に興味をもって参加できる。 (学・人) こども新聞の内容から自分の知っている言葉に反応することができる。	(知・技) 植物の成長の変化に気づくことができる。 (思・判・表) 身近な材料を使用した実験・観察で気づいたことを表現することができる。 (主学) こども新聞を教師と一緒に読むことができる。	【科学ニュースをようよう】 【理科用語を学ぼう】 【お天気調べ】 【お楽しみ実験】 【校外学習】 【SDGs】	・ こども新聞等の科学記事を教師と一緒に読む ・ 理科用語の理解 ・ 植物の水やり、観察 ・ 天気と気温を調べる ・ お楽しみ実験の計画 ・ リサイクル活動
1 学 期	3	(知及技) 身近な植物や動物の名前や特徴を知ることができる。 (思判表力) 校内の自然の様子に興味をもち身近な自然を観察し、それを表現することができる。 (学・人) 観察の際の注意事項を踏まえ、教師と一緒にHに行動することができる。	(知・技) 生物は、色・形・大きさなど姿に違いがあることがわかる。 (思・判・表) 校内の自然の様子に興味をもち身近な自然を観察し、それを表現することができる。 (主学) 観察の際の注意事項を踏まえ、教師と一緒に安全に行動することができる。	身のまわりの自然観察 草花や 木の葉で遊ぼう	・ 観察の際の注意事項について、確認する ・ 校庭にある植物から春の生物を探す ・ 教師と一緒に見つけた草花で遊びをみつける
	4	(知及技) 植物の成長は、暖かい季節、寒い季節などによって違いがあることを理解することができる。 (思判表力) 植物の成長の変化について調べる中で、見いだした疑問について、既習の内容や生活経験を基に予想し、表現することができる。 (学・人) 植物について、探したり育てたりする中で、植物の成長と季節の変化に着目して、それらを関係付けて調べる活動ができる。	(知・技) 植物の成長は、暖かい季節、寒い季節などによって違いがあることを理解することができる。 (思・判・表) 植物の成長の変化について調べる中で、見いだした疑問について、既習の内容や生活経験を基に予想し、表現することができる。 (主学) 植物について、探したり育てたりする中で、植物の成長と季節の変化に着目して、それらを関係付けて調べる活動ができる。	季節と植物	・ 春と夏の植物について、比べる。 ・ 季節の違いによる生えている植物について学習する。 ・ 夏の野菜を育てる。
	3	(知及技) 地面は太陽によってあたためられ、ひなたと日陰では地面の暖かさに違いがあることがわかる。 (思判表力) ひなたと日陰の様子について調べる中で、太陽と地面の様子の関係について気付くことができる。 (学・人) 太陽と地面の温度について学んだことを日常生活の中で体感することができる。	(知・技) 太陽の光によって、ひなたとひかげの違いができることがわかる。 (思・判・表) ひなたとひかげの暖かさの違いについて、言葉や身体の反応で表現することができる。 (主学) 観察の際には、自分から手を伸ばし、色々な物の暖かさの違いを確かめることができる。	太陽と地面 太陽の光	・ ひなたとひかげの気温の違いや、地面の熱さの違いを体感する。 ・ 太陽の光をさえぎると、ひかげになる。 ・ 私たちの生活と日なた・ひかげの利用・
2 学 期	5	(知及技) 物から音が出たり伝わったりするとき、物は震えていることに気づくことができる。 (思判表力) 音を出したときの震え方の様子について調べる中で、差異点や共通点に気づき、音の性質についての疑問をもち、表現することができる。 (学・人) 音の性質について学の中で、日常生活で生かされていることを見つけようとする事ができる。	(知・技) 物から音が出たり伝わったりするとき、物は震えていることを体感することができる。 (思・判・表) 音を出したときのに物が震えることに気づき、表現することができる。 (主学) 音の性質について学の中で、日常生活で生かされていることを見つけることができる。	音の性質	・ 身の回りにある物を使って音を出したときの物の震え方や音の大きさを変えたときの現象の違いを体感する。 ・ 糸電話で糸の振動で音が伝わることを体験する。 ・ 太鼓、糸電話を用いる
	10	(知及技) 物は形が変わっても重さは変わらないと知ることができる。 (思判表力) 物の形や体積と重さとの関係について調べる中で、差異点や共通点に気づき、物の性質についての疑問をもち、表現することができる。 (学・人) 物と重さの関係について、学んだことを学習や生活に生かすことができる。	(知・技) 身のまわりにある物のしくみや働きに関心をもつことができる。 (思・判・表) 身近なもののしくみや働きがわかり、それを教師と一緒にみんなに伝えようとする事ができる。 (主学) 物と重さの関係について、学んだことを学習や生活に生かそうとしている。	物と重さ	・ 荷物の入ったバックと、入っていないバックで重さを比べる。 ・ ねんとうを用いて形が変わっても重さは変わらないことを感じる ・ おもりを使ったおもちゃ制作
3 学 期	5	(知及技) ゴムの力は、物を動かすことができるかと理解することができる。(思判表力) ゴムの力で物が動く様子について調べる中で、差異点や共通点に気づき、風やゴムの力の動きについての疑問をもち、表現することができる。 (学・人) ゴムの力で物が動く様子について調べる中で分かったことを日常生活に生かすことができる。	(知・技) ゴムの力を使って、物を動かすことができる。 (思・判・表) ゴムの力で物が動く様子について調べる中で、差異点や共通点に気づき、風やゴムの力の動きについての疑問をもち、表現することができる。 (主学) ゴムの力で物が動く様子について調べる中で分かったことを日常生活に生かすことができる。	ゴムの力の働き	・ ゴムを伸ばした時に手に力を感じる ・ 家庭で輪ゴムが使われている場面を紹介する ・ ゴムの力で物が動く様子について調べる ・ ゴムをつかったおもちゃ制作 ・ 輪ゴム、工作材料を準備
	5	(知及技) 電気を通す物と通さない物があることと知ることができる。 (思判表力) 乾電池と豆電球をつないだときの様子について調べる中で、差異点や共通点に気づき、電気の回路についての疑問をもち、表現することができる。 (学・人) 電気ので物が動く様子について調べる中で分かったことを日常生活に生かすことができる。	(知・技) 電気を通す物と通さない物があることに気付くことができる。 (思・判・表) 乾電池と電子オルゴールをつないだときの様子について調べる中で気づいたことを教師と一緒に伝えようとする事ができる。 (主学) 電気ので物が動く様子について調べる中で分かったことを日常生活に生かすことができる。	電気の通り道	・ 身のまわりにある物で電気を通す物と通さない物を探す ・ 乾電池をつないで音が鳴る方法を調べる ・ 乾電池をつかったおもちゃ制作

留意点 引継ぎ等	※弱視生徒に対して、実験や観察では、拡大して観察できるように教具の工夫を図る。 ※観察は、時間を十分にとり丁寧に行うことができるように図る。 ※校外での学習は、事前学習で安全に対する意識を高める。緊急時は関係機関へ連絡など、適切な対処を行う。
---------------------	--

令和7年 中学部 英語科 年間指導計画

教科： 外国語 2 組 II 課程 B 担当：				
◎年間目標				
〈知及技〉 英語を用いた活動を通して、身近な生活で見聞きする英語に興味や関心を持ち、英語の音声や基本的な表現に慣れ親しむことができる。 〈思判表力〉 身近で簡単な事柄について、英語で聞いたり話したりして、自分の気持ちなどを伝え合おうとすることができる。 〈学・人〉 英語を通してその言葉の背景にある文化の多様性を知り、コミュニケーションを図ろうとする態度を養うことができる。 目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度				
学期	月	単元名	目標	単元・題材の評価基準
1 学期 11 時間	4 月 から 7 月	あいさつ 名前・職業 気持ち アルファベット 家族	・歌やチャンツを通して表現に親しむことができる。(知及技) ・表情やジェスチャーも交えながらコミュニケーションをしようすることができる。(思判表力) ・絵カードや模型を通して、英単語の意味やアルファベットの形や音にふれる。(主学)	・英語であいさつをしたり、表情やジェスチャーをつけたりして、相手に体調や気持ちを伝えようすることができる。(知・技) ・身近な英語に関心を持つことができる。(主学) ・アルファベットの音や形、身のまわりにある英語に関心を持ち、親しむことができる。(思・判・表) ・身近な英語表現で家族や職業など、語彙を増やすことができる。(知・技)
2 学期 14 時間	9 月 から 12 月	乗り物 ハロウィン 食べ物 クリスマス	・絵カードや模型を通して英単語に親しむことができる。(知及技) ・食べ物に関する英語を知り、それらを用いて表現を楽しむことができる。(思判表力) ・クリスマスについて知り、外国の文化を体験することができる。(主学)	・乗り物の言い方に慣れ親しむことができる。(知・技) ・いろいろな土地の食べ物の言い方に慣れ親しみ、相手が好きかどうか聞こうとすることができる。(思・判・表) ・ハロウィンやクリスマス等のテーマを通して、外国の文化・風習に触れることができる。(主学)
3 学期 10 時間	1 月 から 3 月	干支 動物 バレンタイン 1年間のまとめ	・新年のあいさつや干支に関するゲームを通して、基本的な単語や表現に慣れ親しむことができる。(知及技) ・バレンタインに関する歌やダンスなどを通して、自ら表現することを楽しむことができる。(思判表) ・学習した単語や表現に慣れ親しみ、それらを用いて自分なりの方法で伝えようすることができる。(主学)	・新年、干支に関する英単語に慣れ親しむことができる。(知・技) ・バレンタインというテーマを通して、外国の文化・風習に触れることができる。(思・判・表) ・1年間で学習した内容を振り返ることができる。(主学)

令和 7年度 中学部 1,2,3年Ⅱ課程B 音楽科 年間指導計画

単位数 ／配当時 数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
105			音楽 ☆☆☆ 小学部音楽科 高学年用 頭の良い子が育つ クラシックの名曲45選 等

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 音や音楽に注意を向けて気付き、関心を向け、音楽表現を楽しむために必要な身体表現、器楽、歌唱、音楽づくりに つながる技能を身に付けることができる。＜小音楽 2 段階＞ (思判表力) 音楽的な表現を楽しむことや、音や音楽に気付いて関心や興味をもって聴くことができる。＜小音楽 1 段階＞ (学・人) 音や音楽に気付き、教師と一緒に音楽活動を楽しむことができる。＜小音楽 2 段階＞			
学 期	時 数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
通 年		(知及技) 音楽表現を楽しむために必要な身体表現の 技能を身に付けることができる。 (思判表力) 身体表現についての知識や技能を得たり生 かしたりしながら、音や音楽を聴いて、自 分なりに表そうとすることができる。 (学・人) 音や音楽に気付き、教師と一緒に音楽活動 を楽しむことができる。	(知・技) 思いに合った表現をするために必要な、教 師や友達と一緒に体を動かす技能を身に付 けている。 (思・判・表) 身体表現についての知識や技能を得たり生 かしたりしながら、簡単なリズムの特徴を 感じ取り、体を動かすことについて思いを もっている。 (主学) 音や音楽に気付き、教師と一緒に音楽活動 を楽しもうとする。	＜身体表現＞ ・リズムダンス ・手遊び ・あくび ・犬のおなか ・校歌	・CD音源やピアノ伴奏に合わせてリズムダンスを する。 ・教師に手添えや言葉かけをしてもらいながら、 動作やリズムを模倣する。 ・はじめは個別で練習し、慣れてきたらグルー プで練習に参加していくようにする。
1 学 期	40	(知及技) 音楽表現を楽しむために必要な歌唱の技能 を身に付けることができる。 (思判表力) 歌唱表現についての知識や技能を得たり生 かしたりしながら、音や音楽を聴いて、自 分なりに表そうとすることができる。 (学・人) 音や音楽に気付き、教師と一緒に音楽活動 を楽しむことができる。	(知・技) 思いに合った表現をするために必要な、教 師や友達と一緒に歌う技能を身に付けてい る。 (思・判・表) 歌唱表現についての知識や技能を得たり生 かしたりしながら、好きな歌ややさしい旋 律の一部分を自分なりに歌いたいことにつ いて思いをもっている。 (主学) 音や音楽に気付き、教師と一緒に音楽活動 を楽しもうとする。	＜歌唱＞ ・校歌 ・こいのぼり ・たしいね ・Belive ・エーデルワイス	・模範演奏をCDで鑑賞したり、教師とペアで部分 的に練習する。 ・声とリズム、旋律との一体感が感じ取れるよう に、反復練習をして歌う。
		(知及技) 音楽表現を楽しむために必要な器楽の技能 を身に付けることができる。 (思判表力) 器楽表現についての知識や技能を得たり生 かしたりしながら、音や音楽を聴いて、自 分なりに表そうとすることができる。 (学・人) 音や音楽に気付き、教師と一緒に音楽活動 を楽しむことができる。	(知・技) 思いに合った表現をするために必要な、教 師や友達と一緒に演奏する技能を身に付け ている。 (思・判・表) 器楽表現についての知識や技能を得たり生 かしたりしながら、身近な楽器などに親し み音を出そうとすることについて思いを もっている。 (主学) 音や音楽に気付き、教師と一緒に音楽活動 を楽しもうとする。	＜器楽＞ ・にじ ・茶つみ ・ガボット	・様々な楽器に触れ、楽器の名前や形状の違いを 学習する。また、実際に鳴らしてみる。 ・手の動作を教師が手添えをしながら反復練習を する。
		(知及技) 身近な人の演奏に触れて、好きな音色や楽 器の音を見付けることができる。 (思判表力) 鑑賞についての知識や技能を得たり生かし たりしながら、身近な人の演奏を聴いた り、体の動きで表しながら聴くことができ る。 (学・人) 音や音楽に気付き、教師と一緒に音楽活動 を楽しむことができる。	(知・技) 身近な人の演奏に触れて、好きな音色や楽 器の音を見付けている。 (思・判・表) 鑑賞についての知識や技能を得たり生かし たりしながら、身近な人の演奏を聴いた り、体の動きで表しながら聴こうとしてい る。 (主学) 音や音楽に気付き、教師と一緒に音楽活動 を楽しもうとする。	＜鑑賞＞ ・沖縄のわらべうた ・さとうきび畑 ・ソーラン節 ・時をこえ ・沖縄のポップソング	・曲の雰囲気を感じ取り、最後まで静かに聴く。 ・模範演奏をCDで鑑賞したり、季節に関する物事 を音声や実物を活用して体感することで、曲のイ メージを感じ取る。 ・マットを敷いて、鑑賞に集中できる環境づくり をする。
		(知及技) 曲名や歌詞に使われている特徴的な言葉に ついて気付くことができる。 (思判表力) 歌唱表現についての知識や技能を得たり生 かしたりしながら、音や音楽を聴いて、自 分なりに表そうとすることができる。 (学・人) 音や音楽に気付き、教師と一緒に音楽活動 を楽しむことができる。	(知・技) 曲名や歌詞に使われている特徴的な言葉に ついて気付いている。 (思・判・表) 歌唱表現についての知識や技能を得たり生 かしたりしながら、好きな歌ややさしい旋 律の一部分を自分なりに歌いたいことにつ いて思いをもっている。 (主学) 音や音楽に気付き、教師と一緒に音楽活動 を楽しもうとする。	＜歌唱＞ ・郷土の歌 ・安里屋ゆんた ・谷茶前 ・季節の歌 ・こきりこ節 ・クリスマス・ソング	・言葉や間、掛け合いの箇所に気をつけて声出し の練習をする。 ・反復練習をし、部分的に声が出せるようにす る。

2 学 期	40	(知及技) 拍や曲の特徴的なリズムについて気付くことができる。 (思判表力) 器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音や音楽を聴いて、自分なりに表そうとすることができる。 (学・人) 音や音楽に気付き、教師と一緒に音楽活動を楽しむことができる。	(知・技) 拍や曲の特徴的なリズムについて気付いている。 (思・判・表) 器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、身近な楽器などに親しみ音を出そうとすることについて思いをもっている。 (主学) 音や音楽に気付き、教師と一緒に音楽活動を楽しもうとする。	<器楽> ・きらきら星 ・茶色の小びん ・ドレミの歌	・楽器の扱い方、構え方、基本的な奏法について学習する。 ・平易な曲を、旋律の流れを感じ取ってアンサンブルする。 ・手の動作を教師が手添えをしながら反復練習をする。
		(知及技) 身近な人の演奏に触れて、好きな音色や楽器の音を見付けることができる。 (思判表力) 鑑賞についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、身近な人の演奏を聴いたり、体の動きで表しながら聴くことができる。 (学・人) 音や音楽に気付き、教師と一緒に音楽活動を楽しむことができる。	(知・技) 身近な人の演奏に触れて、好きな音色や楽器の音を見付けている。 (思・判・表) 鑑賞についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、身近な人の演奏を聴いたり、体の動きで表しながら聴こうとしている。 (主学) 音や音楽に気付き、教師と一緒に音楽活動を楽しもうとする。	<鑑賞> ・日本の民謡 ・世界の民謡	・最後まで静かに聴く。 ・模範演奏をCDで鑑賞したり、季節に関する物事を音声や実物を活用して体感することで、曲のイメージを感じ取る。 ・マットを敷いて、鑑賞に集中できる環境づくりをする。
3 学 期	25	(知及技) 音楽表現を楽しむために必要な歌唱の技能を身に付けることができる。 (思判表力) 歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音や音楽を聴いて、自分なりに表そうとすることができる。 (学・人) 音や音楽に気付き、教師と一緒に音楽活動を楽しむことができる。	(知・技) 思いに合った表現をするために必要な、教師や友達と一緒に歌う技能を身に付けている。 (思・判・表) 歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、好きな歌ややさしい旋律の一部分を自分なりに歌いたいことについて思いをもっている。 (主学) 音や音楽に気付き、教師と一緒に音楽活動を楽しもうとする。	<歌唱> ・発声曲 ・みんなにみんなのお正月 ・花 ・卒業式の歌 ・旅立ちの日に 他	・曲の雰囲気や歌詞の意味を感じる。 ・無理なく歌えるよう、時間をかけて練習する。
		(知及技) 音楽表現を楽しむために必要な器楽の技能を身に付けることができる。 (思判表力) 器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音や音楽を聴いて、自分なりに表そうとすることができる。 (学・人) 音や音楽に気付き、教師と一緒に音楽活動を楽しむことができる。	(知・技) 思いに合った表現をするために必要な、教師や友達と一緒に演奏する技能を身に付けている。 (思・判・表) 器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、身近な楽器などに親しみ音を出そうとすることについて思いをもっている。 (主学) 音や音楽に気付き、教師と一緒に音楽活動を楽しもうとする。	<器楽> ・喜びの歌	・模倣できるところは模倣を促し、難しい箇所は教師の支援でリズムの違いを理解する。
		(知及技) 身近な人の演奏に触れて、好きな音色や楽器の音を見付けることができる。 (思判表力) 鑑賞についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、身近な人の演奏を聴いたり、体の動きで表しながら聴くことができる。 (学・人) 音や音楽に気付き、教師と一緒に音楽活動を楽しむことができる。	(知・技) 身近な人の演奏に触れて、好きな音色や楽器の音を見付けている。 (思・判・表) 鑑賞についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、身近な人の演奏を聴いたり、体の動きで表しながら聴こうとしている。 (主学) 音や音楽に気付き、教師と一緒に音楽活動を楽しもうとする。	<鑑賞> ・剣の舞 ・宮城道雄「春の海」「六段」 ・越天楽 ・かぎやでふう ・君が代 ・卒業式の歌	・最後まで聴く。 ・曲の雰囲気を感じ取れているか確かめる。 ・CD音源を聴いて親しみが持てるようにする。
留意点 引継ぎ等					

令和7年度 中学部1～3年（Ⅱ課程Bグループ） 美術 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
70			

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 様々な材料や画材があることを知る。 (思判表力) 掴む、握る、叩くなどの動作覚え表現を楽しむ。 (学・人) 主体的に表現活動に参加することができる。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	22	(知及技) 描画する材料や用具を選んで使い表すこと。 (思判表力) 画材を用いて何らかの表現活動をする事。 (学・人) 絵画に興味を持ち、感性を豊かにし、豊かな情操を培う。	(知及技) 描画する材料や用具を選んで使い表すことができたか。 (思判表力) 画材を用いて何らかの表現活動をする事ができたか。 (学・人) 絵画に興味を持ち、感性を豊かにし、豊かな情操を培うことができたか。	絵画表現	線を引く、絵をかくなどの活動 1. 描画材を掴む握る 2. 描画をする（ペン、絵の具）
2 学期	30	(知及技) 造形する材料や用具を選んで使い表すこと。 (思判表力) 材料を用いて何らかの表現活動をする事。 (学・人) 粘土に興味を持ち、感性を豊かにし、豊かな情操を培う。	(知及技) 造形する材料や用具を選んで使い表すことができたか。 (思判表力) 材料を用いて何らかの表現活動をする事ができたか。 (学・人) 粘土に興味を持ち、感性を豊かにし、豊かな情操を培うことができたか。	陶土を使った立体表現	粘土を握る、ちぎる、叩くなどの活動 1. 粘土を棒などで叩く 2. 粘土に触れて握る、ちぎる
3 学期	18	(知及技) 多様な材料や用具を選んで使い表すこと。 (思判表力) 材料を用いて何らかの表現活動をする事。 (学・人) 好きな素材を選択し、感性を豊かにし、豊かな情操を培う。	(知及技) 多様な材料や用具を選んで使い表すことができたか。 (思判表力) 材料を用いて何らかの表現活動をする事ができたか。 (学・人) 好きな素材を選択し、感性を豊かにし、豊かな情操を培うことができたか。	卒業式装飾	材料をちぎる、切る、繋げるなどの活動 1. 多様な材料に触れる 2. 材料をちぎったり、切ったりする 3. 材料を繋げる
留意点 引継ぎ等					

令和7年度 中学部 保健体育 年間指導計画

配当時数		児童生徒について			担当者
105					
年間目標		(知及技) 教師の支援を受けながら、楽しく基本的な運動ができるようにするとともに、健康な生活に必要な事柄ができるようにする。 (思判表力) 基本的な運動に慣れ、その楽しさや感じたことを表現できるようにするとともに、健康な生活に向け、感じたことを他者に伝える力を養う。 (学・人) 簡単な合図や指示に従って、楽しく運動をしようしたり、健康に必要な事柄をしようしたりする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	36	○体づくり運動 ・教師の支援を受けながら、楽しく基本的な体づくり運動ができる ・体づくり運動に慣れ、その楽しさや感じたことを表現することができる。 ・簡単な合図や指示に従って、楽しく基本的な体づくり運動をしようとする。	【知・技】 ・各種の運動の楽しさを感じることができたか。また、簡単な動きができたか。 【思・判・表】 ・自己の気持ちを合図や反応などで他者に伝えることができたか。 【主学】 ・合図や言葉かけに応じて、基本的な体づくり運動をすることができたか。	校歌ダンス(準備体操) 5分間走 体ほぐし運動	・伸び伸びとした動作で用具などを用いた運動を行う ・教師が体の部位や力の入れ方、動作を伝え、体の動かし方を伝える。 ・動作や人数などの条件を変えて、歩いたり走ったりする運動を行う。
		○水泳 ・教師の支援を受けながら、楽しく水の中で運動し、その楽しさや感じたことを表現することができる。 ・簡単な合図や指示に従って、水のなかでの基本的な運動ができる。	【知・技】 ・楽しく水の中で基本的な運動ができたか。 【思・判・表】 ・水泳の楽しさや感じたことを表現することができたか。 【主学】 ・簡単な指示や合図を聞き安全に水の中での運動ができたか。	準備体操 水かけ 水中を歩く 動物のまね(ワニ、カエル) もぐる 浮く	・水をすくって体の様々な部分にかけたり、様々な方向に飛ばしたり、友達や教師とかけ合ったりする。 ・補助具や友達につかまり、体を伸ばした姿勢にして浮いて進む。

2 学期	47	○ダンス ・ダンスの楽しさや喜びに触れ、音楽に合わせて楽しく踊ることができ、その楽しさや感じたことを表現することができる。 ・きまりを守り、仲間とともに安全に活動することができる。 ○球技(サウンドテーブルテニス) ・教師の支援を受けながら、楽しくボールを使った運動やゲームができ、その楽しさを表現することができる。 ・きまりを守り、仲間とともに安全に活動することができる。	【知・技】 ・音楽に合わせて、楽しく踊ることができたか。 【思・判・表】 ・楽しみ方を工夫し、楽しさや感じたことを表現することができたか。 【学・人】 ・きまりを守ることができたか。 ・仲間と協力して安全に活動することができたか。 【知・技】 ・楽しくボールを使った運動やゲームをすることができたか。 【思・判・表】 ・運動やゲームに慣れ、楽しさや感じたことを表現することができたか。 【学・人】 ・きまりを守ることができたか。 ・安全に気を付けることができたか。	基本的な動き ・ 道具を使った動き ・ ひと流れの動き 基本的なボール操作(さまざまな道具を使う) 簡易ゲーム	・ 歩く、腕を振る、跳ぶなどの動きをリズムに合わせて行う。 ・ バチ、パーランクーを使って、叩く・バチを持って手を上げるなど乃動き。 ・ 基本的な動きと道具を使った動きを組み合わせると流れの動きにする。 ・ ボール、ラケットの形状を確かめる。 ・ ボールを転がす ・ ボールを手で止める。 ・ 仲間とキャッチボール ・ ボールを投げる。 ・ ボールを打つ。 ・ 簡単なルールでゲームを行う。
3 学期	22	○球技(ビーンボウリング) ・ 教師の支援を受けながら、楽しくボールを使った運動やゲームができ、その楽しさを表現することができる。 ・ きまりを守り、仲間とともに安全に活動することができる。	【知・技】 ・ 楽しくボールを使った運動やゲームをすることができたか。 【思・判・表】 ・ 運動やゲームに慣れ、楽しさや感じたことを表現することができたか。 【学・人】 ・ きまりを守ることができたか。 ・ 安全に気を付けることができたか。	基本的な用具操作 操作方法 簡易ゲーム	・ レール、ピンセット、ボールの形状を確かめる。 ・ ピンセットの使い方を知る。 ・ ボールを転がすタイミングを知る。 ・ 簡単なルールでゲームを行う。

令和7年度 中学部1,2,3年(Ⅱ課程B)					職業家庭	年間指導計画
作業		児童生徒について			担当者	教科書/副教材
70						開隆堂 たのしい職業科 わたしの夢につながる たのしい家庭科 わたしの暮らしに生かす
年間目標	(知及技) 生活や働く事に関心を持つことができる。					
	(思判表力) 将来の家庭生活や職業生活に必要な事柄に気づき、自分の気持ちを表現することができる。					
	(学・人)よりよい家庭生活や将来の職業生活に向けてた態度を養う。					
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価基準	単元・題材名	単元・題材の活動内容	
1・2・3学期	2	職業家庭科のねらいを知ること。(知及技)	職業家庭科のねらいについて教師と一緒に確認できる(知・技) 【評価】聞き取り・観察	オリエンテーション	・職業・家庭科の時間のねらいを確認し、今年度の計画を立てる	
	30	・教師や身の回りの人に気づき、教師と一緒に簡単な挨拶などをしようとする。 (学・人) ・身の周りの集団に気づき、教師と一緒に参加しようとする。 (学・人) ・集団の中での役割に関心を持つこと(学・人) ・身の回りにある生命や自然に気づき、それを教師と一緒にみんなに伝えようとする。 (思判表力) ・身の回りの生命や自然について関心を持つこと。(学・人) ・身の回りにあるものの仕組みや働きに気づき、それを教師と一緒にみんなに伝えようとする(思判表力) ・身の回りにあるものの仕組みや働きについて関心を持つこと。(知・技) ・身の回りの簡単な手伝いや仕事を教師と一緒にしようとする。 (学・人) ・簡単な手伝いや仕事に関心を持つこと。(学・人)	・教師と一緒に簡単な挨拶ができる。表現しようとしている。(学・人) ・集団の動きに合わせて教師と一緒に参加しようとしている。(学・人) ・自分の役割に関心をもつことができる。役割がわかる。(学・人) ・教師と一緒に身の回りの生命や自然にふれ、感じたことを身振りや音声で伝えようとしている。(思・判・表) ・教師と一緒に道具を利用することができる。(知・技) ・教師と一緒に簡単な手伝いや仕事をする。 (学・人) 数国道 【評価】聞き取り・観察	校内就業体験 栽培 木工 リサイクル製品の製作 清掃	・販売学習 ・栽培学習 ・調理実習 ・清掃道具の名前をしろ ・清掃道具を使ってみよう ・事務用品	
	4	・情報機器の初歩的な操作の仕方を知ること(知及技)	・教師と一緒に情報機器(CDラジカセ、タブレット)の簡単な操作ができる。(知・技) 【評価】聞き取り・観察	情報機器の活用 CDラジカセの使用 タブレットの使用	・CDラジカセの操作やタブレットの起動を行う	
1・2・3学期	10	・身の回りの簡単な日課に気づき、教師と一緒に日課に沿って行動しようすることができる。(学・人)(思判表力) ・簡単な日課について、関心を持つこと(学・人) ・簡単な掃除をする。(知及技) ・幼児との関わりができる(知及技)(思判表力)(学・人)	・教師と一緒に自分の日課などについてスケジュール表を作ることができる。(学・人)(思・判・表) ・健康やリラックスの方法について知り実践しようとする。 (学・人)(知・技) ・家庭生活のなかでの家族との関わりやについて表現できる。(思・判・表)(学・人) ・家庭や地域における役割について伝えることができる(思・判・表) ・幼児にやさしく接することができる(思・判・表)(知・技)(学・人) 【評価】聞き取り・観察	・スケジュール管理 ・幼児との関わり方	・学校の日、休日のスケジュール表をつくらう ・小さい子と遊ぼう ・健康的な生活や余暇の過ごし方を知ろう ・地域の行事に参加しよう	
	20	・教師と一緒に手足を洗ったり、拭いたりすることができる。(知及技) ・教師と一緒に簡単な調理に取り組むことができる。(知及技) ・食事の役割や栄養について関心をもつことができる。(知及技)(学・人) ・教師と一緒に衣服等をたたむことができる。(知及技) ・教師と一緒に服やタオルなどの整理整頓ができる。(知及技) ・教師と一緒に簡単な清掃に取り組むことができる。(知及技)	・健康な生活と食事の役割について興味をもつことができる。(知・技) ・教師と一緒に簡単な調理の計画を考えることができる(思・判・表) ・教師と一緒に、調理出来る。(知・技) ・教師と一緒に日常の服の手入れが出来。(洋服をたたむ等)(知・技) ・場に応じた日常着の手入れの仕方などについて理解し、実践出来る(学・人) 国教英社 【評価】聞き取り・観察	日常生活環境の管理 簡単な調理 日常の衣服の管理・整頓	健康な生活食事の役割について考えよう 調理実習 ・簡単な調理 ・電子レンジ ・お湯を注ぐ 日常着の手入れ(衣替え、夏服、冬服、普段着、礼服など) ・服のたたみ方やハンガーの使用	
	4	・教師と一緒に簡単な買い物をする事ができる。(知及技)(学・人)	・自分の欲しいものや調理実習に必要なものを、教師と一緒に買い物をすることができる。(知・技)(学・人) ・教師と一緒に支払いをすることができる。(知・技)(学・人) 社数 【評価】聞き取り・観察	買い物学習	・日常生活の中で必要なものについて考えよう ・じょうずな買い物をしよう	

単位数／配当時数	対象人数	担当者名	教科書／副教材
35			

年間目標				道徳的諸価値の理解を基に、人間としてのよりよい生き方について考えながら他者とともによりよく生きるための道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育む。		
日	月	時数	単元・題材目標	単元・題材名	単元・題材の活動内容	
1 学 期	4月	3	挨拶の大切さに気づき、場に応じた言葉づかいや気持ちのよい挨拶をしようとする。また、挨拶の仕方について体験的に学ぶことをとおして、時と場合に応じた挨拶の仕方を理解し、できるだけ自分で考え、日常生活のさまざまな場面で実践しようとする。	【B 礼儀】 ・挨拶の相手 ・挨拶の仕方	・知らない人にも挨拶をすることの意義や大切さについて、できるだけ自分で考える。 ・礼儀正しい挨拶の仕方を理解し、時と場に応じて実践しようすることについて、できるだけ自分で考える。	
	5月	3	家族の愛情や家族の一員としての役割についてできるだけ自分で考え、家族に対する愛情をいっそう深め、積極的に家族と関わり、生活しようとする。 日頃からお世話になっている全ての人に感謝の気持ちをもち、伝えることの大切さについてできるだけ自分で考え、日常生活のさまざまな場面で感謝の気持ちを表そうとする。	【C家族愛、家庭生活の充実】 ・家族の一員として ・家族のために 【B 感謝】 ・周囲への感謝 ・家族への感謝	・家族の愛情を受け止め、家族のためにできることをすすんで行おうすることについて、できるだけ自分で考える。 ・お世話になっている身近な人々に対して感謝の気持ちを伝えることの意義や大切さについてできるだけ自分で考える。 ・日頃からお世話になっている身近な人々に対してどのような態度で接したり、どのような言葉かけをしたりすればよいのか、また家族などの身近な人々からの愛情に対して感謝の気持ちをもつことの大切さについてできるだけ自分で考える。	
	6月	4	みんなの行動についてできるだけ自分で考えることをとおして、仲間はすれをしないことの大切さを理解し、誰に対しても公正、公平に接しようとする。	【C 公正、公平、社会正義】 ・分け隔てなく	・自分のクラスでも起こりかねない問題として捉え、「仲間はすれ」が起こらないようにするためには、どのようにしていくのがよいのかについて、できるだけ自分で考える。	
	7月	2	規則正しい生活や周りの人に対する態度についてできるだけ自分で考え、わがままな行動をせず、正しい生活態度で過ごし、周りの人に迷惑をかけないようにしようとする。	【A 節度、節制】 ・生活を見直す ・物を大切に	・わがままをせず、規則正しい生活を送ることの大切さに気づき、これからどのようにすればよいのかについて、できるだけ自分で考える。 ・物を大切にすることの価値に気づき、物を大切にするることについて、できるだけ自分で考える。	
	9月	3	自分の思いだけでなく友達の気持ちもできるだけ自分で考え、互いの気持ちを理解しながら接しようとする。また、友達と仲良くし助け合うことの大切さについてできるだけ自分で考え、よりよい友達関係を築こうとする。	【B 友情、信頼】 ・友達の気持ちになって ・友達の立場になって	・自分の思いだけでなく、友達の気持ちをできるだけ自分で考えることも大切にして、互いの気持ちを理解しながら接することについて、自分との関わりで考える。 ・友達の気持ちを考えることの大切さを理解し、よりよい友達関係を築き、互いに助け合うことについて、できるだけ自分で考える。	

2 学 期	10月	4	友達のよいところについてできるだけ自分で考えることを通して、自分のよいところに気づき、そうしたよいところを伸ばそうとする。	【A 個性の伸長】 ・よさを伸ばす	・自分のよさについて考える授業を通して、自分のよいところや悪いところなどにさまざまな視点から気づき、どのようによいところを伸ばすかについて、できるだけ自分で考える。
	11月	4	自ら働くことのよさや楽しさについてできるだけ自分で考え、すすんでみんなのために働こうとする。	【C 勤労、公共の精神】 ・楽しく働く	・みんなのために働くということについて、できるだけ自分で考える。 ・みんなのために働くことのよさに気づき、すすんで仕事をしようとするについて、できるだけ自分で考える。
	12月	3	自ら働くことのよさや楽しさについてできるだけ自分で考え、すすんでみんなのために働こうとする。	【C 規則の尊重】 ・きまりを守って ・みんなのものを大切に	・楽しく遊ぶためにも約束やきまりが必要であることについて、できるだけ自分で考える。 ・みんなが使うものを大切にするについて、できるだけ自分で考える。
3 学 期	1月	3	物事のよいことと悪いことについてできるだけ自分で考え、よいと思うことをすすんで行おうとする。	【A 善悪の判断、自律、自由と責任】 ・よいことをすすんで ・心の強さ	・善悪を判断することの大切さを理解し、正しいことを自らすすんでしようとするについて、できるだけ自分で考える。 ・勇気を出して正しいことを行うことのよさについて、できるだけ自分で考えること。
	2月	4	自分の生命が多くの人によって大切にされ、支えられていることについてできるだけ自分で考え、生命を大切に生活しようとする。 身近な自然や生き物に対する興味・関心を高め、自然や動植物を大切にしようするとともに、身近な自然の中で楽しく遊んだり、植物を育てたり、動物と接したりして、優しい心で自然と触れあおうとする。	【D 生命の尊さ】 ・私たちの命 ・命を見つめる 【D 自然愛護】 ・自然に親しむ ・自然とふれ合う	・自分の生命は多くの人によって大切にされ、支えられていることについてできるだけ自分で考える。 ・自然や動植物に親しむことの大切さや、身近な自然の中で楽しく遊んだり、植物を育てたり動物に接したりして、優しい心で自然とふれ合うことについてできるだけ自分で考える。 ・ここからワーク(自分の身を守る)
	3月	2	地域のよさについてできるだけ自分で考え、国や郷土に親しもうとする。 いろいろな国々の国旗や国歌にこめられた思いなどについてできるだけ自分で考えることをとおして、国旗や国歌に対する考えを深め、他国に対する理解や親しみをもとうとする。	【C 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度】 ・国やふるさとのよさ 【C 国際理解、国際親善】 ・世界の国々	・国や郷土の文化や生活についてできるだけ自分で考える。 ・国や郷土の文化や生活のよさについて、できるだけ自分で考える。 ・国旗に込められた意味とその大切さについてできるだけ自分で考える。 ・国旗や国歌の大切さについて、できるだけ自分で考える。
留意点 引継等					
評価方法			・授業に対する取り組み姿勢 ・課題の処理意欲・態度 ・理解度 ・行動観察		

令和7年度 中学部 1.2.3年（Ⅱ課程Bグループ） 特別活動 年間指導計画

単位数 ／配当時 数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
35			

目標：（知及技）知識及び技能 （思判表力）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		（知及技） 他者と集団活動に参加し、行動することを身につける。 （思判表力） 集団や自己の生活などの話し合いに参加する。 （学・人） 集団活動を通して、人間関係をよりよく形成する。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	12時間	・入学/進学を喜び、新しい出発に気付く。 ・1年の目標を考え、意欲的に取り組むことができる。 ・新しい先生、友達と親睦をはかることができる。	（知・技） ・目標に意識をもち、設定することができる。 （思・判・表） ・歓迎会の雰囲気を感じ取ることができる。 ・生徒や教師と話し合い、目標に対して意識をもつことができる。 （主・学）自己紹介等で発表することができる。	・学級開き ・新入生歓迎会 ・キャリアパスポート ・学級目標	・自己紹介、先生紹介、新しい友達、教科の紹介 ・自己紹介、先生紹介、先輩の紹介、ゲーム、歌 ・新たな気持ちで1年間の目標を教師と友に考え、設定する。 ・生徒や教師と共に、協力してクラスの目標を考え、設定する。
		・火災時に指示に従い安全に避難することができる。 ・生徒総会に参加することができる。 ・1年間の生徒活動の内容を知る。	（知・技） ・避難訓練の雰囲気を感じ、教師とともに安全に避難することができる。 （思・判・表） ・生徒総会に参加し、話を聞いたり、発表をすることができる。 （主・学） ・割り当てられた役割を練習することができる。	・火災避難訓練 ・生徒総会に向けて ・生徒総会	・火災避難についての基本を学ぶ ・生徒総会に向けて、各自に割り当てられた役割を練習する。 ・生徒会活動の係分担や内容を知る。
		・校外での体験活動や交流に参加することができる。 ・普段使用している教室を掃除し清潔にする。 ・1学期を反省し、夏休みの過ごし方について考える機会とする。	（知・技） ・交流での活動の雰囲気を感じ取り、同年代の生徒たちとのふれあいを知る。 ・清掃することの大切さを知り、活動に参加する。 （主・学） ・目標の達成度を確認し、達成感を感じたり、反省をすることができる。	・交流/共同学習 ・学校内の清掃 ・1学期の反省	・近隣校の交流や共同学習を通して同年代の生徒でふれ合う。 ・清掃分担区域を中心に校内の清掃に取り組む。 ・1学期を振り返り、目標の達成度を確認する。
2 学期	14時間	・夏休みを振り返り、2学期の目標を確認する。 ・体育祭に向けて意欲的に参加する。 ・他学級の仲間と合同レクをして楽しむ。	（知・技） ・1学期や夏休みを振り返り、目標を立て、目標の大切さを知る。 ・体育祭の目的を知り、活動に参加する。 （思・判・表） ・レクの計画に参加し、楽しい雰囲気をおこす。	・2学期の抱負 ・体育祭に向けて ・合同レク	・夏休みの思い出を発表し、2学期の目標を立てる。 ・体育祭の目的、役割を把握し、意欲的に取り組む。 ・協力して合同レクの計画を立て、実施する。
		・校外学習に向けて、協働的に取り組む。 ・健康について考え、講話を聞く。	（知・技） ・学校内との違いを感じ、活動に参加する。 ・手洗いやうがいなどの感染予防に取り組むことができる。 （思・判・表） ・汚れている箇所を知り、清掃する。 （主・学） ・目標の達成度を確認し、達成感を感じたり、反省をすることができる。	・校外学習 ・保健講話 ・学校内の清掃 ・2学期の反省	・校外学習に必要な学習や準備を把握し、協力して活動に取り組む。 ・講話を聞き、健康管理について考え、感染防止の意識を高める。 ・清掃分担区域を中心に校内の清掃に取り組む。 ・2学期を振り返り、目標の達成度を確認する。

3 学 期	9時間	・新年の抱負を考える。 ・生徒会について活動内容や大切さについて知る。 ・1年間の生徒会行事を振り返る	(知・技) ・新年の雰囲気を感じ、3学期の目標を立て、目標の大切さを知る。 ・選挙活動後、選挙によって生徒会長が選ばれることを知り、選挙の大切さを知る。(主・学) ・選ばれた生徒会長の発表を聞き、会に参加する。	・新年の抱負 ・生徒会長選挙 ・生徒会長認定式	・新年の抱負を話し合い、3学期の過ごし方について考える。 ・生徒会行事や、役員の役割、選挙の大切さを学ぶ。 ・生徒会行事の反省、感想を発表する。
		・お世話になった先輩や先生方に感謝の気持ちを込めてメッセージを書き、お別れレクを楽しむ。 ・卒業式に向けて練習をする。 ・儀式の意義について知る。	(知・技) ・練習に参加し、流れを知ることができる。(思・判・表) ・レクの内容を考え、会に参加して雰囲気を感じることができる。(主・学) ・目標の達成度を確認し、達成感を感じたり来年度につなげることができる。	・一年間を振り返る ・キャリアパスポート ・卒業式リハーサル ・卒業式/修了式	・中学部みんなで、レクを楽しみ、感謝や思い出のメッセージを発表する。 ・リハーサルで実際の流れを把握する。 ・儀式の意義を理解し、参加時の心構えについて考える。 ・一年間の目標の達成度を確認する。
留意点 引継ぎ等		・一人一人のニーズが異なるため、それぞれの目標をたてて、活動に取り組む。注目する評価は以下3点。 ①諸活動に於いて、係りや自分の役割を理解し、意欲的に取り組むことができたか。 ②集団の一員であることを自覚し、教師や友達と共に協力して参加できたか。 ③自分で立てた目標を意識し、実践できたか。			